KENWOOD

ワイド エントリー ナビ

NMZK-W75DE
(08545-F9180/08545-F9192)

取扱書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

B5A-4813-30 (J)

目次

はじめに

安全上のご注意 6
使用方法について 6
異常時の問い合わせ 7
使用上のご注意 8
本書の読みかた 12
本書の構成 12
本書の見かた 13
簡単機能ガイド 14
ナビゲーション機能 14
ドライブに役立つ交通情報 15
音楽や映像を楽しむ 15
情報確認や各種設定の変更 16

基本操作

各部の名称とはたらき 18
画面とフロントパネルキーの照明について 18
基本操作 19
電源を入れる/切る 19
電源オン 19
電源オフ 19
画面/リストの操作 19
メニュー画面の操作 20
マイメニューを使う 22
マイメニューを表示する 22
ショートカットキーを割り当てる 23
特別メモリ地点の編集をする 23
お問い合わせ情報を表示/編集する 24
サブメニューを使う 25
画面表示を消す 26
ユーザーを切り替える 26
画面のボタンサイズを変更する 28
ボタンの位置を入れ替える 28
入れ替えたボタンを初期化する 29
音量を調整する 30
ナビゲーションの音量を調整する 30
AVまたはハンズフリー電話の音量を調整する 30
文字入力のしかた 31
文字を入力する 31
最初にする設定/確認 32
フロントパネルの角度調整 32
視野角を調整する 32
接続状態を確認する 33
車両の設定をする 35
車両ナンバーを設定する 35
車両メンテナンスを設定する 35
ステアリングスイッチを使う 36
ステアリングスイッチの設定について 36
＊キーに機能を割り当てる 37
ステアリングスイッチの設定をする 38
独自に機能を割り当てる（ユーザー学習） 39
ステアリングスイッチキーの割り当てを変更する 41
ステアリングスイッチキーの割り当てを初期化する 41
セキュリティの設定をする 42
暗証番号を設定する 42
セキュリティインジケーターの設定をする 43
自宅を登録する 43
Bluetooth機器を登録する 44
言語を切り替える 45
ナビデータを消去する 46
はっきり音声機能を使う 46

ナビゲーション

地図の見かたと操作 48
現在地図画面の見かた 48
地図の縮尺を変える 49
市街地図について 49
地図の向きと表示を切り替える 50
3D地図の傾き角度を変更する 50
地図を2画面表示する 51
地図をスクロールする 52
スクロールしたときの地図表示 53
ランドマークの情報を見る 54
マップクリップを利用する 54
ショートカットボタンを使う 55
周辺検索と周辺情報を取得する 56
ナビゲーションの流れ 57
自宅に帰る/自宅を変更する 58
自宅に帰る 58
自宅を変更する 58
行き先を探す 59
名称から探す 59
エリアを指定して検索する 60
ジャンルで絞り込む 61
ジャンルから探す 62
登録地点から探す 64
住所から探す 64
履歴から探す 65
履歴を削除する 65

電話番号、郵便番号、マップコードで探す 66
提携駐車場を行き先に設定する 67
ルートの探索と案内 67
ルートの探索と案内を開始する 67
目的地に設定してルートを探索する 67
ルートの探索条件を選択して案内を開始する 68
VICSによるルート探索 69
複数の到着地点情報があったとき 69
ルート案内画面について 70
一般道路でのルート案内 70
高速道路でのルート案内 70
案内ポイントでの割り込み表示 71
交差点案内イラストの表示 72
高速道分岐イラストの表示 72
ETCレーン表示 73
ここです案内表示 73
案内先読みガイド表示 73
音声案内について 74
ルートを再探索する 77
ルートを編集する 77
経由地を追加する 77
目的地・経由地の順番を入れ替える 78
目的地・経由地を削除する 79
利用するインターチェンジを変更する 79
変更したインターチェンジを元に戻す 80
走行中のルートを表示する 81
ルート全体を表示する 81
目的地を表示する 81
ルート案内を終了する 82
ルートから外れたときは 82
地点を登録する 83
地点を登録する 83
登録した地点をリストで見る 83
登録地点を編集する 84
グループを編集する 85
登録地点を削除する 86
登録地点を保存/読み込みする 87
本機にパスワードを設定する 87
登録地点をSDカードに保存する 87
登録地点をナビ本体に読み込む 88
パスワードを変更する 88
パスワードを初期化する 89

オーディオ・ビジュアル

AVの基本操作 90
ソースを切り替える 90
現在地図画面からAV画面を表示する 90
画質を調整する 91
映像の画面表示サイズを変更する 92
iPhoneの曲を再生する 93
iPhoneを接続する 93
iPhoneを取り外す 93
画面の見かたと操作 94
USB機器/SDカードのファイルを再生する 95
USB機器を接続する 95
USB機器を取り外す 95
SDカードを入れる/出す 95
画面の見かたと操作 96
オーディオファイルのAV画面 96
ビデオファイルのAV画面 98
再生リストと再生モードについて 99
再生する曲をカテゴリーデータベースを使って選択する 99
カテゴリーデータベースを作成する 99
カテゴリーリストモードで再生する 100
REC Audioを使う 101
SDカードに音楽CDを録音する 101
録音について 101
録音設定をする 101
録音する 102
本機で録音した音楽データを再生する 104
画面の見かたと操作 104
録音した曲を削除する 105
録音データのタイトルを編集する 106
タイトルを消去する 107
CD・オーディオファイルディスクを再生する 107
ディスクを入れる/出す 107
ディスクを入れる 107
ディスクを取り出す 108
ディスクを取り出せないときは 108
画面の見かたと操作 109
DVDを再生する 110
画面の見かたと操作（DVDビデオ/DVD-VR） 110
DVDビデオを再生する 110
DVD-VRを再生する 111
DVDディスクメニューを操作する 112
カーソルで操作する 112
ディスクメニューを直接操作する 113
DVDの設定をする 113
地デジを視聴する 114
画面の見かたと操作 114
プリセットモードを切り替える 115
放送局を登録（プリセット）する 116
番組表を見る 117
番組表の見かたと操作 117
緊急警報放送を表示する 118
中継局/系列局をサーチする 119
地デジの設定をする 119
AMまたはFMを聴く 120

画面の見かたと操作 120
プリセットモードを切り替える 121
エリアモードの放送局をリストから選局する 121
放送局を登録（プリセット）する 122
交通情報を受信する 122
画面の見かたと操作 122

情報・設定

情報・設定画面について 124
VICS情報を見る 125
VICS情報とは 125
VICS情報の内容と種類 125
VICS情報の提供方法 125
VICS情報利用上のご注意 125
地図に表示されるVICS情報 126
地図表示型（レベル3）情報の表示 126
緊急情報の割り込み表示 127
地図上のVICS情報を見る 127
簡易図形型（レベル2）/文字型（レベル1）情報の割り込み表示 128
ETC2.0割り込み表示 128
VICS図形/文字情報を見る 129
FM VICS図形情報/文字情報の表示 129
ビーコン VICS図形情報/文字情報の表示 130
ETC2.0割り込み情報 130
VICS局の選局方法を切り替える 130
自動選局に設定する 130
手動で選局する 131
VICS情報の表示設定をする 131
ECO情報を確認する 133
ECO情報を見る 133
詳細情報を見る 133
ナビゲーションの設定をする 134
地図表示を設定する 138
自車の現在位置を修正する 139
走行軌跡表示を設定する 139
走行軌跡を消去する 139
地図に表示するランドマークを設定する 140
ルート探索の条件を設定する（マイルートアジャスター） 141
サウンドの設定をする 142
車両タイプを設定する 143
スピーカー構成を設定する 143
リスニングを設定する 144
リスニングポジションを微調整する 145
フロントフォーカスの微調整をする 146
設定した値を初期設定に戻す 146
プリセットイコライザーを設定する 147
ユーザーイコライザーを設定する 147
調整したイコライザーカーブを保存する 148
音響効果を設定する 148
ソースの音量レベルを設定する 149
システムの設定をする 150
車両情報の案内を設定する 151
速度超過アラーム 152
パーキングブレーキアラーム 152
事故/故障の通知 152
その他の車両状態の通知 153
標識検知の表示 154
システムを初期化する 154
外部機器の設定をする 155
バージョンを確認する 156
地図更新について 157

Bluetooth

Bluetooth®機器の登録と設定 158
本機にBluetooth機器を登録する 158
オートペアリング機能で登録する 160
Bluetoothの設定をする 160
Bluetooth機器の使用する機能を変更する 162
Bluetooth機器の接続を解除する 162
登録した機器を削除する 163
本機のデバイス名を変更する 163
ハンズフリーを使う 164
電話メニュー画面を表示する 164
電話メニュー画面の見かたと操作 164
ハンズフリーで電話を受ける/切る 165
プリセットダイヤルを使う 166
プリセットダイヤルから電話をかける 166
プリセットダイヤルに電話番号を登録する 167
プリセットダイヤルの登録を削除する 167
履歴から電話をかける 168
電話帳から電話をかける 168
PBAP対応機器の電話帳を登録する 169
電話帳を削除する 169
ダイヤルして電話をかける 170
地点情報から電話をかける 170
リダイヤルで電話をかける 171
緊急連絡先に電話をかける 171
Bluetoothオーディオ機器を再生する 172
画面の見かたと操作 172

スマートフォン連携

NaviConで探す 174
NaviConを使うための準備 174
NaviConからナビの地図表示を操作する 175
目的地を設定する 175
NaviCon友達マップ機能を使う 176

オプション

ETC2.0車載器を使う.....178
ETC情報について..... 178
ETC2.0情報について..... 178
ITSスポットとは..... 178
ETC予告アンテナについて..... 178
アップリンクとは..... 179
VICS機能を利用する..... 179
ETCに関する設定をする..... 179
ETCの案内音声出力を設定する..... 179
ETCの料金表示を設定する..... 180
ETC 履歴/車載器情報を見る..... 180
信号情報活用運転支援システム(TSPS)による信号情報案内..... 181
信号情報案内利用上のご注意..... 181
信号情報案内の設定をする..... 181
地図に表示される信号情報案内..... 182
バックモニターを使う.....183
使用上のご注意..... 183
バックモニターの接続を設定する..... 184
バックモニターの映像を表示する..... 184
ガイド線を設定する..... 186
障害物検知表示（一部の車両にのみ装着） 187
3モードカメラを使う.....187
使用上のご注意..... 187
3モードカメラの接続を設定する..... 188
3モードカメラの映像を表示する..... 188
ガイド線を設定する..... 189
障害物検知表示（一部の車両にのみ装着） 190
パノラミックビューモニターを使う...190
使用上のご注意..... 190
パノラミックビューモニターの接続を設定する..... 191
パノラミックビューモニターの映像を表示する..... 191
障害物検知表示（一部の車両にのみ装着） 192
ドライブレコーダーを使う.....193
ドライブレコーダー使用時のお願い..... 193
ドライブレコーダーについて..... 193
電源について..... 193
著作権などについて..... 193
免責事項について..... 194
ドライブレコーダーで使用できるmicroSDメモリーカード..... 194
microSDメモリーカードの取り扱いについて..... 194
記録データが保存される階層について..... 195
ドライブレコーダーの接続設定をする..... 195
カメラの映像を確認する..... 196
ドライブレコーダー映像画面の操作..... 197
加速度センサーを最適化する..... 198
ドライブレコーダーの設定をする..... 199
常時録画（動画）..... 201
監視録画（動画）..... 201
駐車録画（動画）..... 202
手動で動画を録画する..... 202
手動で静止画を撮影する..... 203
動画・静止画を再生する..... 203
動画再生画面の見かたと操作..... 204
静止画表示画面の見かたと操作..... 205
地図表示モードで再生する..... 206
ファイルを保存フォルダへ移動する..... 206
ファイルを削除する..... 207
後方検知を設定する..... 208
後方検知のお知らせを設定する..... 209
後方検知速度を設定する..... 209
後方検知距離を設定する..... 209
後席モニターを使う.....210
後席モニターに表示できる映像について.... 210

付録

自車位置の測位精度について.....212
地図記号の凡例.....214
地図データベースについて.....216
ソフトウェア使用許諾契約書.....216
VICSについて.....219
メディアおよびファイルについて.....222
Bluetoothについて.....230
iPhoneについて.....230
故障かなと思ったら.....231
特許権/著作権/商標など.....244
主な仕様.....247
索引.....250

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

⚠	注意（しなければならない）の内容です。
⃠	禁止（してはいけない）の内容です。
❗	実行（かならず行っていただく）の内容です。

使用方法について

⚠警告

分解・修理および改造はしない
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

本機内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが本機にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電の原因となります。

ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店に依頼してください。

⚠注意

本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

ディスプレイや可動部に負荷を与えない
ディスプレイに袋を吊り下げたり、上から手をついて押さえたりしないでください。脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となることがあります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
フロントパネル開閉や角度調整のときにはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠警告

異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

■安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、本書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。
安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

■本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」（P. 231）を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

■本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えたりすることがあります。

■フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃する際には、フィルムアンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

■画面について

- 画面をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面に強い衝撃を加えないでください。故障の原因となります。
- 画面に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがありますが、故障ではありません。

■結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
  - 細街路を走行中の現在地図画面
  - 市街地図を表示しているとき
  - マップマッチングしていないとき
  - 駐停車中

  *：細街路とは、幅員5.5m未満の道路のことをいいます。

■フロントパネルの安全装置について

フロントパネルが閉じる動作中にパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。
パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

■電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。
したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また本機は、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解/改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

● 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。

3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。



2.4：2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH：FH-SS変調方式を表します。
1：電波与干渉距離は10m以下です。
□□□：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

● 使用可能距離は見通し距離約10mです。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

● 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
- 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

● 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

■本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合などは、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。
個人情報の消去は、「システムを初期化する」（P. 154）で行うことができます。
なお、次のデータや設定は「システムを初期化する」（P. 154）では消去できません。個別に解除/削除してください。

● 暗証番号の解除：「暗証番号を解除する」（P. 42）

● SDカードに録音したデータ：「録音した曲を削除する」（P. 105）

当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
また、プライバシー情報保護のため、本機に登録した個人情報（登録地点の位置情報や電話番号等）は、お客様の責任において取り扱いや管理を実施してください。当社は一切の責任を負いかねます。

■本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。
該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（下記）までご連絡ください。
ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-977-846
FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜～金曜 9：30 ～ 18：00
（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

MEMO

本書の読みかた

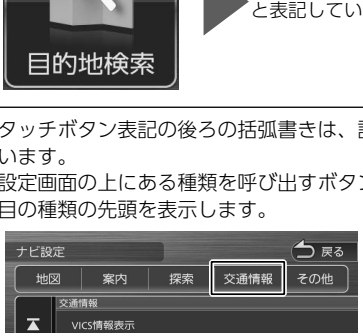
本書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。➡「安全上のご注意」（P. 6）
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法について説明しています。➡「各部の名称とはたらき」（P. 18）
ナビゲーション	地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション（以降、「ナビ」）の操作方法について説明しています。➡「地図の見かたと操作」（P. 48）
オーディオ・ビジュアル	オーディオ・ビジュアル（以降、「AV」）の操作方法について説明しています。➡「AVの基本操作」（P. 90）
情報・設定	VICS情報、ECO情報などの情報について、および本機のシステム設定、サウンド設定などについて説明しています。➡「情報・設定画面について」（P. 124）
Bluetooth	携帯電話やスマートフォン、オーディオプレーヤーをBluetooth®で接続したときの操作方法について説明しています。➡「Bluetooth®機器の登録と設定」（P. 158）
スマートフォン連携	スマートフォンと連携して使うことのできる便利な機能について説明しています。➡「NaviConで探す」（P. 174）
オプション	ETC2.0車載器 やドライブレコーダー、バックモニター などの別売品を接続したときの操作方法について説明しています。➡「ETC2.0車載器を使う」（P. 178）
付録	関連する資料やトラブルシューティングを掲載しています。➡「自車位置の測位精度について」（P. 212）

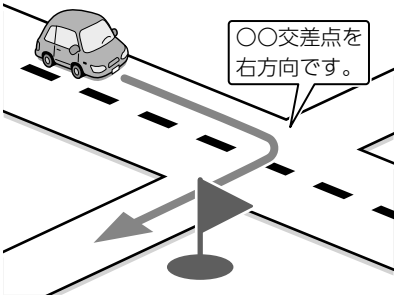
- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。
- 本書に記載の「EVシステム」はHEV（Hybrid Electric Vehicle）、BEV（Battery Electric Vehicle）を総称しています。
- 本書では、EVシステムの「補器バッテリー」を「バッテリー」と表記しています。

本書の見かた

表記例	説明
【メニュー】	本機のフロントパネルのキーを表しています。
［目的地検索］	画面に表示されるタッチボタンを表しています。 本書では、画面に表示されるアイコンの下に文字がある場合は、文字でタッチボタンを表しています。  ［目的地検索］ と表記しています。
［VICS情報表示］（交通情報）	タッチボタン表記の後ろの括弧書きは、設定項目の種類を表記しています。 設定画面の上にある種類を呼び出すボタンにタッチすると、設定項目の種類の先頭を表示します。  (交通情報) と表記しています。
［サウンド］▶［スピーカー］	画面のタッチボタンを複数回タッチする場合は、タッチする順番にボタンを『▶』でつなげて表記しています。
ここまでの手順	この表示の下で説明している操作の前に行う必要がある操作を表記しています。
➡「各部の名称とはたらき」 (P. 18)	参照する箇所を表しています。
「各部の名称とはたらき」 (P. 18)	
	手順の補足説明や制限事項などについて説明しています。

簡単機能ガイド

ナビゲーション機能



■目的地検索画面

施設の名称やジャンル、住所など、多彩な検索方法から行き先を探すことができます。➡「行き先を探す」 (P. 59)



● ルート探索・編集

行き先を設定すると、最適なルートが探索されます。優先する道路や距離別のルートを選んだり、経由地を追加したりできます。➡「ルートの探索と案内を開始する」 (P. 67)

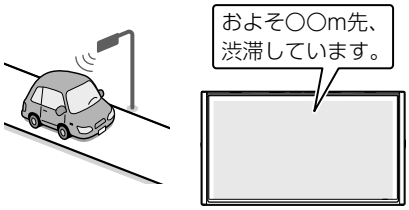


● ルート案内

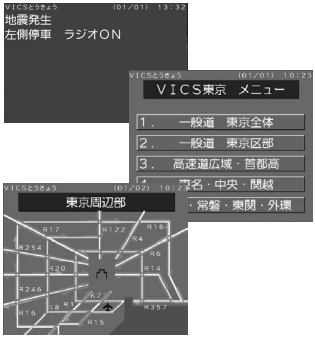
行き先までのルートのほか、方面看板や交差点のレーン情報などをイラストや音声でお知らせします。➡「ルート案内画面について」 (P. 70)



ドライブに役立つ交通情報



VICS情報を受信して、渋滞や規制など、さまざまな交通情報をアイコンや音声でお知らせします。
➡「VICS情報を見る」（P. 125）
また、別売のETC2.0車載器（ディーラーオプション）を接続すると、ETCの利用料金をお知らせすることもできます。➡「ETC2.0車載器を使う」（P. 178）



音楽や映像を楽しむ

いろいろなメディアで音楽や映像をお楽しみいただけます。

■ソース切替画面

➡「ソースを切り替える」（P. 90）



iPhone
USB
SD
REC Audio
DISC
地デジ
FM
AM
Bluetooth AUDIO
交通情報
スタンバイ

情報確認や各種設定の変更

情報・設定画面では、ECO 情報や接続状態を確認できます。
また、本機のさまざまな設定をお好みに合わせて設定し直すことができます。

■情報・設定画面

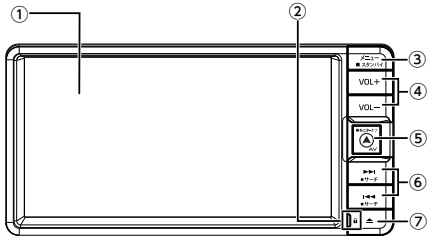
➡「情報・設定画面について」（P. 124）



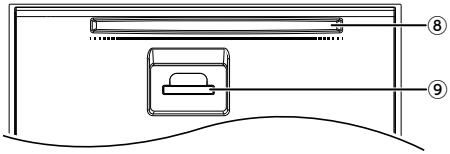
- ナビ設定
  地図に表示する情報や、案内の方法などを設定します。➡「ナビゲーションの設定をする」（P. 134）
- サウンド設定
  車内の音響効果や音質などを設定します。➡「サウンドの設定をする」（P. 142）
- システム設定
  車両やシステム全般の設定を行います。➡「システムの設定をする」（P. 150）
- 外部機器設定
  Bluetooth、外部機器などの接続設定を行います。➡「外部機器の設定をする」（P. 155）
- 登録地点編集
  登録した地点の名称や電話番号などを編集します。➡「登録地点を編集する」（P. 84）

MEMO

各部の名称とはたらき



• パネルオープン時



①画面

②セキュリティインジケーター

セキュリティインジケーターをONに設定している場合、電源オフ時に点滅します。
➡「セキュリティインジケーターの設定をする」（P. 43）

③【メニュー】

- メニュー画面を表示します。➡「メニュー画面の操作」（P. 20）
- 押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。

④【VOL−】/【VOL+】（音量キー）

- AVの音量を調整(0〜40)します。
- ハンズフリー電話中は、着信音量と受話音量を調整(0〜40)します。
- ナビゲーションの音声案内中は、案内音量を調整(1〜40)します。

- 【VOL+】を押し続けると、連続して音量値が15まで上がります。
- ナビゲーションの音声案内中に、音声案内の音量を音量キーで調整できないようにも設定できます。➡「案内中の音量調整」（P. 136）
- 音声案内の音量は、ナビ設定でも調整できます。➡「案内音声の音量」（P. 136）
- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、外部機器設定でも調整できます。➡「着信音量」（P. 161）
- ハンズフリー電話中の音量調整をしないように設定することもできます。➡「通話中の音量調整」（P. 161）

⑤【⏏/AV】

- 現在地図画面を表示します。➡「現在地図画面の見かた」（P. 48）
- 現在地図画面表示中に押すと選択しているソースのAV画面を表示します。
- 押し続けると、画面の表示がオフになり、時計が表示されます。

⑥【⏮】/【⏭】（スキップ/サーチキー）

- FM/AM/地デジ：
  放送局を切り替えます。
  FM/AM受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- 音楽再生/ビデオ再生：
  前または次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
  押し続けると、早戻し/早送りします。

⑦【⏏】(オープンキー)

フロントパネルの角度調整やディスク、SDカードの出し入れを行うためのメニューを表示します。
➡「フロントパネルの角度調整」（P. 32）
➡「ディスクを入れる/出す」（P. 107）
➡「SDカードを入れる/出す」（P. 95）

⑧ディスク挿入口

ディスクを挿入します。

⑨SDカード挿入口

SDカードを挿入します。

画面とフロントパネルキーの照明について

■オートライト装備車

• 周囲が暗くなると減光します。
ただし、イグニッションキーがACCのときは、ライトスイッチに連動して減光します。

■ライトスイッチ連動車（ライトスイッチに連動してメーター類の照明が減光する車両）

• ライトを点灯させると減光します。

基本操作

電源を入れる/切る

電源オン

車のエンジンをかける、EVシステムを起動する、またはACC ONにすると、本機の電源がオンになります。

電源オフ

車のエンジンを切る、EVシステムを停止する、またはACC OFFにすると、本機の電源がオフになります。

- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などには、GPSの測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによっても、GPSの測位に時間がかかります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消去されません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。
- 録音中は電源をオフにしないでください。録音を停止してから電源をオフにしてください。

■リモコンスターターミュート機能について

リモコンスターター装着時は、リモコンスターターで本機の電源をオンにすると本機の音量をミュートします。（車両により対応していない場合があります）

画面/リストの操作

■前の画面に戻る

［戻る］をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。



■リストの操作

リストでは、上下にスクロールして見たい項目を表示します。
リストのスクロールには、次の2つの方法があります。

● **スクロールしたい方向にリストをドラッグ（指で画面をタッチしたまま、なぞる）またはフリック（指で画面をはらう）する**
ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。
フリックしたときは、スクロール中のリストをタッチすると、スクロールを止めることができます。



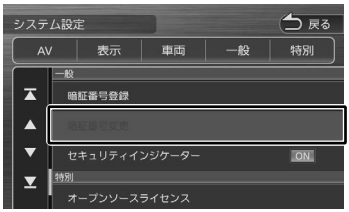
● **リストをページ送りする**
送りたい方向の▲または▼をタッチします。



▲または▼をタッチするとリストの最初または最後を表示します。

■項目が無効のとき

選択できない項目は、タッチしても操作することはできません。



■設定画面

設定画面は、設定の種類ごとにまとめてリストで表示されます。
リストをスクロールして目的の設定の種類①を探し、項目をタッチして決定します。
②をタッチするとそれぞれの設定項目の先頭を表示します。



メニュー画面の操作

メニュー画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。
メニュー画面は、フロントパネルにある【メニュー】を押すと、いつでも表示できます。



①ソース切替

AVソースを切り替える画面を表示します。
➡「ソースを切り替える」 (P. 90)



②マイメニュー

マイメニューを表示します。➡「マイメニューを使う」 (P. 22)



③目的地検索

施設の名称やジャンル、住所など、いろいろな検索方法で行き先を検索できます。➡「行き先を探す」 (P. 59)



④ 情報・設定

ECO、VICSの情報や、ナビ、システム、サウンドなどを設定します。➡「情報・設定画面について」 (P. 124)



⑤ サブメニュー

画面の明るさ調整や、画面表示の消去、ユーザーを切り替えるボタンを表示します。➡「サブメニューを使う」 (P. 25)



⑥ 電話メニュー

電話（Bluetooth®ハンズフリー）メニュー画面を表示します。➡「電話メニュー画面を表示する」 (P. 164)



⑦ ルート

ルート編集画面を表示します。➡「ルートを編集する」 (P. 77)



⑧ Language

地図や音声案内の言語を切り替えるボタンを表示します。➡「言語を切り替える」 (P. 45)



マイメニューを使う

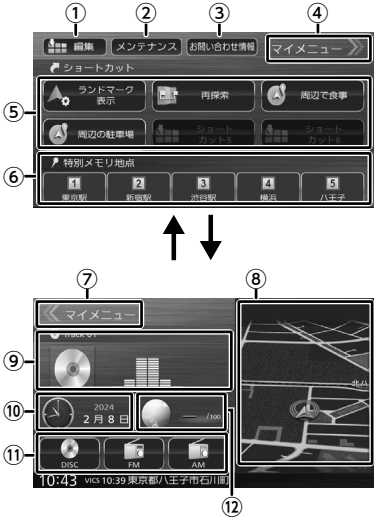
マイメニューでは、よく使うAVソースや機能のショートカットボタンへの割り当て、タイヤ交換などの車両メンテナンス情報の設定、お買い上げになった販売店、保険会社の登録などができます。また、特別メモリ地点1～5に登録済みの地点名称を表示します。

マイメニューを表示する

1　【メニュー】を押して[マイメニュー]をタッチする



マイメニューが表示されます。
マイメニューは２画面あります。
④［マイメニュー＞＞］と⑦［＜＜マイメニュー］で切り替えます。



① ⑤、⑥、⑪を編集する画面を表示します。
② 車両メンテナンス情報の設定画面を表示します。
③ 販売店や保険会社などの情報を表示/編集できます。
④ マイメニュー画面を切り替えます。
⑤ 機能ショートカットボタン
⑥ 特別メモリ地点ボタン
⑦ マイメニュー画面を切り替えます。
⑧ 現在地図を表示します。ルート案内中は次の案内ポイントまでの距離も表示されます。
⑨ 選択しているソースのAV画面を表示します。
⑩ 日付と時刻を表示します。タッチすると１ヶ月分のカレンダーを表示します。
⑪ よく使うAVソースを３つまで割り当てることができます。
⑫ ECO情報を表示します。ルート案内中にタッチすると目的地までの時間と距離が表示されます。

ショートカットキーを割り当てる

本機の機能またはAVソースをそれぞれのショートカットボタンに割り当てます。

1 【メニュー】を押して[マイメニュー]をタッチする



2 [編集]をタッチする



3 機能またはAVソースを割り当てるボタンをタッチする



4 リストから機能またはAVソースを選ぶ

特別メモリ地点の編集をする

1 【メニュー】を押して[マイメニュー]をタッチする



2 [編集]をタッチする



3 編集する特別メモリ地点のボタンをタッチする



4 地点を編集する

地点の名称や電話番号、グループを編集できます。



編集については 「登録地点を編集する」（P. 84）をご覧ください。

お問い合わせ情報を表示/編集する

1 【メニュー】を押して[マイメニュー]をタッチする

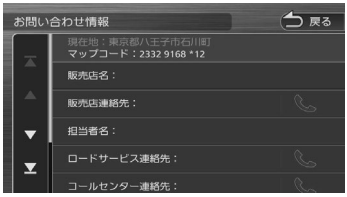


2 [お問い合わせ情報]をタッチする



「問い合わせ情報」（P. 24）が表示されます。

3 編集する項目をタッチする



● 名称を編集する
販売店名、担当者名、保険会社名欄をタッチして名前を入力して［決定］をタッチします。



● 電話番号を登録および変更する
電話番号欄をタッチして電話番号を入力して［決定］をタッチします。



- 文字の入力方法については 「文字入力のしかた」（P. 31）をご覧ください。
- 電話番号は15 文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「−」は省略することもできます。

■問い合わせ情報

項目	説明
現在地マップコード	現在地の住所とマップコードを表示します。
販売店名	お買い上げの販売店名を表示/編集します。
販売店連絡先	お買い上げの販売店の電話番号を表示/編集します。 ハンズフリー通話機器が接続されている場合は、をタッチすると登録している電話番号に発信します。
担当者名	お買い上げの販売店の担当者名を表示/編集します。
ロードサービス連絡先	ロードサービスの電話番号を表示/編集します。 ハンズフリー通話機器が接続されている場合は、をタッチすると登録している電話番号に発信します。
コールセンター連絡先	コールセンターの電話番号を表示/編集します。 ハンズフリー通話機器が接続されている場合は、をタッチすると登録している電話番号に発信します。
保険会社名	保険会社名を表示/編集します。

項目	説明
保険会社連絡先	保険会社の電話番号を表示/編集します。 ハンズフリー通話機器が接続されている場合は、📞をタッチすると登録している電話番号に発信します。

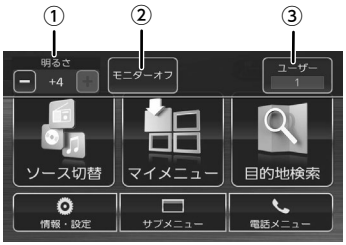
サブメニューを使う

画面の明るさ、画面表示の消去やユーザー切り替え操作などができます。

1　【メニュー】 を押して［サブメニュー］をタッチする



サブメニューが表示されます。



①明るさ

本機の画面の明るさ（−4〜+4）を−または+をタッチして調整します。

- DVDビデオや地上デジタルTV放送の映像の明るさは、AV画面の［映像調整］の「ブライトネス」で調整します。➡「画質を調整する」（P. 91）

② ［モニターオフ］

画面の表示を消します。

③ユーザー［1］/［2］

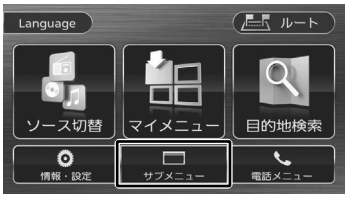
本機の設定を2ユーザー分保存しておくことができます。ナビを使うユーザーによって切り替えて使用します。

- サブメニューを閉じるには、もう一度［サブメニュー］をタッチします。

画面表示を消す

本機を使用しないときなどに画面表示を消して時計のみを表示します。
時計表示も消すことができます。時計表示の設定については 「消灯画面の時計表示」 (P. 150) をご覧ください。

1 【メニュー】 を押して［サブメニュー］をタッチする



2 ［モニターオフ］をタッチする

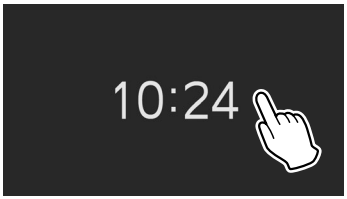


画面が消えて時計が表示されます。

- 画面表示を消しているときに、本機の電源をオフにすると、次に本機の電源をオンにしたときには、画面は表示されます。
- バックモニター 、3モードカメラ 、パノラミックビューモニター が接続されている場合は、画面を消しているときにシフトレバーを「R」に入れると、バックモニター 、3モードカメラ 、パノラミックビューモニターの画面が表示されます。
- 画面表示を消しているときに、別の画面を表示すると画面オフは解除されます。

■画面を表示させる

1 画面をタッチする



画面が表示されます。

- 【◉/AV】 を押し続けても画面をオフにできます。
- 画面表示を消しているときに、時計を表示しないようにすることもできます。➡「消灯画面の時計表示」 (P. 150)

ユーザーを切り替える

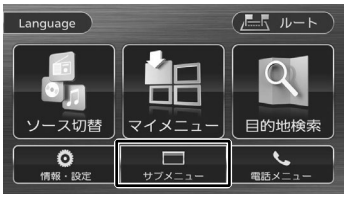
本機の一部の設定を2ユーザー分保存しておくことができます。また、ユーザー1、2は名前に変更することもできます。➡「ユーザー名を編集する」 (P. 27)

保存できる項目

- 音量設定（音声案内、着信、受話、Bluetooth の音質調整のマイクゲイン）
- 地図表示の設定
  （地図の向き、3D地図の傾き角度、縮尺、ランドマーク）
- ユーザー登録地点
- 目的地検索履歴
- マイルートアジャスター
- 目的地検索画面とソース切替画面のボタンサイズ設定

保存できる項目の設定を変更すると、選択中のユーザーの設定として自動的に保存されます。

1 【メニュー】 を押して［サブメニュー］をタッチする



2 ［ユーザー］をタッチする



3 ［ユーザー選択］をタッチする



4 設定するユーザーをタッチする

選択したユーザーの設定に切り替わります。設定を変えると、選択中のユーザーの設定として自動的に保存されます。

■システム設定から切り替える

1 【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



2 ［ユーザー切替］（特別）をタッチする

3 ［ユーザー選択］をタッチする



4 設定するユーザーをタッチする

選択したユーザーの設定に切り替わります。設定を変えると、選択中のユーザーの設定として自動的に保存されます。

■ユーザー名を編集する

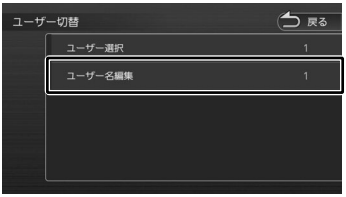
1 【メニュー】 を押して［サブメニュー］をタッチする



2 ［ユーザー］をタッチする



3 ［ユーザー名編集］をタッチする



4 名前を編集する

文字の入力方法は 「文字入力のしかた」（P. 31）をご覧ください。

5 ［決定］をタッチする



ユーザー名が変更され、手順3の画面に戻ります。

・ ユーザー名は4文字まで入力できます。

画面のボタンサイズを変更する

目的地検索画面とソース切替画面のボタンサイズを変更（大/小）することができます。
ボタンサイズを「大」に変更すると、各ボタンの位置を入れ替えることもできます。
➡「ボタンの位置を入れ替える」（P. 28）

1　【メニュー】を押して［目的地検索］または［ソース切替］をタッチする

ここでは目的地検索画面で説明します。



2　［ボタンサイズ］をタッチする

タッチするたびにボタンサイズが変更されます。

ボタンサイズ「小」画面



ボタンサイズ「大」画面



ボタンサイズを「大」に変更したときに表示されないボタンは、［＞］をタッチすると表示されます。元の画面に戻りたい場合は［＜］をタッチします。

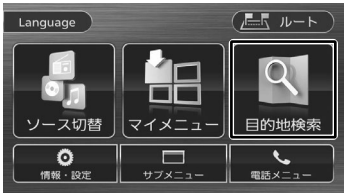


ボタンの位置を入れ替える

目的地検索画面とソース切替画面のボタンサイズを「大」にしているときは、ボタンの位置を入れ替えることができます。

例：目的地検索画面の［名称］の位置を［住所］に変更する場合

1　【メニュー】を押して［目的地検索］または［ソース切替］をタッチする



2　［機能編集］をタッチする



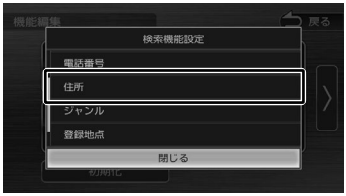
3 変更したいボタンをタッチする

ここでは［名称］をタッチします。



4 入れ替える項目をタッチする

ここでは［住所］をタッチします。



選択した項目が入れ替わります。



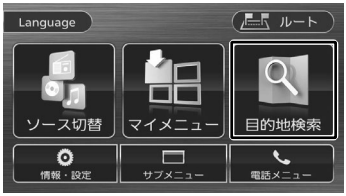


・ 目的地検索画面の［マップコード］［郵便番号］、およびソース切替画面の［スタンバイ］［交通情報］は位置を変更できません。

入れ替えたボタンを初期化する

ボタンの表示位置をお買い上げ時の状態に戻します。

1 【メニュー】を押して［目的地検索］または［ソース切替］をタッチする



2 ［機能編集］をタッチする



3 ［初期化］をタッチする



メッセージが表示されます。

4 ［はい］をタッチする

音量を調整する

ナビゲーションの音量を調整する

ナビの音声案内の音量を調整します。1～40まで調整できます。
お買い上げ時は25に設定されています。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする



2 ［案内音声の音量］（案内）をタッチする

3 バーまたは / をタッチして音量を調整する



4 ［閉じる］をタッチして設定画面を閉じる

・ ナビゲーションの音声案内中に、音量キーで音声案内の音量を調整できるように設定もできます。（お買い上げ時は［ON］に設定されています）
➡「案内中の音量調整」（P. 136）

AVまたはハンズフリー電話の音量を調整する

1 【VOL−】/【VOL+】（音量キー）を押す

AVソースを選択しているときは、選択しているソースの音量を調整（0～40）します。
Bluetoothのハンズフリー電話は、通話中または着信中に音量が調整（0～40）できます。

・ 【VOL+】を押し続けると、連続して音量値が15まで上がります。

文字入力のしかた

文字を入力する

1 ［入力切替］をタッチする



▼▲



文字の入力形式をキーボード形式と携帯電話のようなテンキー形式に切り替えます。

2 入力する文字をタッチする

［切替］：

文字種が切り替わります。

［小文字］：

小文字に切り替わります。

［半角］：

半角文字に切り替わります。

［変換］：

ひらがな、カタカナを漢字に変換します。変換候補リストを表示します。

［無変換］：

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

［送り］：

テンキー形式時に、入力した文字を確定します。

［決定］：

文字入力を終了します。

- ◀または▶をタッチして消去したい文字の右側にカーソルを移動して BS をタッチすると1文字を消すことができます。
- BS をタッチし続けると、文字をすべて消すことができます。
- 名称検索の名称入力は、［送り］をタッチして決定してください。

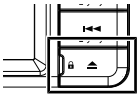
最初にする設定/確認

初めてご使用になるときや、本機の設定を初期化したときなど、最初に設定、確認していただきたい機能について説明します。

フロントパネルの角度調整

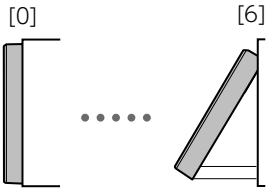
光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいように、フロントパネルの角度を調整できます。
角度を調整しても見づらい場合は視野角を調整してください。

1　【▲】（オープンキー）を押す



2　チルト［0］～［6］をタッチする



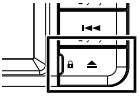


・ フロントパネルの角度が［0］以外に設定されていても、電源オフ時には［0］の位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

視野角を調整する

フロントパネルの角度を調整しても画面が見えにくい場合に調整します。マイナスの値に設定するほど、画面がより白みがかって見えます。

1　【▲】（オープンキー）を押す



2　視野角［－3］～［0］をタッチする



接続状態を確認する

本機に接続している機器の接続状態を確認します。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［接続］をタッチする





接続情報が表示されます。
表示または設定できる項目は以下のとおりです。

● 車両装備

項目	説明
取り付け車種	設定されている車両名が表示されます。
カメラユニット	一部の車両にのみ装着されているカメラ名を表示します。
バックモニター	カメラユニット欄が「バックモニター」の場合、バックモニターの設定状態を表示します。 装着：装着設定の場合。 未装着：未装着設定の場合。

項目	説明
ハンズフリースイッチ	ステアリングスイッチの受話器ボタン（と）の設定状態を表示します。 音認共用（音声認識＆電話）/なし： 音声認識ボタンと受話器ボタンが共用されている場合に設定されています。 １ボタン（電話）/なし： 受話器ボタンが１つの場合に設定されています。 ２ボタン（電話）/なし： 受話器ボタンが２つの場合に設定されています。
コーナーセンサー表示 [1]	コーナーセンサー信号の検出状態を表示します。 フロント： フロントのみ接続されています。 リア： リアのみ接続されています。 フロント&リア： フロントとリアの両方が接続されています。 ー： 接続されていません。
ドライブレコーダー（連動モデル）	別売の本機対応ドライブレコーダーを接続しているときの接続状態を表示します。 接続：接続されています。 未接続：接続されていません。
ETCユニット	ETCユニットの接続状態を表示します。 未接続： 接続されていません。 ETC2.0車載器： ETC2.0車載器（ディーラーオプション）を接続しているときに表示します。 ETC2.0車載器＋光： ETC2.0車載器（光ビーコン対応モデル）（ディーラーオプション）を接続しているときに表示します。
ステアリング連動ガイド線 [2]	ステアリング連動機能対応車両の場合は、「ON」になっていることを確認してください。

項目	説明
固定ガイド線 [2]	ON： 固定ガイド線が表示されます。 OFF： 固定ガイド線は表示されません。

● 車両信号

項目	説明
イグニッション信号	イグニッション信号の検出状態を表示します。
パーキングブレーキ信号	パーキングブレーキ信号の検出状態を表示します。
リバース信号	リバース信号の検出状態を表示します。
イルミネーション信号	イルミネーションの減光状態を表示します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。

● その他

項目	説明
GPS	GPSアンテナの接続状態を表示します。正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。 ［初期化］をタッチすると、センサーの学習を初期化します。

[1] イグニッションキーをONにして表示を確認してください。「ACC」では確認できません。

[2] 一部の車両のみ表示されます。

- 「センサー学習」の初期化は、タイヤを交換したときなどに使用してください。

■センサーの学習について

本機は、GPSの情報と内蔵センサーの情報を基に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。
一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしていますが、タイヤを交換した後、自車位置のずれが大きい場合は、センサー学習の初期化を行ってください。
センサー学習を初期化した場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

● GPS情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。

● 障害物(建物、街路樹など)が少ない場所を走行してください。

- センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。
- GPSアンテナの接続状態や、GPS情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。

車両の設定をする

車両ナンバーを設定する

車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
お買い上げ時は［軽］に設定されています。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする



2 ［車両ナンバー］（その他）をタッチする

3 車両ナンバーをタッチする

設定を変更すると手順2の画面に戻ります。
設定を変更しない場合は、［閉じる］をタッチしてください。手順2の画面が表示されます。

車両メンテナンスを設定する

1 【メニュー】を押して［マイメニュー］をタッチする



2 ［メンテナンス］をタッチする



3 設定する項目をタッチする

4 各項目の設定をする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
お知らせ設定	ON/OFF*	以下の設定した項目をお知らせするかどうかを設定します。［ON］に設定した項目は、手順3の「車両メンテナンス」画面で“ON”と表示されます。
通知年月日	年月日/未設定*	交換日などを設定します。
通知開始設定	なし*/3日前から/7日前から	お知らせを開始する日を設定します。
通知開始距離	xxx km/未設定*	何km走行したらお知らせするかを設定します。
通知まであと	お知らせするまでの残りの距離を表示します。	
メンテナンス名称	「お好み1」、「お好み2」でお知らせする名称を設定します。 文字の入力方法は 「文字入力のしかた」（P. 31）をご覧ください。	
設定消去	設定内容を消去します。タッチするとメッセージが表示されます。［はい］をタッチすると設定を消去します。	

*：お買い上げ時の設定です。

- ［通知開始距離］は「バッテリー交換」、「お好み1」、「お好み2」では設定できません。
- ［通知まであと］は「バッテリー交換」、「お好み1」、「お好み2」では表示されません。
- ［メンテナンス名称］は「お好み1」、「お好み2」のみ設定できます。

- 設定した日、距離などになると本機を起動したときに画面でお知らせします。
  ※表示された画面の［今後表示しない］をタッチすると次回起動時からはお知らせしません。（［お知らせ設定］ が［OFF］になります）
- お知らせするメンテナンス時期と実際のメンテナンス時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 新たにメンテナンス情報を設定したい場合は、必ず［設定消去］をタッチしてください。
- メンテナンス情報は、GPSからの日付情報と車速信号を使用します。

ステアリングスイッチを使う

ステアリングスイッチの設定について

ステアリングスイッチを装備している車両は、ステアリングスイッチから本機を操作することができます。（キーは車両により対応していない場合があります）
お買い上げ時は「ステアリングスイッチ」の設定は、［ON］に設定されており下表の機能が設定されています。➡「ステアリングスイッチの設定をする」 (P. 38)
お買い上げ時のままご使用になる場合は、ステアリングスイッチの設定は不要です。

キー	説明
🔊/🔉	• AVの音量を調整（0～40）します。 • ハンズフリー通話中は、着信音量と受話音量を調整（0～40）します。 • ナビゲーションの音声案内中は、案内音量を調整（1～40）します。
⏮ / ⏭ または < / >	• FM/AM、地デジ： 放送局を切り替えます。 FM/AM受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 • 音楽/ビデオ再生： 前/次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。 押し続けると、早戻し/ 早送りします。
MODE	AVソースを切り替えます。 ディスクが挿入されていない場合や機器が接続されていないなど、選択できないソースはスキップされます。 押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。もう一度押すと元のソースに戻ります。
📞 または 🎙✱📞	ハンズフリーの電話を受けます。 通話中、発信中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。 着信時に押し続けると着信を拒否します。 （Bluetooth接続中）
🎙✱	AVソースの音量を一定量下げます。 もう一度押すと元の音量に戻ります。

キー	説明
/	：ハンズフリーの電話を受けます。 ：通話中、発信中に押すとハンズフリーの電話を切ります。着信時に押すと着信を拒否します。 （Bluetooth接続中）

- 音量を上げるキーを押し続けると連続して音量値が15まで上がります。
- キーの記号は変更されることがあります。
- ハンズフリースイッチの設定状態については、 「接続状態を確認する」（P. 33）をご覧ください。

お買い上げ時の設定では、＊キーのみ割り当てる機能を変更することができます。
また、ステアリングスイッチに独自に機能を割り当てることもできます。独自の機能を割り当てるには 「独自に機能を割り当てる（ユーザー学習）」（P. 39）をご覧ください。

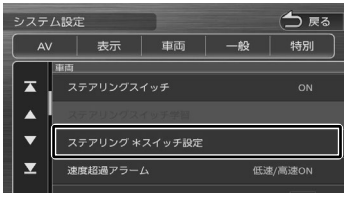
＊キーに機能を割り当てる

＊キーに割り当てる機能を変更することができます。（車両により対応していない場合があります）

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



2 ［ステアリング＊スイッチ設定］（車両）をタッチする



3 割り当てる機能をタッチする



＊キーに割り当てられる機能は以下になります。

項目	機能
未設定	設定しません。
メニュー	メニュー画面を表示します。押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。
現在地/AV	現在地図画面を表示します。現在地図画面中に押すとAV画面を表示します。押し続けると、画面の表示を消します。
現在地	現在地図画面を表示します。押し続けると、画面の表示を消します。
AV	AV画面を表示します。 押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。もう一度押し続けると、スタンバイを解除します。
MODE	押すごとにAVソースが切り替わります。押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。スタンバイ中に押すと前のソースに戻ります。
	AVソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
VOL▲ VOL▼	• AVの音量を調整（0～40）します。 • ハンズフリー通話中の音量を調整（0～40）します。 • ナビゲーションの音声案内中の案内音量を調整（1～40）します。

項目	機能
◀◀/▶▶	• FM/AM/地デジ： 放送局を切り替えます。 FM/AM受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 • 音楽/ビデオ再生： 前/次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。 押し続けると、早戻し/ 早送りします。
詳細	詳細な地図を表示します。 （地図画面表示中）
広域	広域な地図を表示します。 （地図画面表示中）
📞	ハンズフリーの電話を受けます。 （Bluetooth接続中）
📞	ハンズフリーの電話を切ります。 （Bluetooth 接続中） 着信時に押すと着信拒否します。
📞 / 📞	ハンズフリーの電話を受けます。 着信時に押し続けると着信を拒否します。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。（Bluetooth接続中）
カメラ	パノラミックビューモニターが接続されているときに、約10km/h以下で走行中に押すとパノラミックビューモニターの映像に切り替わり、約10km/h以上で走行中に押すとサイドの映像に切り替わります。（車両により対応していない場合があります）

- 「ステアリングスイッチ」の設定が[ON]のとき、＊キーに機能を割り当てることができます。➡「ステアリングスイッチの設定をする」（P. 38）

ステアリングスイッチの設定をする

ステアリングスイッチに独自に機能を割り当てる、またはステアリングスイッチを使用しない場合の設定を行います。

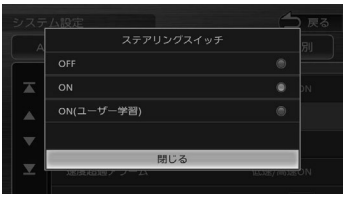
1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



2 ［ステアリングスイッチ］（車両）をタッチする



3 設定する項目をタッチする



[OFF] ：

ステアリングスイッチを使用しないときにタッチします。

[ON] ：

ステアリングスイッチをお買い上げ時のまま使用する場合にタッチします。
➡「ステアリングスイッチの設定について」（P. 36）

[ON(ユーザー学習)] ：

独自にステアリングスイッチのキーに機能を割り当てることができます。操作については「独自に機能を割り当てる（ユーザー学習）」（P. 39）をご覧ください。

独自に機能を割り当てる（ユーザー学習）

ステアリングスイッチのキーに機能割り当て（ステアリングスイッチ学習）を行います。

- すべてのキーに機能を割り当ててください。割り当てを行っていないキーに他のキーで登録した機能が割り当てられることがあります。

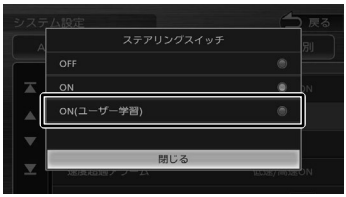
1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



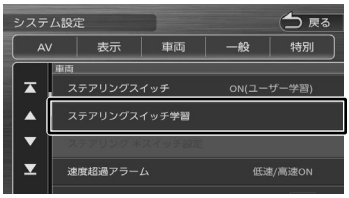
2 ［ステアリングスイッチ］（車両）をタッチする



3 ［ON（ユーザー学習）］をタッチする



4 ［ステアリングスイッチ学習］（車両）をタッチする



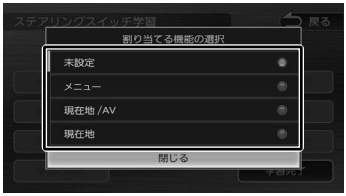
ステアリングスイッチ学習画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。
ステアリングスイッチは押さないでください。

5 機能を割り当てるステアリングスイッチのキーを2秒以上押す





6 割り当てる機能をタッチする



割り当てた機能が表示されます。
手順5と6をくり返して、全てのキーに割り当てを行ってください。

7 ［学習完了］をタッチする



学習が完了し、システム設定画面に戻ります。

■キーに割り当てられる機能

キー	機能
未設定	設定しません。
メニュー	メニュー画面を表示します。押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。
現在地/AV	現在地図画面を表示します。現在地図画面中に押すとAV画面を表示します。押し続けると、画面の表示を消します。
現在地	現在地図画面を表示します。押し続けると、画面の表示を消します。
AV	AV画面を表示します。 押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。もう一度押し続けると、スタンバイを解除します。
MODE	押すごとにAVソースが切り替わります。押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。スタンバイ中に押すと前のソースに戻ります。
	AVソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
	• AVの音量を調整（0～40）します。 • ハンズフリー通話時の受話音量を調整（0～40）します。 • ナビゲーションの音声案内中の案内音量を調整（1～40）します。

キー	機能
	• FM/AM/地デジ： 放送局を切り替えます。 FM/AM受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 • 音楽再生/ビデオ再生： 前または次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。 押し続けると、早戻し/早送りします。
詳細	詳細な地図を表示します。 （地図画面表示中）
広域	広域な地図を表示します。 （地図画面表示中）
	ハンズフリーの電話を受けます。（Bluetooth接続中）
	ハンズフリーの電話を切ります。 （Bluetooth接続中） 着信時に押すと着信を拒否します。
	ハンズフリーの電話を受けます。 着信時に押し続けると着信を拒否します。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。（Bluetooth接続中）
	AVソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。ハンズフリーの着信中は通話を開始します。
カメラ	パノラミックビューモニター が接続されているときに、約10km/h以下で走行中に押すとパノラミックビューモニター の映像に切り替わり、約10km/h以上で走行中に押すとサイドの映像に切り替わります。（車両により対応していない場合があります）

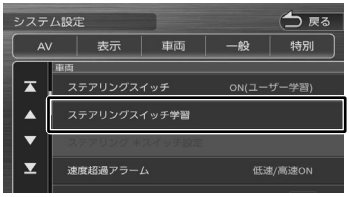
ステアリングスイッチキーの割り当てを変更する

割り当てた機能の変更や消去ができます。

1 【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



2 ［ステアリングスイッチ学習］（車両）をタッチする



3 割り当てを変更または消去するキーをタッチする



4 変更したい機能をタッチする



機能を消去する場合は［未設定］をタッチしてください。

5 ［変更完了］をタッチする



変更が完了し、システム設定画面に戻ります。

ステアリングスイッチキーの割り当てを初期化する

1 「ステアリングスイッチキーの割り当てを変更する」（P. 41）の手順3で［学習初期化］をタッチする



初期化が完了し、システム設定画面に戻ります。

セキュリティの設定をする

暗証番号を設定する

盗難防止対策のための暗証番号を設定します。

暗証番号を設定すると、本機の取り外し、または車のバッテリー交換を行った場合に、ここで設定した暗証番号の入力が必要になります。

正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

設定した暗証番号は、本機に付属されているシリアルNo.カードの裏面に記入し、ご自宅で保管してください。
暗証番号を忘れた場合は、販売店へご相談ください。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



2 ［暗証番号登録］（一般）をタッチする



3 設定する4～8桁の暗証番号を入力し、［決定］をタッチする



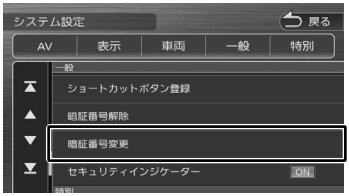
4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

メッセージが表示され、登録が完了します。

■暗証番号を変更する

設定した暗証番号を変更します。

1 ［暗証番号変更］（一般）をタッチする



2 現在設定されている暗証番号を入力し、［決定］をタッチする



3 新しく設定する4～8桁の暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

メッセージが表示され、変更が完了します。

■暗証番号を解除する

設定した暗証番号を解除します。

1 ［暗証番号解除］（一般）をタッチする



2 現在設定されている暗証番号を入力し、［決定］をタッチする



メッセージが表示され、暗証番号が解除されます。

セキュリティインジケーターの設定をする

本機の電源をオフにしたときに、セキュリティインジケーターを点滅させるかどうかを設定します。
お買い上げ時は［ON］に設定されています。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



2 ［セキュリティインジケーター］（一般）をタッチする



自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

1 【メニュー】を押して［目的地検索］▶［自宅］をタッチする

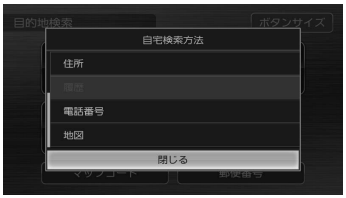


確認メッセージが表示されます。

2 ［はい］をタッチする

自宅の検索方法が表示されます。

3 自宅の検索方法にタッチする



ここでは住所で説明します。
住所以外の検索方法については 「行き先を探す」（P. 59）をご覧ください。

4 画面に従って自宅の住所を入力する



5 ［自宅に設定する］をタッチする



メッセージが表示され、自宅が登録されます。

6 ［決定］をタッチする



この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は 「文字入力のしかた」（P. 31）をご覧ください。

- 自宅までのルート設定や自宅の変更などは 「自宅に帰る/自宅を変更する」（P. 58）をご覧ください。
- 自宅を登録していない場合は、現在地図画面の［自宅］からも登録することができます。➡「ショートカットボタンを使う」（P. 55）

Bluetooth機器を登録する

1 【メニュー】 を押し、［情報・設定］▶［外部機器］▶［機器登録］（Bluetooth）をタッチする





メッセージが表示され、Bluetooth機器の登録が可能な状態になります。
［閉じる］を押さずに手順2以降の操作をします。

2 登録するBluetooth機器のBluetooth機能をオンにする

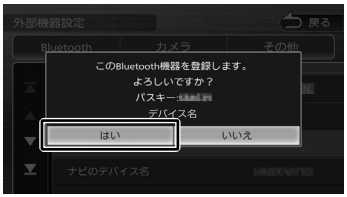
3 Bluetooth機器側で接続する本機のモデル名を選ぶ

以下のモデル名を選びます。
- NMZK-W75DE

4 デバイス名とパスキーを確認する



5 ［はい］をタッチする



Bluetooth機器の登録が始まります。

登録と接続が完了すると、本機の画面にBluetooth接続中アイコンが表示されます。➡「Bluetooth®機器の登録と設定」(P. 158)

Bluetooth機器の登録が1台目の場合は、ここで登録（ペアリング）操作は終了です。

ハンズフリーはハンズフリー1に接続されています。

PBAP対応機器は電話帳を登録することができます。➡「PBAP対応機器の電話帳を登録する」(P. 169)

すでにBluetooth機器を登録している場合は、「本機にBluetooth機器を登録する」(P. 158)をご覧ください。

言語を切り替える

メニューと地図の表示言語と、音声案内の発話言語を切り替えます。

1 【メニュー】 を押して［Language］をタッチする



2 変更したい言語をタッチする



- 以下の表示言語は切り替わりません。
  - 周辺検索の結果表示
  - 電話番号検索の結果表示
  - 名称検索の入力文字（日本語以外に設定時は、アルファベット入力画面）
  - 住所検索の住所選択項目（日本語以外に設定時は、アルファベット選択画面）
  - 地デジの番組表
  - 上記以外にも、言語が切り替わらない表示、音声案内が一部あります。
- 電話番号検索で電話番号を入力するときは、国番号の入力は必要ありません。

ナビデータを消去する

検索履歴、ルート情報（目的地/ 経由地/ ルート）、走行軌跡を消去します。

1 【メニュー】 を押して [Language] をタッチする



2 [ナビデータ消去] をタッチする



メッセージが表示されます。

3 [はい] をタッチする

はっきり音声機能を使う

はっきり音声機能をオンにすると、ラジオのニュースや野球中継などの声の周波数が調整され、聞き取りやすくなります。
はっきり音声機能は、FM、AM、交通情報、地デジ、ハンズフリー通話で使うことができます。
AV画面と地図画面では、はっきり音声機能がオンのときは画面下部にアイコンが表示されます。

AV画面（FM、AM、交通情報、地デジ）



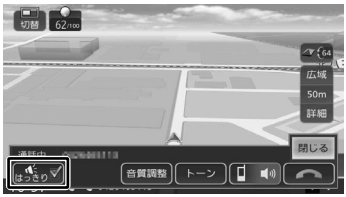
アイコン

地図画面



アイコン

ハンズフリー通話中

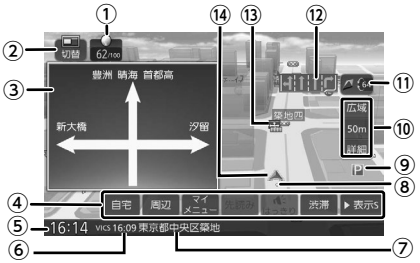


MEMO

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

現在地図画面以外を表示しているときにフロントパネルの【▲/AV】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます。（現在地図画面）



① エコ情報

エコ情報が点数で表示されます。➡「ECO情報を見る」（P. 133）

② ［切替］

タッチすると2画面表示の設定画面が表示されます。➡「地図を2画面表示する」（P. 51）

③ 方面看板

方面看板情報がある交差点に近づくと表示されます。タッチすると表示を消します。

④ ショートカットボタン

タッチすると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。表示するボタンの数は「表示S」と「表示L」で異なります。詳細は「ショートカットボタンを使う」（P. 55）をご覧ください。

⑤ 時計

現在の時刻が24時間表記で表示されます。
本機はGPS電波を利用して自動で時刻を調整します。

⑥ VICS情報提供時刻

VICS情報の提供時刻が表示されます。

⑦ 現在地情報

現在の自車位置の情報が表示されます。

⑧ 走行軌跡

これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示しないように設定できます。➡「走行軌跡表示を設定する」（P. 139）
また、走行軌跡のデータを消去することもできます。➡「走行軌跡を消去する」（P. 139）

⑨ ランドマーク

目印となる施設がマークで地図上に表示されます。

⑩ ［広域］/［詳細］/縮尺

タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。➡「地図の縮尺を変える」（P. 49）
ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。
縮尺表示をタッチするとスライダーバーが表示され縮尺を変えることができます。➡「スライダーバーで縮尺を変える」（P. 49）

⑪ （コンパスボタン）

地図の方位が表示されます。
タッチすると、地図の向きを切り替えることができます。➡「地図の向きと表示を切り替える」（P. 50）

⑫ レーン情報

次の交差点のレーン情報が表示されます。

⑬ 案内地点

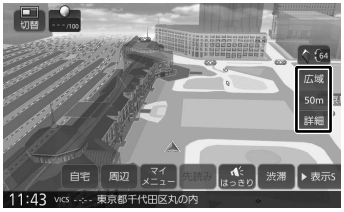
：方面看板の案内地点が表示されます。
：レーン情報の案内地点が表示されます。

⑭ 自車マーク

- 細街路（幅員5.5m未満の道路）は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図の表示中は、常に細街路が表示されます。➡「市街地図について」（P. 49）

地図の縮尺を変える

1　［広域］または［詳細］をタッチする

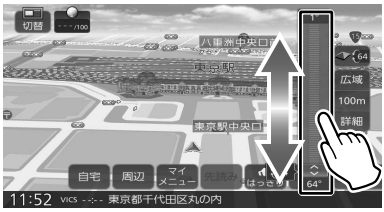


それぞれのボタンをタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

■スライダーバーで縮尺を変える

1　縮尺表示をタッチして、タッチしたままスライダーバーのつまみを上下にドラッグする





市街地図について

市街地図は、100m 以下のスケールで表示されます。
ナビ設定の「市街地図の表示縮尺」を「50m 以下」にすると、50m 以下のスケールで表示できます。

設定については 「市街地図の表示縮尺」（P. 135）をご覧ください。

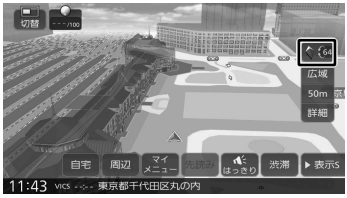


- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自車マークが道路の中央や右側に表示されることがあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面で縮尺を変えても、現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。➡「地図をスクロールする」（P. 52）
- 走行中は、連続スクロール、スライダーバーでの縮尺変更はできません。

地図の向きと表示を切り替える

1 現在地図画面のコンパスボタンをタッチする

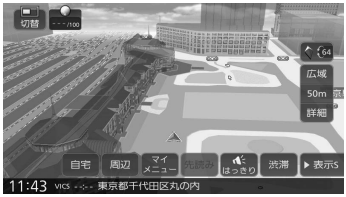
タッチするごとに地図の表示方法が切り替わります。



（3Dビュー）：

進行方向が画面の上方向になる向きで、3D地図が表示されます。3D地図では傾き角度を変更することができます。
➡「3D地図の傾き角度を変更する」（P. 50）

市街地図では、スケールを50m以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル3Dマップが表示されます。
➡「市街地図について」（P. 49）



（2Dノースアップ）：

地図の北が画面の上方向になるように表示されます。

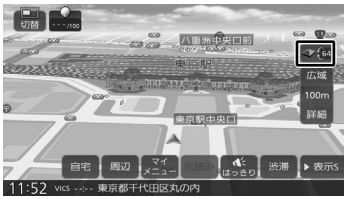
（2Dヘディングアップ）：

進行方向が画面の上方向になるように表示されます。

- 地図の向きは、ナビ設定で切り替えることもできます。➡「地図の向き」（P. 135）
- 地域によっては、バーチャル3Dマップを表示できない場所があります。

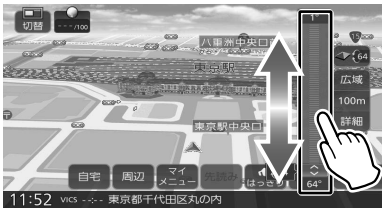
3D地図の傾き角度を変更する

1 コンパスボタンをタッチし続ける



スライダーバーが表示されます。

2 スライダーバーのつまみを上下にドラッグする



スライダーバー上の任意のポイントをタッチしても傾き角度を変更できます。

■地図小画面の傾き角度設定

1 コンパスボタンをタッチし続ける



傾き角度調整ボタンが表示されます。

2 ［へ］または［﹀］をタッチする



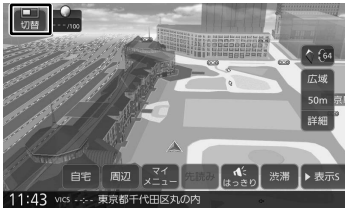
［へ］または［﹀］をタッチするたびに5度ずつ調整できます。

- 傾き角度設定は、スクロール地図を表示中も変更できます。
- 現在地図の傾き角度は保存されるため、スクロール地図で傾き角度を設定しても、現在地図にすると元の傾き角度に戻ります。
- 現在地図と地図小画面は同じ傾き角度になります。

地図を2画面表示する

現在地図画面の上に、現在地図画面またはAV簡易画面を表示できます。

1 地図画面の［切替］をタッチする



2 表示方法を選ぶ

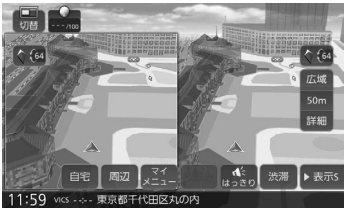


［地図］：

現在地図を1画面表示します。

［地図＆地図中］：

現在地図と2画面表示します。



［地図＆AV中］：

現在地図の上に、選択しているAVソースの簡易画面を表示します。



- 地図2画面表示中も、背景の現在地図画面は、地図の縮尺の変更やスクロールなどの操作ができます。
- 上に表示される地図は、スクロールできません。

地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

■ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。



■フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。



■ポイントスクロール

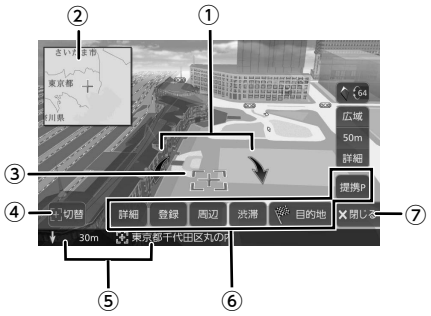
地図をタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。



スクロールした後に【◉/AV】 を押すと、現在地図画面に戻ります。

- 走行中は、連続スクロール、ドラッグスクロールはできません。

スクロールしたときの地図表示



① 地図回転ボタン

3Dビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。

② フライビューマップ

スクロールした地点を広域地図で表示します。表示しないように設定することもできます。
➡「フライビューマップ表示」（P. 135）

③ （カーソル）

地図画面の中心点に表示されます。

④ ［切替］

同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。

⑤ 地点情報

カーソルの位置の地点情報（住所や名称など）と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

⑥ ［提携P］

カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

［目的地］/［経由地］（経由地は目的地を設定しているときのみ表示）

この地点を目的地/経由地に設定します。

［渋滞］

VICS情報画面が表示されます。➡「簡易図形型（レベル2）/文字型（レベル1）情報の割り込み表示」（P. 128）

［周辺］

周辺の施設を検索します。タッチするとジャンルリストが表示されます。検索したいジャンルをタッチしてください。➡「周辺検索と周辺情報を取得する」（P. 56）

［登録］

この地点を登録します。

［詳細］

地点詳細情報画面を表示します。
スマートフォンでQRコードを読み取ると、MapFanのサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。
➡「マップクリップを利用する」（P. 54）

⑦ ［閉じる］

⑥ の表示を消して、［表示］に切り替わります。

- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

ランドマークの情報を見る

1 情報を表示したいランドマークのアイコンをタッチする



▼



施設名と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

さらに詳細な情報を見るには、［詳細］をタッチします。➡「マップクリップを利用する」（P. 54）

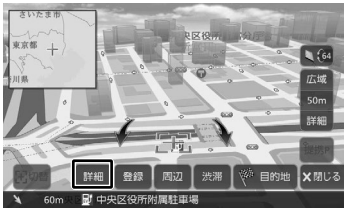
- 複数のランドマークが重なっている場合は、［切替］をタッチすると、表示するランドマークの情報を切り替えることができます。
- ランドマークは、ガソリンスタンド/コンビニエンスストア/ファミリーレストラン/ファーストフードについては、500m以下のスケールで表示します。その他のランドマークは200m以下のスケールで表示されます。
- 地図の向きが3Dビューの場合、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。

マップクリップを利用する

マップクリップは、QRコード（2次元バーコード）に変換した地点情報を、スマートフォンで読み取って地図を表示するサービスです。

- スマートフォンに表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することができます。
- 地図を表示するには、QRコードを読み取るアプリケーションが必要です。
- 地図の縮尺変更や移動は無料です。（通信料、パケット料はお客様負担となります。）
- 「マップクリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

1 地点詳細情報画面を表示したい地点を表示して、［詳細］をタッチする



2 QRコードを表示して、スマートフォンで読み取る



（地点地図）：

カーソルのある地点の位置をQRコードで表示します。

（地点地図＋現在地）：

カーソルのある地点と現在地からのルート情報をQRコードで表示します。

（地点地図＋目的地）：

カーソルのある地点と目的地からのルート情報をQRコードで表示します。

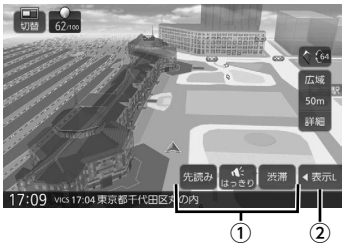
▼

QRコードを読み取るとMapFanのサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

ショートカットボタンを使う

現在地図画面にショートカットボタンが表示されます。ショートカットボタンは「S」と「L」があります。

■ショートカットSボタンを表示時



① **［先読み］**

ルート案内中に案内先読みガイドを表示します。➡「案内先読みガイド表示」（P. 73）
「バックモニター機能」がON に設定されていて、パノラミックビューモニター（メーカー装着オプション）が接続されているときは表示されません。

［はっきり］

ソースがFM、AM、地デジ、交通情報のときと、ハンズフリー通話中にタッチしてはっきり音声機能をオンにすると音声が聞き取りやすくなります。
はっきり音声機能がオンのときは画面下部にアイコンが表示されます。



［渋滞］

VICS 情報画面を表示します。➡「簡易図形型（レベル2）/文字型（レベル1）情報の割り込み表示」（P. 128）

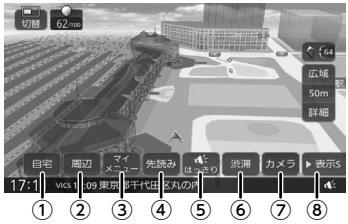
［カメラ］

「バックモニター機能」がON に設定されていて、パノラミックビューモニター（メーカー装着オプション）が接続されているときに表示されます。（車両により対応していない場合があります）
約10km/h以下で走行中にタッチするとパノラミックビューモニターの映像に切り替わり、約10km/h以上で走行中にタッチするとサイドの映像に切り替わります。
➡「パノラミックビューモニターの接続を設定する」（P. 191）
➡「パノラミックビューモニターの映像を表示する」（P. 191）

② **［表示L］**

ショートカットLボタンを表示します。➡「ショートカットLボタンを表示時」（P. 55）

■ショートカットLボタンを表示時



① **［自宅］**

自宅へ帰るルートを探索します。➡「自宅に帰る」（P. 58）
自宅を登録していない場合は自宅を登録することができます。➡「自宅を登録する」（P. 43）

② **［周辺］**

現在地の周辺にある施設の検索や、地点情報を表示します。➡「周辺検索と周辺情報を取得する」（P. 56）
検索した施設を目的地に設定することもできます。

③ **［マイメニュー］**

マイメニューを表示します。➡「マイメニューを使う」（P. 22）

④ **［先読み］**

ルート案内中に案内先読みガイドを表示します。➡「案内先読みガイド表示」（P. 73）

⑤ **［はっきり］**

ソースがFM、AM、地デジ、交通情報のときと、ハンズフリー通話中にタッチしてはっきり音声機能をオンにすると、音声が聞き取りやすくなります。
はっきり音声機能がオンのときは画面下部にアイコンが表示されます。



⑥ **［渋滞］**

VICS 情報画面を表示します。➡「簡易図形型（レベル2）/文字型（レベル1）情報の割り込み表示」（P. 128）

⑦ **［カメラ］**

「バックモニター機能」がONに設定されていて、パノラミックビューモニター（メーカー装着オプション）が接続されているときに表示されます。（車両により対応していない場合があります）
約10km/h以下で走行中にタッチするとパノラミックビューモニターの映像に切り替わり、約10km/h以上で走行中にタッチするとサイドの映像に切り替わります。
➡「パノラミックビューモニターの接続を設定する」（P. 191）
➡「パノラミックビューモニターの映像を表示する」（P. 191）

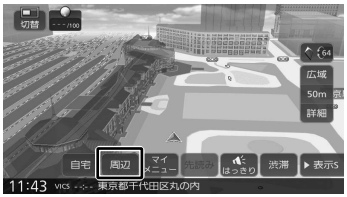
⑧ **［表示S］**

ショートカットSボタンを表示します。

周辺検索と周辺情報を取得する

現在地の周辺の施設を検索します。

1 ［周辺］をタッチする



2 検索するジャンルをタッチする



ジャンルを絞り込んだ後の操作は 「ジャンルから探す」（P. 62）の手順4からご覧ください。

- ［周辺］が表示されていないときはショートカットLボタンを表示してください。➡「ショートカットボタンを使う」（P. 55）

ナビゲーションの流れ

① 行き先を探す

■目的地検索画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。➡「行き先を探す」 (P. 59)



■地図画面から

地図をスクロールして行きたい場所を探し、［目的地］をタッチします。➡「地図をスクロールする」 (P. 52)



② 行き先に設定する

■［目的地］をタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。➡「ルートの探索と案内を開始する」 (P. 67)



・ 経由地は、目的地を設定した後に設定することができます。➡「経由地を追加する」 (P. 77)

③ ルートを設定する

■ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。➡「ルートを編集する」 (P. 77)



［推奨］/［距離］/［高速］/［一般］/［高速/ 距離］：

指定した条件でルートを探索します。➡「ルートの探索条件を選択して案内を開始する」 (P. 68)

［ルート情報］：

選択したルートの情報を確認します。

［入XXX］/［出XXX］：

利用するインターチェンジを変更します。➡「利用するインターチェンジを変更する」 (P. 79)
有料道路を使用するときに表示されます。

④ 案内を開始する

■［案内開始］をタッチする

ルート案内が始まります。



<ルート案内を開始した後は>

- 経由地の設定・入れ替え
  途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更したりできます。➡「経由地を追加する」 (P. 77)
- 案内終了
  ルート案内を中止します。➡「ルート案内を終了する」 (P. 82)

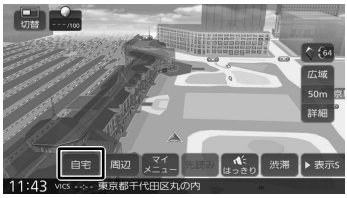
自宅に帰る/自宅を変更する

自宅に帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

1 現在地図画面で［自宅］をタッチする

［自宅］が表示されていないときはショートカットLボタンを表示してください。➡「ショートカットボタンを使う」（P. 55）



確認メッセージが表示されます。

2 ［はい］をタッチする

3 探索条件にタッチして［案内開始］をタッチする



自宅へのルート案内が開始されます。

➡「ルートの探索と案内を開始する」（P. 67）

- 目的地検索画面の［自宅］をタッチして、ルート案内を開始することもできます。➡「行き先を探す」（P. 59）
- ルートの探索条件の選択方法は、「ルートの探索条件を選択して案内を開始する」（P. 68）をご覧ください。

自宅を変更する

1 新しく自宅に登録する地点を検索して［登録］をタッチする



2 ［自宅］をタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

4 ［決定］をタッチする



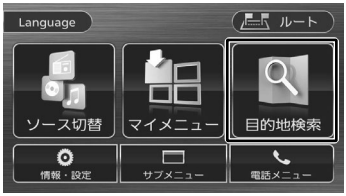
この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は「文字入力のしかた」（P. 31）をご覧ください。

- 先に自宅として登録されていた地点は、［未分類］グループに変更されます。

行き先を探す

さまざまな方法を使って、行き先（目的地）や立ち寄りたい場所（経由地）を探すことができます。

1 【メニュー】を押して［目的地検索］をタッチする



2 使用する検索方法をタッチする

［名称］：

施設の名称やキーワードで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。➡「名称から探す」（P. 59）

［ジャンル］：

食事やショッピングなど、ジャンルで行き先を探します。➡「ジャンルから探す」（P. 62）

［登録地点］：

本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。➡「登録地点から探す」（P. 64）

［自宅］：

現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。➡「自宅に帰る」（P. 58）

自宅が未登録の場合はメッセージが表示され自宅を登録することができます。➡「自宅を登録する」（P. 43）

［住所］：

住所から目的地を探します。➡「住所から探す」（P. 64）

［履歴］：

いままでにルートを探索した行き先から探します。➡「履歴から探す」（P. 65）

［電話番号］：

電話番号を入力して行き先を探します。➡「電話番号、郵便番号、マップコードで探す」（P. 66）

［マップコード］：

マップコードを探します。➡「電話番号、郵便番号、マップコードで探す」（P. 66）

［郵便番号］：

郵便番号を入力して行き先を探します。➡「電話番号、郵便番号、マップコードで探す」（P. 66）

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

1 【メニュー】を押して［目的地検索］▶［名称］をタッチする



2 施設の名前を入力して、［検索］をタッチする



- 名称検索の名称入力時は、ひらがな以外の文字は入力できません。
- 施設名の入力時に、「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」（促音）や「ゃ」「ゅ」「ょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。
- 文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致件数が5件以下になると、自動的に検索結果（手順3）が表示されます。
- 名称検索の名称入力中に「完全一致」が0件になった場合は、文字の入力はできません。入力した文字を削除して他の名称を入力してください。

3 行き先をタッチする



［エリア指定］：

さらに指定したエリアで検索します。
➡「エリアを指定して検索する」（P. 60）

［ジャンルで絞り込む］：

さらにジャンルで絞り込みます。➡「ジャンルで絞り込む」（P. 61）

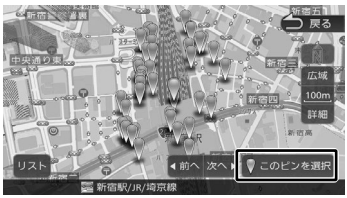
［名称順］：

検索結果を名称順で表示します。

［距離順］：

検索結果を距離順で表示します。

4 ［このピンを選択］をタッチする



［リスト］：

リストから施設を選ぶことができます。

▼

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。➡「ルートの探索と案内を開始する」（P. 67）

- ピンは手順3で指定した行き先を含めて50件まで表示します。指定する施設を変更したい場合は、［前へ］または［次へ］をタッチするかピンを直接タッチすると、施設を切り替えることができます。
- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。

エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

1 「名称から探す」（P. 59）の手順3で［エリア指定］をタッチする



2 指定したい項目をタッチする



［地域を指定］：

地域（都道府県から）を入力して検索します。

［地図から指定］：

地図をスクロールして場所を指定します。

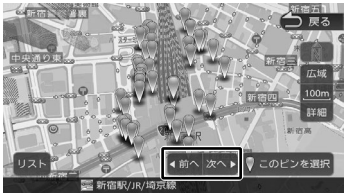
［現在地周辺］/［目的地周辺］/［経由地1周辺］～［経由地5周辺］：

指定した地点の周辺地図が表示されます。

3 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順4に進んでください。

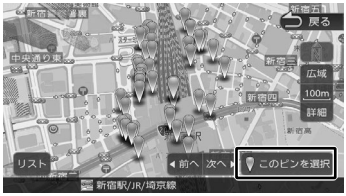


［リスト］：

リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 ［このピンを選択］をタッチする



［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。➡「ルートの探索と案内を開始する」（P. 67）

- 手順2の［目的地周辺］/［経由地1周辺］～［経由地5周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル（施設の種類）でさらに絞り込むことができます。

1 「名称から探す」（P. 59）の手順3で［ジャンルで絞り込む］をタッチする



2 ジャンルをタッチする



さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：

選択したジャンルすべて（下層の分類も含む）で検索します。

3 目的の施設を選ぶ



［エリア指定］：

さらに指定したエリアで検索します。
➡「エリアを指定して検索する」（P. 60）

［名称順］：

検索結果を名称順で表示します。

［距離順］：

検索結果を距離順で表示します。

4 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順5に進んでください。

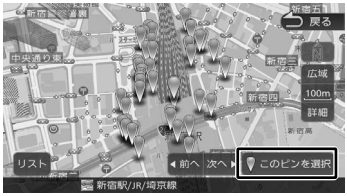


［リスト］：

リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 ［このピンを選択］をタッチする



［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。➡「ルートの探索と案内を開始する」（P. 67）

ジャンルから探す

食事やショッピングなど、目的のジャンルから行き先を探します。

1 【メニュー】を押して［目的地検索］▶［ジャンル］をタッチする



2 ジャンルをタッチする



さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：

選択したジャンルすべて（下層の分類も含む）で検索します。

3 指定したい項目をタッチする



［地域を指定］：

地域（都道府県から）を入力して検索します。

［地図から指定］：

地図をスクロールして場所を指定します。

［ルート周辺］：

ルート前方にある施設を表示します。

［現在地周辺］/［目的地周辺］/［経由地1周辺］～［経由地5周辺］：

指定した地点の周辺地図が表示されます。

4 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順5に進んでください。

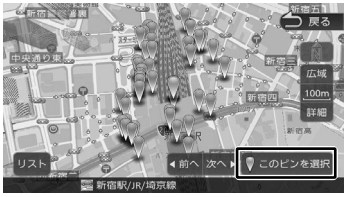


［リスト］：

リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 ［このピンを選択］をタッチする



［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。➡「ルートの探索と案内を開始する」（P. 67）

- 手順3の［ルート周辺］は現在地周辺の半径10km以内でルート前方両側にある施設を検索します。（最大50件）その他は指定した地点を中心とした半径50km以内で検索します。(最大50件)
- ［ルート周辺］検索をしたときに、一般道のルート周辺に高速道路、有料道路の施設が表示されることがあります。
- 手順3の［目的地周辺］/［ルート周辺］/［経由地1周辺］～［経由地5周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。

登録地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。

・事前に本機に地点を登録してください。➡「地点を登録する」（P. 83）

1 【メニュー】を押して［目的地検索］▶［登録地点］をタッチする



2 グループ名をタッチする



3 登録地点をタッチする



［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。➡「ルートの探索と案内を開始する」（P. 67）

住所から探す

住所から行き先を探します。

1 【メニュー】を押して［目的地検索］▶［住所］をタッチする



2 画面に従って行き先にしたい住所を選ぶ



リストの最初に現在地周辺の都道府県が4つまで表示されています。

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。➡「ルートの探索と案内を開始する」（P. 67）

・番地の入力画面では、丁目、番、号は、ハイフン「−」でつないで一度に入力することができます。
・［あ］～［わ］をタッチすると表示中のリストを頭出しします。
・［代表地点］をタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。

履歴から探す

いままでにルートを探索した行き先から探します。

1 【メニュー】を押して［目的地検索］▶［履歴］をタッチする



2 検索履歴をタッチする



［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。➡「ルートの探索と案内を開始する」（P. 67）

- 目的地または経由地として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は50か所まで保存されます。50か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

履歴を削除する

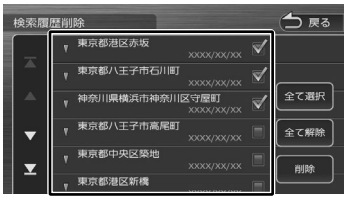
履歴地点を削除します。

- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

1 検索履歴画面で［削除］をタッチする



2 削除する履歴地点をタッチする



履歴は複数選択することもできます。選択した項目はチェックが付きます。

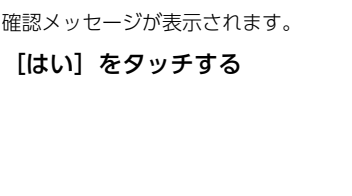
［全て選択］：

リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：

リスト内のすべての地点の選択を解除します。

3 ［削除］をタッチする



確認メッセージが表示されます。

4 ［はい］をタッチする

電話番号、郵便番号、マップコードで探す

電話番号、郵便番号、マップコードから行き先を探します。

1 【メニュー】を押して［目的地検索］▶［電話番号］、［郵便番号］、または［マップコード］をタッチする



2 番号を入力して［検索］をタッチする



電話番号、郵便番号のハイフンは入力しません。

BS：

カーソルの前にある文字を消去します。

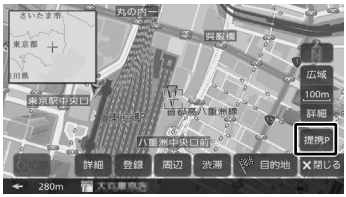
［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。➡「ルートの探索と案内を開始する」（P. 67）

- 電話番号および郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。［検索］をタッチする必要はありません。
- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。」というメッセージが表示されます。
- 一部の場所では、1つの電話番号に複数の地点が登録されているとリスト選択画面が表示されます。その場合はリストから場所を選ぶと地図が表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して［検索］をタッチします。
- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ（https://www.denso-solution.com/mapcode/index.html）をご覧ください。
- 電話番号検索で電話番号を入力するときは、国番号の入力は必要ありません。

提携駐車場を行き先に設定する

検索した施設に提携駐車場がある場合は、［提携P］が表示されます。提携駐車場を目的地に変更することができます。

1 ［提携P］をタッチする



2 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

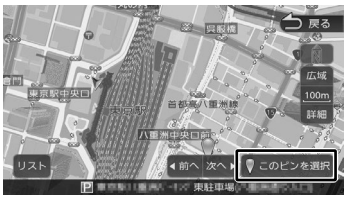
施設が1件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順3に進んでください。



［リスト］：

リストから施設を選ぶことができます。

3 ［このピンを選択］をタッチする



［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。➡「ルートの探索と案内を開始する」（P. 67）

ルートの探索と案内

ルートの探索と案内を開始する

検索した場所を行き先（目的地）に設定して、ルートの探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

目的地に設定してルートを探索する

ここまでの手順

行き先を検索して、地点情報画面を表示する
➡「行き先を探す」（P. 59）

1 ［目的地］をタッチする



表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。

すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。

- 経由地を設定する場合は「経由地を追加する」（P. 77）をご覧ください。
- 「一般道に目的地（経由地）を設定します。よろしいですか？」と表示されたときは、
  ［はい］：一般道を目的地（経由地）に設定します。
  ［いいえ］：高速・有料道路を目的地（経由地）に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着地点を選択しますか？」と表示されたときは、「複数の到着地点情報があったとき」（P. 69）をご覧ください。

ルートの探索条件を選択して案内を開始する

1 ルートの探索条件をタッチする

目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および最初と最後のIC名が表示されます。



[推奨]：

本機が推奨するルートです。

[距離]：

走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

[高速]：

高速道路（有料道路）を優先的に通るルートです。

[一般]：

一般道路を優先的に通るルートです。一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路(有料道路)を通るルートになることがあります。

[高速/距離]：

高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

[5 ルート]：

すべての条件でルートを探索します。各条件のルートを比較することができます。5 ルートを表示すると、ルートの中でエコ（燃費が経済的）なルートに（葉っぱ）アイコンが表示されます。



[ルート情報]：

選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

[入 XXX] / [出 XXX]：

利用するインターチェンジを変更します。➡「利用するインターチェンジを変更する」（P. 79）

有料道路を使用するときに表示されます。

[マイルートアジャスター]：

ルート探索の詳細条件を設定します。マイルートアジャスター機能は、5ルート（推奨、距離、高速、一般、高速/距離）すべてに詳細条件が反映されます。
➡「ルート探索の条件を設定する（マイルートアジャスター）」（P. 141）

2 [案内開始]をタッチする



ルート案内が開始されます。➡「ルート案内画面について」（P. 70）

- 表示される料金は、ETC割引などの各種割引は考慮されません。
- フェリーを利用したルートを案内する場合は「所要時間」表示にフェリーアイコンが表示されます。

  フェリーアイコン：
- フェリーを利用したルートを案内する場合の「料金」表示には、フェリーの利用料は含まれていません。
- スマートICを利用したルート案内をする場合は「料金」表示にスマートICアイコンが表示されます。

  スマートICアイコン：スマートIC
- 料金は、地図データベース作成当時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「¥～以上」または「¥---」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

VICSによるルート探索

■規制考慮探索

- VICS規制情報(通行止めなど)を受信している場合、規制を考慮したルートを探索します。
- ルート案内中に規制のある箇所に近づいたら、自動的に規制箇所を回避するルートが探索されます。

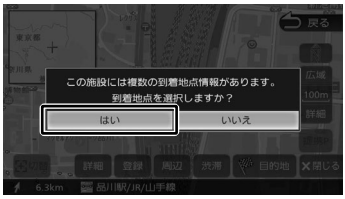
■渋滞考慮探索(最適時間考慮探索)

- ルート案内中に渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。(最適時間考慮探索)

複数の到着地点情報があったとき

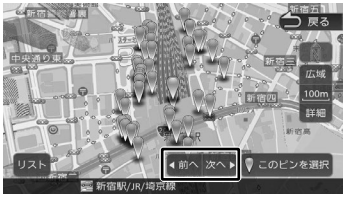
検索した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

1 ［はい］をタッチする



2 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

3 ［このピンを選択］をタッチする



選択した地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。➡「ルートの探索と案内を開始する」 (P. 67)

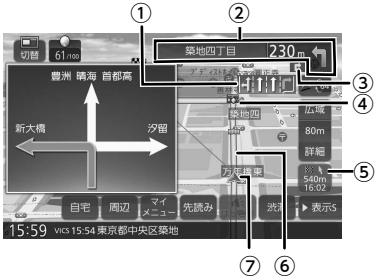
ルート案内画面について

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。



① レーン情報表示

(白色矢印) ：案内レーン

(水色矢印) ：推奨通過レーン

② 次案内ポイント情報

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

③ 次々案内ポイント情報

次案内ポイントからさらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

④ ◇案内ポイント

⑤ 到着予想時刻と距離

対象の行き先（次の経由地または目的地）への到着予想時刻と距離が表示されます。
経由地が設定されている場合は、このボタンをタッチするたびに対象の行き先が切り替わります。

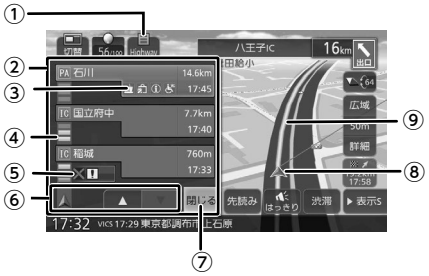
⑥ 案内ルート

目的地または経由地までのルートです。
道路の種類（一般道/高速道路/細街路）によって色分けして表示されます。

⑦ 自車マーク

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



① ハイウェイモードボタン

ハイウェイモード画面が表示されていないときにタッチすると、ハイウェイモード画面を表示します。

② ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。
案内ポイントに近づくと、高速分岐イラストまたはここです案内が表示されます。ここです案内は、お買い上げ時は表示しない設定になっています。

③ 施設名称/施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ（IC）、ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）などの名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。
SA、PAの場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。➡「SA/PA詳細情報画面について」（P. 71）
施設情報に表示される設備のマークは、最大4個です。

④ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。
橙色：混雑
赤色：渋滞

⑤規制情報表示

車線規制などの情報（VICS情報規制表示）が3件までマークで表示されます。➡「地図に表示されるVICS情報」（P. 126）
マークをタッチすると詳細情報を表示します。情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報をタッチすると詳細情報を表示します。

⑥スクロールボタン/現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報をスクロールします。スクロールすると［現区間］が表示されます。［現区間］をタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑦［閉じる］

ハイウェイモード画面を閉じます。
①をタッチすると再度表示します。

⑧自車マーク

⑨案内ルート

- ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中も表示されます。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

■SA/PA詳細情報画面について

ハイウェイモード画面内のSAまたはPAの施設情報をタッチすると、SA・PAの詳細情報を確認することができます。

案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくと、交差点案内イラスト、高速道分岐イラスト、ここです案内が表示されます。割り込み表示は、現在地図画面で表示されます。
割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、割り込み表示をタッチしてください。
消した割り込み表示は、［案内図］をタッチするともう一度表示できます。



- AV画面を表示しているときに割り込み表示があると、割り込み表示画面に切り替わります。
- 割り込み表示は表示しないように設定することができます。➡「AV画面時の案内割り込み」（P. 136）
- 場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。
- ここです案内は、お買い上げ時は［OFF］に設定されています。
- 交差点案内イラストとここです案内の表示を両方ONに設定している場合は、案内ポイントの50m手前（高速道路では300m手前）で、ここです案内から交差点案内イラストの表示に切り替わります。➡「ここです案内表示」（P. 136）
- ドライブレコーダー映像を表示しているときに案内ポイントに近づくと、割り込み表示（現在地図画面）に切り替わります。この場合、割り込み表示が終了してもドライブレコーダー画面には戻らず、ドライブレコーダー画面表示前のAVソースの画面を表示します。

交差点案内イラストの表示

一般道または高速道路の交差点、側道分岐と空港構内にある道路では、案内ポイントに近づくと交差点案内イラストが表示されます。
場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

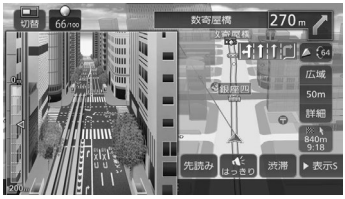
■交差点拡大イラスト

一般道の交差点約200m、高速道路は約800m手前に近づくと表示されます。



■リアル交差点イラスト

交差点の約300m手前に近づくと表示されます。



■空港構内案内

空港構内にある道路の交差点、約300m手前に近づくと表示されます。



■側道分岐イラスト

側道分岐の約300m手前に近づくと表示されます。



高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。
場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

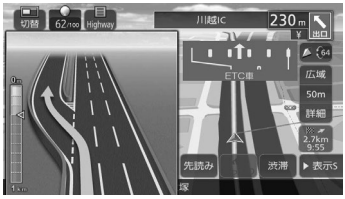
■高速入口

都市高速道路入口の約300m手前で表示されます。



■分岐

出口やジャンクションの約1km手前で表示されます。



場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。



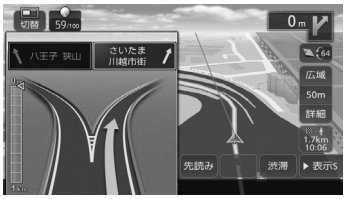
■出口後分岐

出口分岐を通過後、約1km手前に近づくと表示されます。



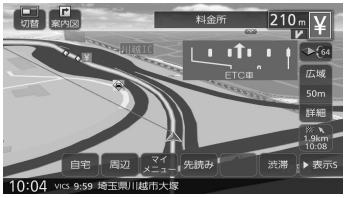
■料金所後分岐

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。



ETCレーン表示

出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートのETCレーンが表示されます。
ETCレーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によってはETCレーン情報がない場合があります。その場合は表示されません。



ここです案内表示

案内する交差点の約350m（高速道路は約1.1km）手前に近づくと表示されます。



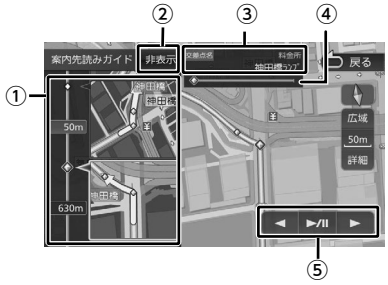
案内先読みガイド表示

ルート案内中に、次の案内ポイントから目的地までの最大99案内ポイントを見ることができます。

1 ［先読み］をタッチする



案内先読みガイドが表示されます。



① 案内先読みガイド

画面下から上にスクロールすると次の案内ポイントから目的地までの最大99案内ポイントが2ポイントずつ表示されます。

② ［非表示］

案内先読みガイドの表示を消します。消すと［非表示］は［表示］になります。［表示］をタッチするとガイドを表示します。

③ 交差点名

①の案内ポイントに交差点名情報があるときに表示します。上段に①の上の交差点名、下段に①の下の交差点名を表示します。

④ プログレスバー

案内先読みガイド表示（最大99）全体の、どのあたりのガイド表示かを表します。

⑤ オンルートスクロール操作ボタン

ボタン	説明
►	探索したルートに沿って、順方向へスクロールします。
◄	探索したルートに沿って、逆方向へスクロールします。

ボタン	説明
▶/II	オンルートスクロール中にタッチすると一時停止します。一時停止中にタッチすると一時停止する前の状態に戻ってオンルートスクロールを再開します。

- オンルートスクロール中に地図の拡大、縮小または地図のスクロールをすると一時停止します。

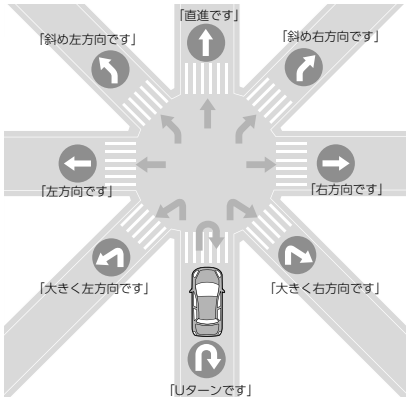
音声案内について

本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。案内は状況によって正しく行われないことがあります。実際の道路状況を確認して、交通規制に従って走行してください。

- 音声案内の前には“ジャーン”と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。➡「案内警告音の出力」（P. 136）
- 音声案内の音量調整は「案内音声の音量」（P. 136）をご覧ください。
- 音声案内はフロントスピーカーのみ出力します。
- 音声案内時のAV音量を設定することができます。➡「案内音声出力時のAV音量」（P. 150）
- ルート案内ポイントの直前では“ポンポン”と音が鳴ります。
- 音声案内は、案内の状況により情報があっても音声案内しない場合があります。

■進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。



- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

■規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

■渋滞回避探索

渋滞を回避してルートを再探索したときは、「交通情報が変わりました。新しいルートで案内します。」と案内します。渋滞回避の探索は設定があります。➡「ルート探索の条件を設定する（マイルートアジャスター）」（P. 141）

■合流/踏切/車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います(ルート案内中以外でも音声案内を行います)。これらの音声出力の設定は変更することができます。➡「合流/踏切/車線案内音声の出力」（P. 136）

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行する車線にご注意ください。
	この先、走行する車線にご注意ください。左へお寄りください。*
	この先、走行する車線にご注意ください。右へお寄りください。*

*：ルート案内時のみ

- 合流案内は首都高速などの都市高速のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要なときに行います。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

■VICS渋滞/VICS車線規制の音声案内

前方にVICS渋滞情報、VICS車線規制情報がある場合、状況に応じて、音声案内を行います(ルート案内中以外でも音声案内を行います)。

案内の種類	音声
VICS渋滞案内	およそ○○km/m先、（交差点名）を先頭に、○○km/m渋滞しています。
	およそ○○km/m先、（交差点名）を先頭に、渋滞しています。
	およそ○○km/m先、○○km/m渋滞しています。
	およそ○○km/m先、渋滞しています。
VICS車線規制	およそ○○km/m先、車線規制があります。
	およそ○○km/m先、車線規制があります。 左へお寄りください。

■盗難多発地点の音声案内

目的地や現在地付近で盗難が多い場合、音声案内を行います。（現在地付近については、ルート案内中以外でも音声案内を行います）
お買い上げ時は音声案内しない設定になっています。音声案内するように設定することができます。➡「盗難多発地点音声案内」（P. 137）

目的地付近で盗難が多い地点

音声
目的地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

ACC OFFした付近で盗難が多い地点

音声
現在地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

■リフレッシュ通知

運転開始（本機が電源オン状態のままで）から2時間ごとに以下の音声案内を行います。
お買い上げ時は通知する設定になっています。通知しないように設定することができます。➡「リフレッシュ通知」（P. 151）

音声
そろそろ2時間になります。休憩しませんか？

■逆走注意喚起について

高速道路/有料道路入口を走行しているときと、SA/PAで本機の電源をオフにしてオンにしたときに、画面表示と音声で運転者に逆走注意喚起します。
お買い上げ時は注意喚起する設定になっています。
注意喚起しないように設定することができます。
➡「逆走注意喚起」 (P. 137)

● 画面表示



注意喚起は約5秒間表示します。
画面をタッチすると表示が消えます。

● 音声案内

音声
自動車専用道路に入ります。逆走にご注意ください。

- 逆走注意喚起は本機の電源をオンにしたときに、道路条件によって案内タイミングが遅れる場合があります。
- 高速道路/有料道路出入口付近の道路では、一般道のように見える道路も道路種別としては高速道路/有料道路に分類されている場合があります。このような道路を走行すると、逆走注意喚起がされる場合があります。
- 以下のような条件の場合には、注意喚起しないまたは、タイミングがずれることがあります。また下記以外の状況でも注意喚起が正しく行われない場合があります。
  - GPS信号を受信できない場合など、自車位置の誤差が大きい場合。
  - 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行している場合。
  - 高架橋下や高層ビル群地帯、トンネルなど GPS 信号が正しく受信できない場合。
  - 旋回、切り返し、その他の走行条件などにより、ナビゲーションが正しい道路に自車位置を表示できない場合。
- 走行の際は、実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。

■逆走時の案内について

本機は高速道路にて逆走状態を検知した場合は、画面表示と音声で案内を行います。

● 画面表示
逆走中は以下の表示をします。



［閉じる］をタッチすると、案内を解除できます。
【◬/AV】 を押しても解除できます。

● 音声案内
逆走中は以下の音声案内をします。

音声
逆走しているおそれがあります。進行方向を確認してください。

- 以下のような場合、逆走中でも案内しないことや、順走中に案内する場合があります。
  - GPS信号を受信できない場合など、自車位置の誤差が大きい場合。
    ➡「誤差について」 (P. 212)
    ➡「その他の誤差について」 (P. 213)
  - 複雑な走行規制、構造のインターチェンジ付近を走行している場合。
  - 地図データベースにはない道路や、形状が変更された道路を走行している場合。
- 案内は状況によって正しく行われないことがあります。
- 実際の道路状況を確認して、交通規制に従って走行してください。
- 逆走の案内は一般道では行われません。確認のうえ、安全に走行してください。

ルートを再探索する

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速/距離）を変更して、ルートを再探索します。

1 【メニュー】を押して［ルート］▶［再探索］をタッチする



2 探索条件を選んで［案内開始］をタッチする



選択したルートでルート案内が開始されます。

- 乗降ICを指定しているときは、ルートの種類を変更することができません。ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降ICの指定を解除してください。

ルートを編集する

経由地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

経由地を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点（経由地）を追加します。経由地は5か所まで追加できます。

- 目的地が設定されていないときは経由地を設定できません。

ここまでの手順

経由地にしたい行き先を検索する
➡「行き先を探す」（P. 59）

1 ［経由地］をタッチする



2 経由地の挿入位置を確認し、［決定］をタッチする



ルートの探索が始まります。

挿入位置の変更や削除については「目的地・経由地の順番を入れ替える」（P. 78）をご覧ください。

3 探索条件を選んで［案内開始］をタッチする



［到着順変更］：

到着順を編集することができます。編集操作は 「目的地・経由地の順番を入れ替える」（P. 78）の手順2からの操作をご覧ください。

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

1 【メニュー】 を押して［ルート］▶［到着順変更］をタッチする



2 順番を変更する行き先をタッチする



3 移動先の［挿入］をタッチする



4 ［再探索］をタッチする



［やり直す］：

到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

5 探索条件を選んで［案内開始］をタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地を削除する

- 削除した地点は元に戻せません。間違えのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

1 【メニュー】を押して［ルート］▶［到着順変更］をタッチする



2 削除する行き先をタッチする



3 ［削除］をタッチする



選択した行き先が削除されます。

4 ［再探索］をタッチする



5 探索条件を選んで［案内開始］をタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口IC（インターチェンジ）以外のICを利用するように指定できます。

1 【メニュー】を押して［ルート］▶［再探索］をタッチする



2 変更したい入口または出口ICをタッチする



3 入口または出口に指定するIC名を地図を直接タッチして選ぶ



［切替］：

タッチした地点に複数の情報があった場合に表示されます。タッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。

- 変更したいICを中心とした半径40km以内にあるIC(最大36件まで)を選ぶことができます。

4 ［このICに変更］をタッチする



指定したIC を通過するルートが探索されます。

5 ［案内開始］をタッチする



- 手順3で違う路線または進行方向と逆方向のICを選択していると、手順4で確認メッセージが表示されます。
- 経由地を設定しているときに、乗降ICを指定しようとすると、確認メッセージが表示され、［はい］をタッチすると経由地が解除されます。
- 乗降ICを指定しているときに、経由地を設定しようとすると確認メッセージが表示され、［はい］をタッチすると乗降ICの指定が解除されます。
- 現在地と指定したICの位置によっては、指定したICが入口/出口にならないルートを探索する場合があります。
- 指定したIC付近で本機の電源をオフ/オンした場合、ICの指定が解除される場合があります。

変更したインターチェンジを元に戻す

1 【メニュー】 を押して［ルート］▶［再探索］をタッチする



2 ［IC変更を解除］をタッチする



変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

3 ［案内開始］をタッチする



走行中のルートを表示する

現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションを確認できます。

ルート全体を表示する

1 【メニュー】を押して［ルート］▶［ルート表示］をタッチする



ルート全体が表示されます。

［ルート情報］：

ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。

［デモ走行］：

地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。



［X1］/［X2］/［X3］：

デモ走行のスピードを変更できます。

［デモ終了］：

デモ走行を終了します。

- デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変えることができます。

目的地を表示する

目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

1 【メニュー】を押して［ルート］▶［目的地表示］をタッチする



2 表示する目的地または経由地をタッチする





経由地が設定されていないときは、リストは表示されません。

ルート案内を終了する

ルート案内を途中で終了します。

1　【メニュー】を押して［ルート］をタッチする



2　［案内終了］をタッチする



メッセージが表示されます。

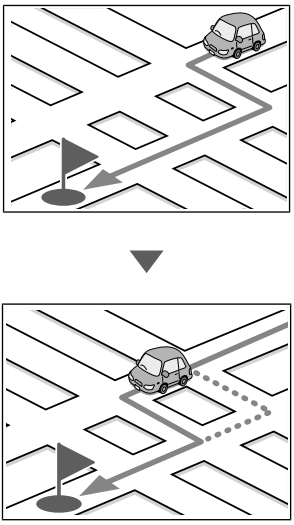
3　［はい］をタッチする

ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。

- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。
  旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ルートから外れたときは

案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



地点を登録する

地点を登録する

地図のスクロールや目的地検索画面から探した地点を本機に登録します。
本機には300件まで地点を登録できます。

1 登録したい場所の地点情報画面を表示する

2 ［登録］をタッチする



3 登録するグループをタッチする



4 ［決定］をタッチする



この画面で登録する名称を編集することができます。文字の入力方法は 「文字入力のしかた」（P. 31）をご覧ください。

- 手順3で登録先のグループを選択しなかった場合は「未分類」グループに登録されます。
- 名称は、後からでも編集することができます。➡「登録地点を編集する」（P. 84）

登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

1 【メニュー】 を押して［目的地検索］▶［登録地点］をタッチする



2 見たい地点情報のグループをタッチする



登録地点がリストで表示されます。

登録地点を編集する

本機に登録した地点の名称や電話番号、グループを編集できます。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［登録地点編集］をタッチする



2 ［登録地点編集］をタッチする



3 編集したい地点のグループをタッチする



4 編集したい地点をタッチする



5 編集したい項目をタッチして編集する



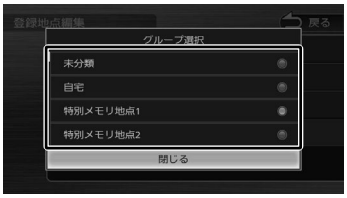
● 名称を編集する

名称欄をタッチして名前を入入力して［決定］をタッチします。



● グループを変更する

グループ欄をタッチして設定したいグループをタッチします。



● 電話番号を設定および変更する

電話番号欄をタッチして電話番号を入力して［決定］をタッチします。



- 登録地点の住所は編集できません。
- 文字の入力方法は 「文字入力のしかた」（P. 31）をご覧ください。
- 電話番号は15文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「−」は省略することもできます。
- 自宅が設定されているときに、別の地点をグループ変更で自宅に設定しようとすると確認メッセージが表示されます。
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で48文字まで入力できます。

グループを編集する

登録した地点のグループ（登録先）のグループ名とグループアイコンを編集できます。

- 「未分類」、「自宅」、「特別メモリ地点１～５」のグループ名とグループアイコンの変更はできません。
- グループ名には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で48文字まで入力できます。

1 「登録地点を編集する」（P. 84）の手順2の画面を表示する



● グループ名を編集する

［グループ名変更］をタッチして編集したいグループをタッチします。
グループ名を編集して［決定］をタッチします。



● グループアイコンを変更する

［アイコン変更］をタッチしてアイコンを変更したいグループをタッチします。
変更したいアイコンをタッチします。



登録地点を削除する

- 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。間違えのないように、慎重に操作してください。

1 「登録地点を編集する」（P. 84）の手順2の画面を表示する

2 ［登録地点削除］をタッチする



3 削除したい地点のあるグループをタッチする



4 削除したい地点を選ぶ



複数の地点を選択することもできます。

［全て選択］：

リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：

リスト内のすべての地点の選択を解除します。

5 ［削除］をタッチする



メッセージが表示されます。

6 ［はい］をタッチする

選択した登録地点が削除されます。

登録地点を保存/読み込みする

本機で登録した地点を他のナビゲーションに移動することができます。（ナビゲーションによっては保存/読み込みができない場合や正しく動作しないことがあります。）

- 登録地点の保存、読み込みをする前に、保存、読み込みするユーザーに切り替えてください。➡「ユーザーを切り替える」（P. 26）

本機にパスワードを設定する

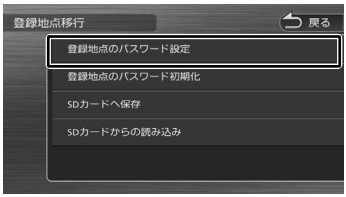
登録地点の移動時に必要となるパスワードを設定します。

1 「登録地点を編集する」（P. 84）の手順2の画面を表示する

2 ［登録地点移行］をタッチする



3 ［登録地点のパスワード設定］をタッチする



4 設定する4桁のパスワードを入力し［決定］をタッチする



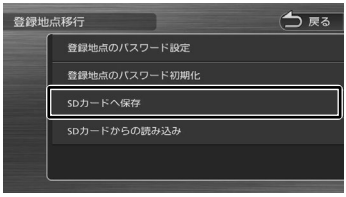
5 もう一度、同じパスワードを入力し、［決定］をタッチする

- パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。
- パスワードを初期化することもできますが、パスワードを初期化すると本機から登録地点が全て消去されます。

登録地点をSDカードに保存する

1 「本機にパスワードを設定する」（P. 87）の手順3の画面を表示する

2 ［SDカードへ保存］をタッチする



3 登録地点移動用のパスワードを入力し［決定］をタッチする



メッセージが表示されます。

4 ［はい］をタッチする

メッセージが表示されます。
登録地点がSDカードに移動します。移動した登録地点は本機から全て消去されます。

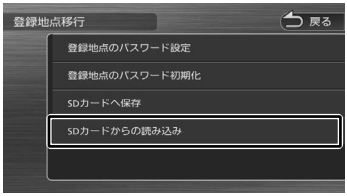
- すでにSDカード内に登録地点ファイルが有る場合は、確認メッセージが表示されます。上書き保存する場合は、［はい］を2回タッチしてください。

5 ［閉じる］をタッチする

登録地点をナビ本体に読み込む

1 「本機にパスワードを設定する」（P. 87）の手順3の画面を表示する

2 ［SDカードからの読み込み］をタッチする



3 登録地点移動用のパスワードを入力し［決定］をタッチする



メッセージが表示されます。

4 ［はい］をタッチする

メッセージが表示されます。

SDカードに保存された登録地点が、本機に読み込まれます。

移動した登録地点はSDカードから全て削除されます。

読み込み完了のメッセージが表示されるまで電源を切ったりSDカードを抜いたりしないでください。

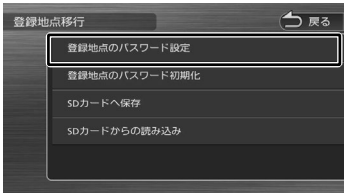
- 本機に読み込める登録地点は300件までです。SDカードに保存されている登録地点が300件を超える場合は、確認メッセージが表示されます。そのまま読み込みをする場合は、［はい］を2回タッチしてください。読み込みする登録地点を指定する場合は、［いいえ］をタッチして移動元のナビゲーションに登録地点を読み込み、不要な登録地点を削除した後に、登録地点の移動を再度行ってください。

5 ［閉じる］をタッチする

パスワードを変更する

1 「本機にパスワードを設定する」（P. 87）の手順3の画面を表示する

2 ［登録地点のパスワード設定］をタッチする



3 現在設定されている4桁のパスワードを入力し、［決定］をタッチする



4 新しく設定する4桁のパスワードを入力し、［決定］をタッチする



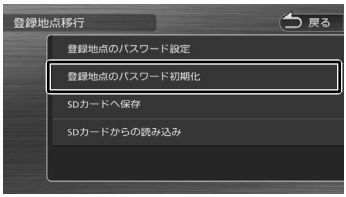
5 もう一度、同じパスワードを入力し［決定］をタッチする

パスワードを初期化する

・ パスワードを初期化すると、本機の登録地点がすべて削除されます。

1 「本機にパスワードを設定する」(P. 87) の手順3の画面を表示する

2 ［登録地点のパスワード初期化］をタッチする



メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

4 もう一度［はい］をタッチする

AVの基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

1 【メニュー】を押して［ソース切替］をタッチする



2 切り替えたいソースをタッチする



[iPhone]：

iPhoneの曲を再生します。➡「iPhoneの曲を再生する」（P. 93）

[USB]：

USB機器のオーディオ/ビデオファイルを再生します。➡「USB機器/SDカードのファイルを再生する」（P. 95）

[SD]：

SDカードのオーディオ/ビデオファイルを再生します。➡「USB機器/SDカードのファイルを再生する」（P. 95）

[REC Audio]：

本機で録音した音楽CD の曲を再生します。➡「REC Audioを使う」（P. 101）

[DISC]：

CDやDVD、オーディオファイルを保存したCD-Rなどのディスクを再生します。

➡「CD・オーディオファイルディスクを再生する」（P. 107）

➡「DVDを再生する」（P. 110）

[地デジ]：

地上デジタルTV放送を受信します。➡「地デジを視聴する」（P. 114）

[FM]：

FMラジオ放送を受信します。➡「AMまたはFMを聴く」（P. 120）

[AM]：

AMラジオ放送を受信します。➡「AMまたはFMを聴く」（P. 120）

[Bluetooth AUDIO]：

本機に接続したBluetooth対応オーディオプレーヤーを再生します。➡「Bluetoothオーディオ機器を再生する」（P. 172）

[交通情報]：

交通情報放送を受信します。➡「交通情報を受信する」（P. 122）

[スタンバイ]：

ソースをすべてオフにします。ソースをオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。

- DISCソース以外では、機器の接続やSDカードの挿入などを行っても、ソースは自動的に切り替わりません。

■AV画面からソース切替画面を表示する

AV画面左上のソース名をタッチするとソース切替画面を表示します。



現在地図画面からAV画面を表示する

1 【▲/AV】を押す



画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

1 調整する映像ソース画面を表示する

2 ［映像調整］をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



3 ［−］または［+］をタッチして各項目を調整する

コントラスト：

コントラストを調整します。

［+］：コントラストが強くなります。

［−］：コントラストが弱くなります。

ブライトネス：

明るさを調整します。

［+］：明るくなります。

［−］：暗くなります。

色の濃さ：

色の濃淡を調整します。

［+］：色が濃くなります。

［−］：色が淡くなります。

色合い(カメラ映像/ドライブレコーダー映像のみ)：

色合いを［+］/［−］で調整します。

- 地図画面の画質は調整できません。
- ［非表示］をタッチすると、操作ボタンを消すことができます。
- カメラ映像の画質を調整しているときに［戻る］をタッチすると、カメラの操作画面に戻ります。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

- カメラ映像、地デジ の映像、およびドライブレコーダーの映像は、画面表示サイズの変更はできません。

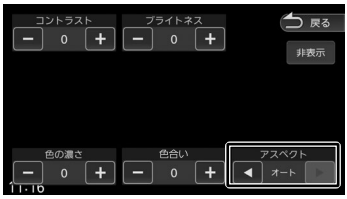
1 サイズを変更する映像ソース画面を表示する

2 ［映像調整］をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



3 「アスペクト」の◀または▶をタッチして、サイズを調整する



レギュラー：

4:3の比率で表示します。

フル：

画面いっぱいに表示します。

オリジナル：

映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。

オート：

16：9の映像はフルで、4：3の映像はレギュラーで表示します。

■映像サイズイメージ

	16：9画像	4：3画像	その他	
				
レギュラー				
フル				
オリジナル				
オート	4:3画像はレギュラーに、16:9画像はフルに自動的に切り替えます。			

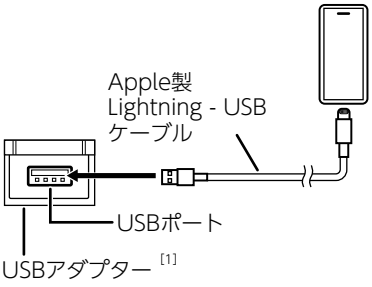
- オリジナルはSD、USBソースのみ設定できます。
- オートはDVD再生時のみです。

iPhoneの曲を再生する

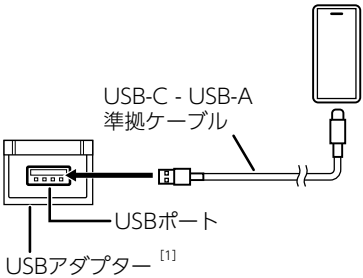
iPhoneを接続する

iPhoneソースを再生するときの接続方法は、USB接続またはBluetooth接続です。
USB接続の場合は、USBアダプター（ディーラーオプション）に接続します。Bluetooth接続の場合はiPhoneの登録を行ってください。
➡「Bluetooth機器を登録する」（P. 44）

● iPhoneがLightningコネクタの場合



● iPhoneがUSB-Cコネクタの場合



[1] USBアダプターのお買い求めについては販売店へお問い合わせください。（車両により形状は異なります）

- iPhoneの接続には、Apple製のLightning-USBケーブルまたはUSB-C - USB-A準拠ケーブルをお使いください。
- ケーブルは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で変形や故障の原因となります。

iPhoneを取り外す

ソースをiPhone以外に切り替えてから、iPhoneを取り外します。
iPhoneソースのまま取り外すと、iPhone内のデータが破損する場合があります。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースをiPhoneに切り替える
➡「ソースを切り替える」（P. 90）

- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。
- シャッフル再生が設定されているときは、アルバムアートが表示されない場合があります。



① **曲名**

アルバム名

アーティスト名

アルバムアート画像

アルバムアート画像の情報がある場合は、アルバムアートが表示されます。

② **シークバー（タッチまたはドラッグして再生位置を変更できます）**

③ **再生時間**

④ **接続方法**

⑤ **ランダム再生モード**

⑥ **リピート再生モード**

⑦ **再生状態**

⑧ **再生残り時間**

⑨ **曲番号/全曲数**

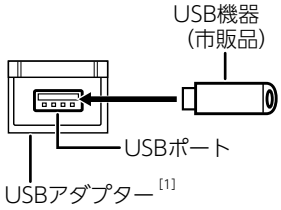
● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［切替］	画面のデザイン（ボタンの位置や背景など）が切り替わります。
［デバイス切替］(Bluetooth接続時のみ)	Bluetooth接続のときは、Bluetoothデバイス接続画面を表示します。
［🔀］	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 • 🔀OFF： シャッフル再生モードを解除します。 • 🔀曲： リスト内の曲をシャッフル再生します。
［🔁］	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • 🔁OFF： リピート再生モードを解除します。 • 🔁ALL： リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 • 🔁1： 再生中の曲をくり返し再生します。
［▶/⏸］	再生または一時停止（ポーズ）します。
［⏮］/［⏭］	前/次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
［リスト］	再生リストを表示します。

USB機器/SDカードのファイルを再生する

USB機器を接続する

USBアダプター（ディーラーオプション）を使用するとUSB機器を接続できます。



[1] USBアダプターのお買い求めについては販売店へお問い合わせください。（車両により形状は異なります）

- 本機で再生できるUSB機器は 「本機で再生できるUSB機器」（P. 224）をご覧ください。「USB機器使用上のご注意」（P. 225）もお読みください。
- USBアダプター（ディーラーオプション）にUSBハブを接続して複数のUSB機器を接続することはできません。

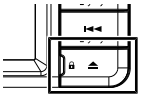
USB機器を取り外す

ソースをUSB以外に切り替えてから、USB機器を取り外します。
USBソースのまま取り外すと、USB機器内のデータが破損する場合があります。

SDカードを入れる/出す

本機で再生できるSDカードは 「本機で再生できるSDカード」（P. 224）をご覧ください。「SDカード使用上のご注意」（P. 224）もお読みください。

1 【▲】（オープンキー）を押す



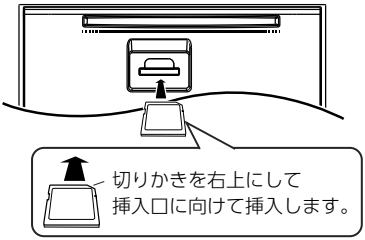
2 ［フルオープン］ をタッチする



フロントパネルが開きます。

3 SDカードを挿入口に入れる、または出す

入れるときは、SDカードが奥に突き当たるまで差し込んでください。
出すときはSDカードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。



4 音量以外のキーを押してパネルを閉じる

- フルオープンの状態でSDカードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。
- フロントパネルが開閉する前に警告音が鳴ります。警告音が鳴ったときは、手をフロントパネルに近づけないでください。
- フルオープンのままで電源をオフ（ACCオフ）にすると、フロントパネルが開いたままの状態で電源が切れます。

- フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。
- フロントパネルが開いたままのときは、お知らせのために30秒ごとに警告音が鳴ります。

画面の見かたと操作

USB機器またはSDカードに保存されているオーディオファイル/ビデオファイル を再生します。

- リピート再生モードとランダム再生モードは、同時に設定できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

ここまでの手順

ソースをUSBまたはSDに切り替える
➡「ソースを切り替える」（P. 90）

オーディオファイルのAV画面

■USB画面例



① 曲名（ファイル名）
アルバム名（フォルダ名）
アーティスト名
アルバムアート画像
② 再生時間
③ 音声形式
④ シークバー（タッチまたはドラッグして再生位置を変更できます）
⑤ ランダム再生モード
⑥ リピート再生モード
⑦ 再生状態
⑧ 再生残り時間

⑨ファイル番号

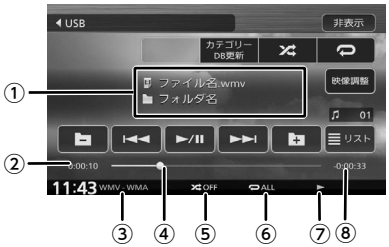
● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[切替]	画面のデザイン（ボタンの位置や背景など）が切り替わります。
[カテゴリーDB更新]	再生中のUSB機器またはSDカードの、カテゴリーデータベースの作成または更新をします。 ➡「カテゴリーデータベースを作成する」（P. 99）
[🔀]	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 • 🔀OFF：ランダム再生モードを解除します。 • 🔀フォルダ（フォルダリスト再生時のみ）：再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 • 🔀曲（カテゴリーデータベース再生のみ）：再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
[🔁]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • 🔁ALL:すべてのファイルをくり返し再生します。 • 🔁1:再生中のファイルをくり返し再生します。 • 🔁フォルダ（フォルダリスト再生時のみ）：再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
[▶/⏸]	再生または一時停止（ポーズ）します。
[⏮] / [⏭]	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[📁−] / [📁+]	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 再生リストについては「再生リストと再生モードについて」（P. 99）をご覧ください。

ビデオファイルのAV画面

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

USB画面例



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。
画面右上の［非表示］でも消すことができます。

①ファイル名

フォルダ名

②再生時間

③映像形式/音声形式

④シークバー（タッチまたはドラッグして再生位置を変更できます）

⑤ランダム再生モード

⑥リピート再生モード

⑦再生状態

⑧再生残り時間

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［非表示］	操作ボタンを消します。
［カテゴリーDB更新］	再生中のUSB機器またはSDカードの、カテゴリーデータベースの作成または更新をします。 ➡「カテゴリーデータベースを作成する」（P. 99）
［🔀］	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 • 🔀OFF： ランダム再生モードを解除します。 • 🔀フォルダ（フォルダリスト再生時のみ）： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 • 🔀曲（カテゴリーデータベース再生のみ）： 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
［🔁］	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • 🔁ALL： すべてのファイルをくり返し再生します。 • 🔁1： 再生中のファイルをくり返し再生します。 • 🔁フォルダ（フォルダリスト再生時のみ）： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
［映像調整］	映像の画質を調整します。 ➡「画質を調整する」（P. 91）
［▶/⏸］	再生または一時停止（ポーズ）します。
［⏮］/［⏭］	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
［📁−］/［📁+］	前/次フォルダの先頭ファイルから再生します。
［リスト］	再生リストを表示します。 ➡「カテゴリーリストモードで再生する」（P. 100）

再生リストと再生モードについて

USBソースおよびSDソースの再生には以下の再生モードがあります。再生リストを表示して、モードのリストを切り替えるボタンをタッチするたびにリストが切り替わります。ただし該当するデータがない場合は切り替わりません。

1 ［リスト］をタッチする



2 再生モードを切り替えるボタンをタッチする



再生モードを切り替えるボタン

■再生モード

再生リスト	再生モード
フォルダリスト	パソコンで保存したファイルをそのままの状態で再生します。
カテゴリーリスト	本機でカテゴリーデータベースを作成したUSB機器またはSDカードをカテゴリーから選んで再生します。

- カテゴリーデータベースモードで再生するには、データベースを作成する必要があります。➡「カテゴリーデータベースを作成する」（P. 99）

再生する曲をカテゴリーデータベースを使って選択する

カテゴリーデータベースが作成されたオーディオファイルは、アーティストやアルバムなどのカテゴリーにしたがって探すことにより、再生する曲を選択できます。
再生する曲は、アーティストやアルバム、ジャンル単位で選択ができるため、特定のアーティストの全ての曲を再生するようなこともできます。

カテゴリーデータベースを作成する

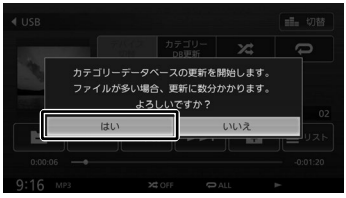
- カテゴリーデータベースの作成、更新は、USB機器、SDカードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリーデータベース作成、更新中は他の操作はできません。
- カテゴリーデータベースを更新すると、USB機器またはSDカードに_ContentsDBフォルダが作成されます。_ContentsDBフォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更または削除しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。
- カテゴリーデータベースは最大15000曲登録することができます。

1 ［カテゴリーDB更新］をタッチする



メッセージが表示されます。

2 ［はい］をタッチする



カテゴリーデータベースが作成されます。

カテゴリーリストモードで再生する

1 ［リスト］をタッチする



2 フォルダリスト画面の［カテゴリーリスト］をタッチする



3 ［ ］（ビデオリスト）または［ ］（ミュージックリスト）を選ぶ



4 再生するファイルを選ぶ

● 曲の場合



● ビデオの場合



オーディオファイルはアーティスト、アルバム、曲、またはジャンルのカテゴリーから探します。

各カテゴリーは、以下の順番でカテゴリーの絞り込みができます。

アーティスト：
アーティスト名、アルバム名、曲名

アルバム：
アルバム名、曲名

曲：
曲名

ジャンル：
ジャンル名、アーティスト名、アルバム名、曲名

［► Play］をタッチすると、絞り込みした表示中のアーティスト、アルバム、曲、またはジャンルのファイルを全て再生します。

［トップ］（ミュージックリストのみ）：
一番上の階層のリストに移動します。

［一つ上］（ミュージックリストのみ）：
1つ上の階層のリストに移動します。

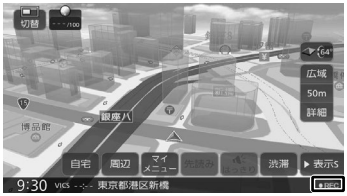
REC Audioを使う

SDカードに音楽CDを録音する

本機に挿入したSDカードに、音楽CDを録音することができます。
録音された曲は、「REC Audio」ソースで再生することができます。

録音について

- 本機で録音/再生できるSDカードについては、「本機で再生できるSDカード」（P. 224）をご覧ください。
- 録音中に他のAVソースに切り替えても、録音は継続されます。
- 録音中は、REC Audioソース、地デジソース、SDソースは選択することができません。
- 録音中に地図などの別の画面に切り替えても、録音は継続されます。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- 録音中は、現在地図画面右下に REC と表示されます。



- 本機はSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しており、デジタル録音された複製ディスク内の曲を録音することはできません。
- SDカードの容量がいっぱいで録音できない場合は、メッセージが表示されます。不要なデータを削除してから録音してください。➡「録音した曲を削除する」（P. 105）
- 録音ファイルは、次のように名前が付けられます。
  - 曲名：_“Track”_Track番号_年（西暦）_月日_時刻（24 時間制）
  - アーティスト名：_“Artist”_年（西暦）_月日_時刻（24 時間制）
  - アルバム名：_“Album”_年（西暦）_月日 _時刻（24 時間制）

  なお、年、月日、時刻は、その音楽CDが初めて録音されたときの開始時のものです。
- 楽曲情報は本機で編集することができます。
  ➡「録音データのタイトルを編集する」（P. 106）
- 録音中は、録音設定の変更はできません。

■録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音品質によって異なります。

- SDカード（16GBの場合）：
  - 96kbps…約5300曲
  - 128kbps…約4000曲
  - 192kbps…約2600曲
  - 256kbps…約2000曲
  - 320kbps…約1600曲
- 録音可能アルバム数は最大 999 枚です。

録音設定をする

音楽CDから録音するときの設定をします。また、SDカードに録音できる残り時間も表示されます。

1 **音楽CDを本機に挿入する ➡「ディスクを入れる」（P. 107）**

2 **【メニュー】を押して［ソース切替］▶［DISC］▶［録音設定］をタッチする**



3 **設定する項目をタッチする**



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
録音管理	自動録音*/手動録音	自動録音： 挿入した音楽CDに含まれる曲を全て録音します。音楽CDを挿入すると録音を開始します。ただし、すでに（1曲でも）録音したことのある音楽CDを挿入した場合は、録音を開始しません。 手動録音： 全曲または録音したい曲を選択して録音することができます。
録音音質	96kbps/128kbps/192kbps/256kbps*/320kbps	録音音質（ビットレート）を設定します。数字が大きいほど音質は良くなりますが、録音可能曲数は少なくなります。
残り録音可能時間	現在挿入されているSDカードに録音できる時間が表示されます。	

録音する

■［録音管理］設定を［自動録音］にしている場合

➡「録音管理」（P. 102）

1 録音したい音楽CD を本機に挿入する

➡「ディスクを入れる」（P. 107）

録音が開始されます。

■［録音管理］設定を［手動録音］にしている場合

➡「録音管理」（P. 102）

1 録音したい音楽CD を本機に挿入する

➡「ディスクを入れる」（P. 107）

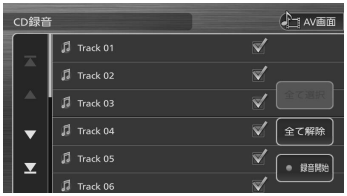
2 【メニュー】 を押して［ソース切替］▶［DISC］をタッチする

3 ［録音］をタッチする



CD録音画面が表示されます。

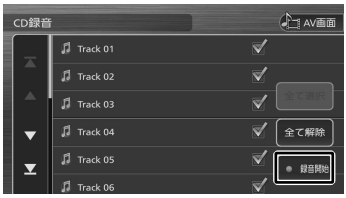
4 録音する曲を選択する



［全て選択］：
全ての曲を選択します。

［全て解除］：
全ての曲の選択を解除します。

5 ［録音開始］をタッチする



確認メッセージが表示されます。

6 ［はい］をタッチする

録音が開始されます。



録音済/録音予定曲数表示

録音中の画面では、録音の状況を確認できます。また、録音済/録音予定の曲数が表示されます。

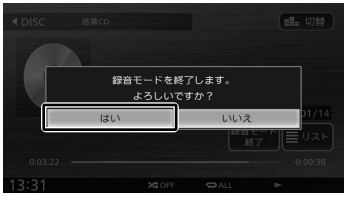
すべての録音が終了すると、［録音モード終了］が表示されます。

7 ［録音モード終了］をタッチする



確認メッセージが表示されます。

8 ［はい］をタッチする



録音モードが終了します。

- 録音データを再生するには、ソースをREC Audioにします。➡「ソースを切り替える」（P. 90）
- 録音中に［録音停止］をタッチすると、録音を停止します。
- 録音を停止しても、録音が終わっているトラックはSDカードに保存されます。
- 電源をオフしたいときは、録音を停止してください。録音を中断しても、その時点で録音を完了しているデータは保存されます。
- 録音中に電源をオフにすると、次回電源オン時に引き続き録音が再開されます。
- 本機にSDカードが挿入されていないと録音できません。
- 手動録音の手順4で、すでに録音されている曲を選択すると、メッセージが表示され、録音データが上書きされます。
- SDカードに録音できない場合は、SDカードの初期化を行ってください。ただし、データは全て消去されます。
  ➡「SDカード初期化」（P. 151）
- 録音中は、録音中アイコンと録音済み/録音予定の曲数が表示されます。また、プログレスバーで録音の状況を確認できます。
- 録音中はシークバーを操作できません。
- 録音中に［リスト］をタッチすると、録音状況が次のアイコンで表示されます。
  - ：録音済みの曲
  - ：録音中の曲（赤）
  - ：録音予定の曲（エンジ）
  - ：録音予定がない曲（グレー）
  - ：エラーが発生して録音されなかった曲

本機で録音した音楽データを再生する

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースをREC Audioに切り替える
➡「ソースを切り替える」 (P. 90)

- 本機で録音された曲は、REC Audio ソースでのみ再生できます。SD ソースでは再生できません。



① 曲名
アルバム名
アーティスト名
アルバムアート画像
② 再生時間
③ シークバー（タッチまたはドラッグして再生位置を変更できます）
④ ランダム再生モード
⑤ リピート再生モード
⑥ 再生状態表示
⑦ 再生残り時間
⑧ ファイル番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［タイトル編集］	録音データのタイトルを編集します。
［録音データ削除］	録音データを削除します。
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 • OFF：ランダム再生モードを解除します。 • 曲：再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ALL：再生中のリスト内のファイルをくり返し再生します。 • 1：再生中のファイルをくり返し再生します。
	再生または一時停止（ポーズ）します。
/	前または次のファイルを再生します（スキップ）。タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
［リスト］	再生リストを表示します。

- アルバムアートワークは、情報があるときに表示されます。アルバムアートワークの情報がなく、ジャンル情報があるときはジャンルの画像を表示します。
- アルバム名、曲名、アーティスト名がすべて表示されていないときは、それぞれの項目をタッチするとスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名およびアーティスト名は表示されません。
- 走行中も曲名は表示されますが、スクロールはできません。
- シークバーは走行中でも操作できます。
- リピート再生モードを設定するとランダム再生モードは「OFF」になります。
- ランダム再生モードを設定するとリピート再生モードは「ALL」になります。

録音した曲を削除する

SDカードに録音したデータを削除します。

ここまでの手順

ソースをREC Audioに切り替える
➡「ソースを切り替える」 (P. 90)

■全ての曲を削除する

1 ［録音データ削除］をタッチする



2 ［REC Audio全て削除］をタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

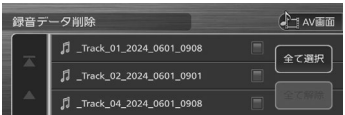
録音データが全て削除されます。

■曲を選んで削除する

1 ［録音データ削除］をタッチする



2 削除するデータを選んでタッチする



［全て選択］：
すべての曲を選択します。

［全て解除］：
すべての曲の選択を解除します。

3 ［削除］をタッチする



確認メッセージが表示されます。

4 ［はい］をタッチする

▼

録音データが削除されます。

録音データのタイトルを編集する

録音時に取得したタイトル情報を変更したい場合は、本機で編集することができます。

1 タイトル編集したいアルバムを再生する

2 REC Audio画面で［タイトル編集］をタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする



再生していた曲が含まれるアルバムの全曲リストが表示されます。

4 編集したい曲をタッチする



5 編集したい項目をタッチする



曲名：

文字入力の画面が表示されます。

アルバム名：

文字入力の画面が表示されます。

変更したアルバム名は同一アルバム内の全ての曲に反映されます。

アーティスト名：

文字入力の画面が表示されます。

編集すると確認メッセージが表示されます。

［はい］：

編集したアーティスト名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

［いいえ］：

編集している曲のみに反映されます。

ジャンル：

リストから選択します。

選択すると確認メッセージが表示されます。

［はい］：

選択したジャンルは同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

［いいえ］：

編集している曲のみに反映されます。

アルバムアートワーク：

SDカード、USB機器に保存している画像のファイルリスト画面が表示されます。

ファイルリストから選択した画像を、録音データのアートワークとして表示させることができます。

アートワークとして選択できる画像は、JPEGまたはPNGで、データサイズは650KB以下のファイルです。

録音データのアートワークは、アルバム単位で設定できます。

［デバイス切替］：

画像を選択するデバイス（SDカードまたはUSB機器）を切り替えます。

［トップ］：

一番上の階層のリストに移動します。

［一つ上］：

１つ上の階層のリストに移動します。

- 入力可能最大文字数は、曲名/アルバム名/アーティスト名とも128文字です。
- 文字入力については「文字入力のしかた」（P. 31）をご覧ください。

・ 本機でSDカードに録音した曲のフォルダ/ファイル名をパソコンなどで変更した場合、REC Audioソースで再生できなくなります。

タイトルを消去する

アルバム内の全ての楽曲情報（曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル）を消去することができます。

1 消去する録音データを再生し、REC Audio画面を表示する

2 ［タイトル編集］をタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

再生していた曲が含まれるアルバムの全曲リストが表示されます。

4 ［タイトル消去］をタッチする



確認メッセージが表示されます。

5 ［はい］をタッチする

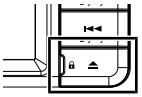
再生中のアルバム全てのタイトル情報が消去されます。

CD・オーディオファイルディスクを再生する

ディスクを入れる/出す

ディスクを入れる

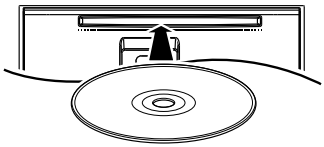
1 【▲】（オープンキー）を押す



2 ［DISC］をタッチする



3 ディスクを挿入口に入れる

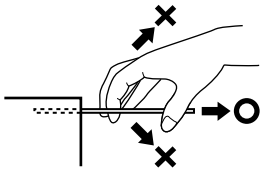


フロントパネルが自動的に閉じます。
ソースが「DISC」に切り替わります。

- ディスクを挿入すると、フロントパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。
- フロントパネルが開閉する前に警告音が鳴ります。警告音が鳴ったときは、手をフロントパネルに近づけないでください。
- フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。

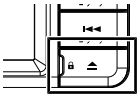
ディスクを取り出す

- ディスクが排出された後、ディスクを取り出さないと、約15秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



- フロントパネルが開いたままのときは、お知らせのために30秒ごとに警告音が鳴ります。

1 【▲】（オープンキー）を押す



2 [DISC] をタッチする

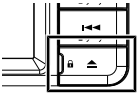


フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

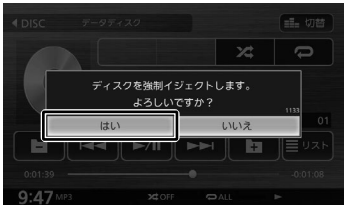
3 ディスクを取り出す

ディスクを取り出せないときは

1 【▲】（オープンキー）を押し続ける



2 [はい] をタッチする



フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

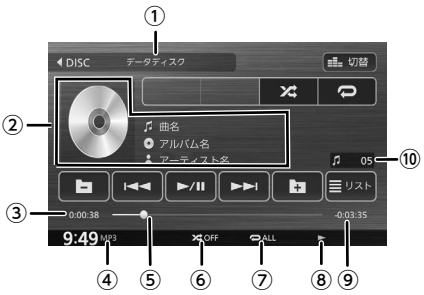
画面の見かたと操作

音楽CDまたはオーディオファイルディスクを再生します。

ここまでの手順

ソースをDISCに切り替える
➡「ソースを切り替える」（P. 90）

オーディオファイルディスク画面例



①ディスクの種類

②音楽CD：

トラック番号

オーディオファイルディスク:

曲名（ファイル名）

アルバム名（フォルダ名）

アーティスト名

アルバムアート画像

③再生時間

④ファイル形式（オーディオファイルディスクのみ）

⑤シークバー（タッチまたはドラッグして再生位置を変更できます）

⑥ランダム再生モード

⑦リピート再生モード

⑧再生状態

⑨再生残り時間

⑩トラック番号/全曲数（ファイル番号）

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[切替]	画面のデザイン（ボタンの位置や背景など）が切り替わります。
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 • OFF： ランダム再生モードを解除します。 • ALL（音楽CD のみ）： アルバム内の曲をランダム再生します。 • フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ALL： すべての曲をくり返し再生します。 • 1： 再生中の曲をくり返し再生します。 • フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
	再生または一時停止（ポーズ）します。
	前または次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
（オーディオファイルディスクのみ）	前/次のフォルダの先頭ファイルから再生します。

ボタン	説明
[リスト]	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。 • ［トップ］（オーディオファイルディスクのみ）：一番上の階層のフォルダに移動します。 • ［一つ上］（オーディオファイルディスクのみ）：一つ上の階層のフォルダに移動します。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。
- 本機では、音楽CDを再生しながら、本機のSDカードに録音することができます。➡「REC Audioを使う」（P. 101）

DVDを再生する

画面の見かたと操作（DVDビデオ/DVD-VR）

DVDを再生します。
ディスクの出し入れについては、「ディスクを入れる/出す」（P. 107）をご覧ください。

ここまでの手順

ソースをDISCに切り替える
➡「ソースを切り替える」（P. 90）

DVDビデオを再生する

DVDの再生画面は、画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。
画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① ディスクの種類
② 再生時間
③ 音声形式
④ シークバー（タッチまたはドラッグして再生位置を変更できます）
⑤ リピート再生モード
⑥ 再生状態
⑦ 再生残り時間
⑧ タイトル番号/チャプター番号

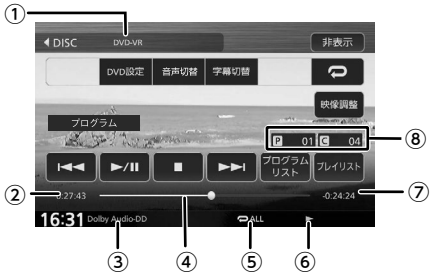
● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。

ボタン	説明
	カーソルを表示します。 ➡「カーソルで操作する」(P. 112)
[DVD設定]	DVDの設定画面を表示します。 ➡「DVDの設定をする」(P. 113) このボタンをタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕を切り替えます。
[アングル]	アングルを切り替えます。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ALL：すべてのチャプターをくり返し再生します。 • チャプター：再生中のチャプターをくり返し再生します。 • タイトル：再生中のタイトルをくり返し再生します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。 ➡「画質を調整する」(P. 91)
	再生または一時停止（ポーズ）します。
	再生を停止します。
	前または次のチャプターを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
[トップメニュー]	ディスクのトップメニューを表示します。
[メニュー]	ディスクのメニューを表示します。

DVD-VRを再生する

DVDの再生画面は、画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。
画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① ディスクの種類

② 再生時間

③ 音声形式

④ シークバー（タッチまたはドラッグして再生位置を変更できます）

⑤ リピート再生モード

⑥ 再生状態

⑦ 再生残り時間

⑧ プログラム番号またはプレイリスト番号/チャプター番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。
[DVD設定]	DVDの設定をします。 ➡「DVDの設定をする」(P. 113)
[音声切替]	音声の種類を切り替えます。
[字幕切替]	字幕の表示/非表示を切り替えます。

ボタン	説明
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ALL：すべてのチャプターをくり返し再生します。 • チャプター：再生中のチャプターをくり返し再生します。 • プログラム：再生中のプログラムをくり返し再生します。 • プレイリスト：再生中のプレイリストをくり返し再生します。
［映像調整］	映像の画質を調整します。 ➡「画質を調整する」（P. 91）
	再生または一時停止（ポーズ）します。
	再生を停止します。
/	前または次のチャプターを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
［プログラムリスト］	プログラムリストを表示します。
［プレイリスト］	プレイリストを表示します。

DVDディスクメニューを操作する

DVDビデオに収録されているメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

カーソルで操作する

1 ディスクメニュー表示中に画面をタッチする

2 ［表示］をタッチする



3 をタッチする



4 各ボタンをタッチして操作する



［非表示］：
操作ボタンを消します。

/ / / ：
タッチした方向にメニューのカーソルを移動します。

［リターン］：
ディスクメニューの1階層上の項目を表示します。

［決定］：
選択中の項目を実行します。

・ 表示されるディスクメニューおよび操作できる項目は、DVDによって異なります。

ディスクメニューを直接操作する

ディスクメニューを表示しているときは、ディスクメニューの項目を直接タッチして操作できます。



DVDの設定をする

DVDに関する設定を行います。
操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

1 ［DVD設定］をタッチする



2 各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
メニュー言語	DVDビデオのメニュー/トップメニューの表示優先言語を設定します。
音声言語	DVDビデオの音声出力の優先言語を設定します。
字幕言語	DVDビデオの字幕表示の優先言語を設定します。
ダイナミックレンジコントロール	DVD音声のダイナミックレンジを設定します。 ワイド>ノーマル>ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。

・ 設定した優先言語が再生するDVDに収録されていない場合は、収録されている言語になります。
・ ディスクによっては、設定した優先言語に変わらない場合があります。

地デジを視聴する

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを地デジに切り替える
➡「ソースを切り替える」（P. 90）

地デジ画面は、画面をタッチすると機能ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

①放送時間

②チャンネル番号

③サービスのロゴ

④プリセット番号

⑤プリセットモード

⑥受信モード

⑦音声の種類

複数の音声/二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。

⑧字幕の種類

字幕を選択しているときに表示されます。

⑨映像の種類

複数の映像があるときに視聴中の映像の番号が表示されます。

⑩電波の強さ

⑪番組名

⑫受信している放送局名またはサービス名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［はっきり］	チェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。詳細は「はっきり音声機能を使う」（P. 46）をご覧ください。
［非表示］	操作ボタンを消します。
［1］～［12］（プリセットチャンネルボタン）	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替えます。
［地デジ設定］	地デジ設定画面を表示します。 ➡「地デジの設定をする」（P. 119）
［音声切替］	視聴番組に複数の音声/二重音声があるときに、音声を切り替えます。 なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
［字幕切替］	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
［映像切替］	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
［映像調整］	映像の画質を調整します。 ➡「画質を調整する」（P. 91）
⏮/⏭	前または次のプリセット局を選局します。

ボタン	説明
［プリセット一覧］	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。 視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。
［番組表］	番組表を表示します。➡「番組表を見る」（P. 117）
［プリセット切替］	プリセットモード（エリア/ホーム/ お出かけ）が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。 「ホーム」または「お出かけ」を初めてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。
［受信モード切替］	受信モードを切り替えます。 固定 ワンセグ： ワンセグ固定モードに切り替えます。 固定 地デジ： 地デジ固定モードに切り替えます。 自動： 自動受信モード（ワンセグまたは地デジ）に切り替えます。

- 地デジとワンセグの切り替え時に、放送によっては音量が変わったり、映像/音声のつながりが途切れたりする場合があります。
- 放送局によっては、地デジとワンセグで番組が異なる場合があります。
- 本機は5.1chサラウンドには対応しておりません。音声は2chで出力されます。

プリセットモードを切り替える

プリセットには、「エリア」、「ホーム」、「お出かけ」の3つのモードがあります。

■エリア

エリアでは自車の移動先の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するときに便利です。

■ホーム/お出かけ

ホームとお出かけは、それぞれにプリセットが登録できます。自宅周辺では ホーム、ドライブ先ではお出かけと使い分けると便利です。

1　［プリセット切替］をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



タッチするたびに、エリア→ホーム→お出かけ→エリアの順に切り替わります。

放送局を登録（プリセット）する

初めてご使用になる場合は、ホームまたはお出かけには放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。
放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

1 ［プリセット切替］をタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える

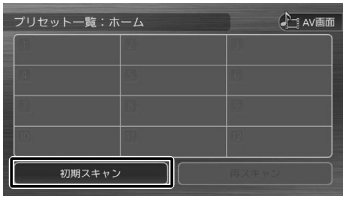
操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



2 ［プリセット一覧］をタッチする



3 ［初期スキャン］をタッチする



4 現在地の都道府県をタッチする

5 ［はい］をタッチする

受信できる放送局を検索し、登録されます。

- ［再スキャン］は初期スキャンを行った後で、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンを行っても、すでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

番組表を見る

最大8日分の番組表を表示できます。また、表示した番組表から放送局を選局することもできます。

1 ［番組表］をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

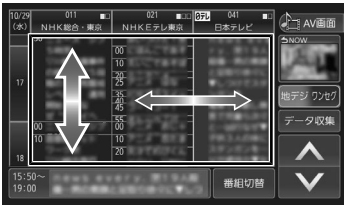


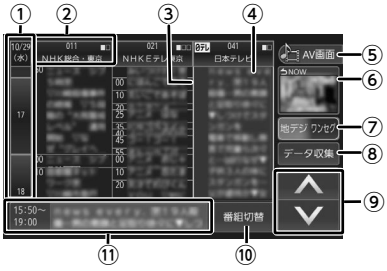
番組表が表示されます。

- すでに放送時間がすぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、電源をオフにしてオンにすると消去されます。
- 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは［データ収集］をタッチしてデータを取得してください。
- ワンセグ番組表では、最大10番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- サービスの選局直後は、番組表から選局できない場合があります。

番組表の見かたと操作

番組表はフリックまたはドラッグすることで、上下左右にスクロールできます。





① 日時

タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。

② 放送局

タッチするとその放送局を受信します。

③ フォーカス

緑色の枠で表示されます。

④ 現在視聴中の番組

背景が青色で表示されます。

⑤ ［AV画面］

番組表を消して、AV画面に戻ります。

⑥ 視聴中番組

タッチすると現在視聴している番組にフォーカスを移動します。

⑦ ［地デジ］/［ワンセグ］

タッチすると地デジ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。

⑧ ［データ収集］

プリセットされている放送局の現在時刻から24時間先までの番組表データを収集します。

⑨ ［へ］/［﹀］

フォーカスを移動します。

⑩ **［番組切替］**

マルチ編成番組(1つのチャンネルで2番組を同時に放送すること) の場合はタッチすると番組表内の番組情報を別サービスに切り替えます。

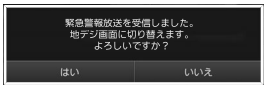
⑪ **番組詳細**

フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

緊急警報放送を表示する

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。

地図画面などが表示されているときに緊急警報放送を受信すると、メッセージが表示されます。



［はい］：

緊急警報放送に切り替わります。

- 緊急警報放送は、AVソースが地デジのときのみ表示されます。

中継局/系列局をサーチする

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局/系列局を探して切り替えることができます（中継局サーチ）。

中継局/系列局の自動切り替え条件は、「地デジ設定」の［中継局/系列局サーチ］で設定できます。［中継局/系列局サーチ］を「自動切替(中継局)」に設定している場合は、中継局のみがサーチされます。

- 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- 受信条件によっては、サーチに数分以上かかる場合があります。
- 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

地デジの設定をする

地デジの設定を変更します。
操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

1 ［地デジ設定］をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
ワンセグ/地デジ自動切替設定	推奨*/地デジを優先/切替頻度を低減	受信モードを［自動］に設定している場合に、優先させる切替条件を設定します。
中継局/系列局サーチ	自動切替しない/自動切替（中継局）/自動切替（中継局＋系列局）*	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
文字スーパー	表示しない/第一言語*/第二言語/	表示する文字スーパーを設定します。
デバイスID	受信識別情報が表示されます。この情報は、受信不具合時のお問い合わせ時に必要になることがあります。	

*：お買い上げ時の設定です。

AMまたはFMを聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースをAMまたはFMに切り替える
➡「ソースを切り替える」（P. 90）



①プリセットモード
②プリセット番号/周波数/受信中の放送局名
③ステレオ受信表示
④電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[はっきり]	チェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。詳細は 「はっきり音声機能を使う」（P. 46）をご覧ください。
[切替]	画面のデザイン（ボタンの位置や背景など）が切り替わります。
[1]～[8]（プリセットボタン）	プリセットされている放送局を受信します。
◀/▶	放送局を選択します。 タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します（マニュアル選局）。タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
◀◀/▶▶	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します（オート選局）。
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア/お気に入り1/お気に入り2）を切り替えます。➡「プリセットモードを切り替える」（P. 121）
[リスト]	プリセットモードが「エリア」のときに、登録データから取得した放送局をリストで表示します。➡「エリアモードの放送局をリストから選局する」（P. 121）

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■エリアモード

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。
エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局（コミュニティFM局を除く）が周波数の低い順に最大8局まで自動的に登録されます。
エリアモードで選択できる放送局は、［リスト］をタッチすると表示できます。➡「エリアモードの放送局をリストから選局する」（P. 121）

■お気に入りモード

手動でお好みの放送局をお気に入り1またはお気に入り2にそれぞれ8局まで登録できます。
➡「放送局を登録（プリセット）する」（P. 122）

1　［プリセット切替］をタッチする



タッチするたびに、エリア→お気に入り1→お気に入り2→エリアの順で切り替わります。

エリアモードの放送局をリストから選局する

エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

1　［プリセット切替］をタッチして、エリアモードに切り替える



2　［リスト］をタッチする



3　受信する放送局をタッチする

1～8 ：
プリセットボタンにプリセットされている放送局
局：
コミュニティFM局

・「コミュニティFM局」とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

放送局を登録（プリセット）する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録（プリセット）します。

1 登録する放送局を受信する

マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。➡「画面の見かたと操作」（P. 120）

2 ［プリセット切替］をタッチして、「お気に入り1」または「お気に入り2」に切り替える



3 登録先のプリセットボタン（［1］～［8］）を2秒以上タッチし続ける



受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード（1または2）で該当するプリセットボタンをタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報（1620kHzまたは1629kHz）を受信します。交通情報に切り替えると、受信状態が良いほうが自動的に受信されます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを交通情報に切り替える
➡「ソースを切り替える」（P. 90）



① 周波数

② 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［はっきり］	チェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。➡「はっきり音声機能を使う」（P. 46）
［切替］	画面のデザイン（ボタンの位置や背景など）が切り替わります。
［1620kHz］/［1629kHz］	受信周波数を1620kHzまたは1629kHzに手動で切り替えます。

・ 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

MEMO

情報・設定画面について

情報・設定画面では、VICS情報、ETC情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］をタッチする



情報・設定画面が表示されます。

2 項目をタッチする

■情報

［VICS］：

FM VICS、ETC2.0割り込み情報を表示します。➡「VICS図形/文字情報を見る」（P. 129）

［接続］：

本機に接続されている機器の接続状態やGPSの受信状態などを表示します。
➡「接続状態を確認する」（P. 33）

［バージョン］：

本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。➡「バージョンを確認する」（P. 156）

［ETC］：

本機に接続されているETC機器の履歴や情報を表示します。➡「ETC2.0車載器を使う」（P. 178）

［ECO］：

車のECOドライブ情報を表示します。
➡「ECO情報を確認する」（P. 133）

■設定

［ナビ］：

ナビゲーションに関する設定を行います。➡「ナビゲーションの設定をする」（P. 134）

［サウンド］：

サウンドに関する設定を行います。
➡「サウンドの設定をする」（P. 142）

［システム］：

システムに関する設定を行います。
➡「システムの設定をする」（P. 150）

［外部機器］：

外部機器を接続するときの設定を行います。➡「外部機器の設定をする」（P. 155）

［登録地点編集］：

登録地点を編集します。➡「登録地点を編集する」（P. 84）

VICS情報を見る

VICS情報とは

VICS（Vehicle Information and Communication System）は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICS情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供されるVICS情報は次の3つのレベル（種類）があります。

- レベル1（文字型情報）
  情報が文字で表示されます。
- レベル2（簡易図形型情報）
  情報が進路地図の模式図で表示されます。
- レベル3（地図表示型情報）
  情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

VICS情報の提供方法

本機は、FM多重放送（NHK-FM）、光ビーコンとITSスポットを通じて、VICSの情報を受信することができます。

- ITSスポットから情報を取得するには、本機対応のETC2.0車載器（ディーラーオプション）が必要です。
  ➡「ETC2.0車載器を使う」（P. 178）
- 光ビーコン情報を取得するには、本機対応のETC2.0車載器（光ビーコン対応モデル）（ディーラーオプション）が必要です。➡「VICS情報利用上のご注意」（P. 125）

VICS情報利用上のご注意

以下の点に注意してご利用ください。

■FM多重放送

- 各FM放送局のサービスエリア内で受信できます。
- サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所（雑音、建造物や地形などの影響で電波の屈折や反射が生じることで起こる電波障害などによる）では、受信困難になることがあります。
- 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります（情報によっては最大5分周期でデータを更新する場合があります）。
- FM放送時間外は利用できません。

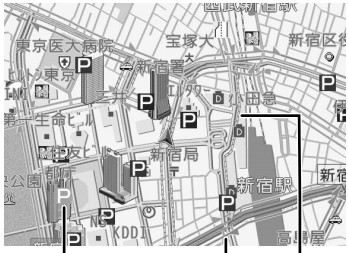
■光ビーコン

- 光ビーコンの発信器は主に一般道に設置されています。
- 以下の場合は受信が困難になることがあります。
  - 通信エリア外
  - 雨や雪の影響がある
  - 大型車両の並走などでビーコン発信器の光が遮られた
  - ビーコンアンテナ付近に光ビーコンを遮るものがある
  - アンテナ受光面が汚れている
  - 直射日光がアンテナ受光面に当たっている
- 受信状況によっては、対向車線の光ビーコンを受信してしまうことがあります。

地図に表示されるVICS情報

地図表示型（レベル3）情報の表示

VICS情報を受信すると、地図画面に表示されます。



駐車場情報
赤色：満車
橙色：混雑
青色：空車
黒色：不明

統計情報による渋滞線（点線）
薄赤色：渋滞
薄橙色：混雑
薄青色：順調

渋滞情報
赤色：渋滞
橙色：混雑
水色：順調

■気象・災害情報エリアの表示



気象・災害情報エリア
気象・災害情報の対象エリアを、情報に応じて赤色または黄色で表示します。

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは以下のとおりです。

事故	通行止め閉鎖	大型通行止め	障害物路上障害	チェーン規制
				
故障車	入口閉鎖	入口制限	イベント	出口制限

				
火災	凍結	車線規制	車線規制：右側	進入禁止
				
片側交互通行	駐車場閉鎖	駐車場混雑	駐車場空き	駐車場満車
		 背景橙色	 背景青色	 背景赤色
駐車場不明	SA・PA閉鎖	SA・PA混雑	SA・PA空き	SA・PA満車
 背景黒色	 背景橙色	 背景橙色	 背景青色	 背景赤色
SA・PA不明	その他の規制	工事	徐行	速度規制
 背景黒色				
対面通行	作業	気象情報	災害情報	災害情報
				



- VICSのマークは変更･追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ（http://www.vics.or.jp/）をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM多重放送によるVICS情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図表示型（レベル3）情報を表示できる地図の縮尺は10m～1kmです（一般道では10m～500mです。また、駐車場情報は10m～200mで表示します）。
- 車両のアンテナが格納されている場合、FM VICSが受信できなくなったり、感度が悪くなったりする場合があります。

- 統計情報による渋滞情報は提供されない地域があります。
- 気象・災害情報エリアを受信した場合、地図の縮尺によっては地図画面全体が赤色または黄色で表示されることがあります。

緊急情報の割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、本機のすべての画面に割り込み表示されます。



- 緊急情報表示は［戻る］をタッチすると消えます。
- 注意警戒情報表示は［戻る］をタッチする、または約15秒経過すると消えます。

■「VICS WIDE」サービスによる緊急割り込み表示



［詳細］：

タッチすると緊急情報（特別警報）の詳細を見ることができます。

［閉じる］：

タッチすると緊急情報（特別警報）を画面の下部または上部に表示します。



［詳細］：

上記のVICS 詳細情報を表示します。

［上位置］/［下位置］：

表示を画面上部または下部に移動させます。

［切替］：

複数の緊急情報（特別警報）がある場合に表示されます。タッチするたびに情報の表示が切り替わります。

［閉じる］：

割り込み表示を消します。

地図上のVICS情報を見る

地図画面に表示されたVICSの規制/障害情報マークから、詳しい情報を確認します。

1　規制/障害マークをタッチする

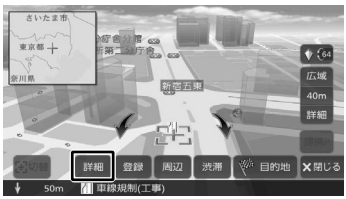


地点情報表示に規制情報が表示されます。

［切替］：

複数のVICS情報やランドマークが重なっている場合に表示されます。タッチすると、表示する情報が切り替わります。

2　［詳細］をタッチする



VICSの詳しい情報が表示されます。

簡易図形型（レベル2）/文字型（レベル1）情報の割り込み表示

光ビーコンから受信した簡易図形型（レベル2）/文字型（レベル1）情報は、地図画面に割り込み表示されます。



▼/▲：

表示ページを切り替えます。

［図形］/［文字］：

文字型（レベル1）情報と簡易図形型（レベル2）情報の表示を切り替えます。

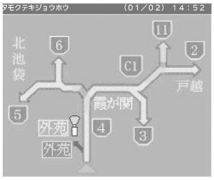
- 文字型情報または簡易図形型情報は、地図以外の画面（設定画面やAV画面など）が表示されているときには、割り込み表示されません。
- FM多重放送で受信した文字情報および簡易図形型情報は、現在地図画面の［渋滞］をタッチするか、または情報・設定画面からご覧ください。➡「情報・設定画面について」（P. 124）
- 文字情報、簡易図形型情報が割り込み表示をしないように設定することができます。➡「図形情報の割り込み表示」（P. 131）
- 割り込み表示時間は設定することができます。➡「割り込み表示の時間」（P. 132）
- 交差点案内イラスト、高速分岐イラスト、ここです案内を表示中は割り込み表示しません。

ETC2.0割り込み表示

本機に対応のETC2.0車載器 を接続している場合、ITSスポットからデータを受信し、指定された地点で地図画面に情報が割り込み表示されます。（優先情報は地図以外でも割り込み表示されます。）音声情報が含まれる場合は、自動的に再生します。

対応している割り込み情報の種類は、次のとおりです。

- 優先情報
  - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
- 一般情報
  - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報



▼：

表示ページを切り替えます。

［再生］/［停止］：

音声情報を再生または停止します。

- ETC2.0優先情報、一般情報が割り込み表示しないように設定できます。➡「ETC2.0優先情報の割り込み表示」（P. 132）
- 割り込み表示の時間を設定することができます。➡「割り込み表示の時間」（P. 132）
- 音声情報を再生中は、設定した割り込み表示の時間を過ぎても表示し続けます。
- ETC2.0一般情報は交差点案内イラスト、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。

VICS図形/文字情報を見る

本機で受信したVICS情報（文字型情報/簡易図形型情報）を表示します。

1　【メニュー】を押して［情報・設定］▶［VICS］をタッチする



2　表示したい情報をタッチする



［FM図形情報］/［FM文字情報］：

FM-VICS情報から受信した図形/文字情報を表示します。

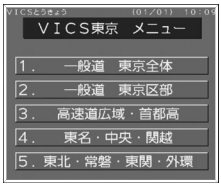
［ビーコン図形情報］/［ビーコン文字情報］：

ビーコンVICS情報から受信した図形/文字情報を表示します。

［ETC2.0割り込み情報］：

ETC2.0車載器 で受信した割り込み情報を表示します。➡「ETC2.0割り込み情報」（P. 130）

FM VICS図形情報/文字情報の表示



番号をタッチすると、図形/文字情報の詳細情報表示が切り替わります。

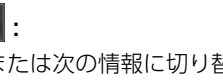
■図形情報



▼/▲：

1つ前または次の情報に切り替えます。

■文字情報



▼/▲：

1つ前または次の情報に切り替えます。

ビーコン VICS図形情報/文字情報の表示

■図形情報



▼/▲：

表示ページを切り替えます。

［文字］：

ビーコンVICS文字情報に切り替えます。

■文字情報



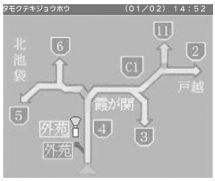
▼/▲：

1つ前または次の情報に切り替えます。

［図形］：

ビーコンVICS図形情報に切り替えます。

ETC2.0割り込み情報



▼/▲：

1つ前または次の情報に切り替えます。

［再生］/［停止］：

音声情報を再生または停止します。（音声がある場合のみ）

VICS局の選局方法を切り替える

FM VICS局の選局方法（自動選局/手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

■自動選局と手動選局について

- 自動選局：
  現在地の都道府県に合わせて、FM VICS局が自動的に選局されます。広域移動する場合には自動選局のほうが便利です。
- 手動選局：
  FM VICSの受信周波数を設定します。設定した周波数以外ではVICS情報を受信できなくなります。
  県境付近を走行中でFM VICS局を自動変更されたくない場合などに便利です。

自動選局に設定する

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［VICS］をタッチする



2 ［VICS FM選局モード］をタッチする



3 ［自動］をタッチしてチェックを付ける



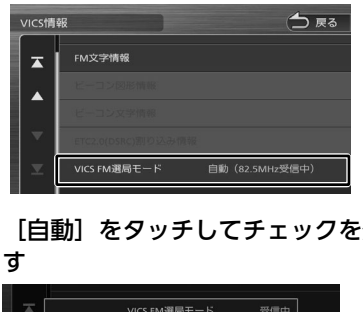
4 ［閉じる］をタッチする

手動で選局する

1 【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［VICS］をタッチする



2 ［VICS FM選局モード］をタッチする



3 ［自動］をタッチしてチェックを外す



4 ◀または▶をタッチして受信周波数を設定する



5 ［閉じる］をタッチする

VICS情報の表示設定をする

1 【メニュー】 を押して▶［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする



2 設定する交通情報の項目をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
VICS情報表示	−	VICS情報の表示内容について設定します。 ➡「VICS情報表示を設定する」（P. 132）
図形情報の割り込み表示[1]	ON*/OFF	ETC2.0車載器（光ビーコン対応モデル） で受信した簡易図形型（レベル2）情報割り込み表示のオン/オフを設定します。
文字情報の割り込み表示[1]	ON*/OFF	ETC2.0車載器（光ビーコン対応モデル） で受信した文字型（レベル1）情報割り込み表示のオン/オフを設定します。

項目	設定	説明
割り込み表示の時間[2]	5秒間/10秒間/15秒間*	ETC2.0車載器 情報で受信した情報の割り込み表示の時間を設定します。
ETC2.0優先情報の割り込み表示[2]	ON*/OFF	ETC2.0車載器 で受信した優先情報割り込み表示のオン/オフを設定します。
ETC2.0一般情報の割り込み表示[2]	ON*/OFF	ETC2.0車載器 で受信した一般情報割り込み表示のオン/オフを設定します。
ETC2.0アップリンク[2]	ON*/OFF	ETC2.0車載器 から送信するETC2.0アップリンク機能のオン/オフを設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

[1] ETC2.0車載器（光ビーコン対応モデル）（ディーラーオプション） が接続されているときに設定できます。

[2] ETC2.0車載器（ディーラーオプション） が接続されているときに設定できます。

■VICS情報表示を設定する

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

1 ［VICS情報表示］（交通情報）をタッチする



2 表示する項目をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
渋滞/混雑線の表示：高速道	高速道路の渋滞/混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞/混雑線の表示：一般道	一般道路の渋滞/混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：高速道	高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：一般道	一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞/混雑線（統計）の表示：高速道	統計情報による高速道路の渋滞/混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞/混雑線（統計）の表示：一般道	統計情報による一般道路の渋滞/混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線（統計）の表示：高速道	統計情報による高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線（統計）の表示：一般道	統計情報による一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
規制情報の表示	交通規制情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
駐車場情報の表示	駐車場情報を地図上に表示するかどうかを設定します。

- 表示されているリストでは、すべての項目が選択されています。表示しない項目をタッチすると、選択が解除されます。
- ［表示オフ］をタッチするとすべてのVICS情報が表示されなくなります。

ECO情報を確認する

ECO情報を見る

現在地図画面でエコドライブ情報を見ることができます。

ECOドライブ評点



ECOドライブ評点は、少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100点満点で表示されます。
eスタート、急加速、急減速および経済速度を判定したときもここに表示されます。

詳細情報を見る

走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、ECO度判定や総合評価グラフが表示されます。

1　【メニュー】を押して［情報・設定］▶［ECO］をタッチする



ECO情報画面が表示されます。

◀/▶：

現在表示されている情報の1日前/1日後の情報を表示します。

［ECOレシオ］：

燃費度合グラフを表示します。

評価グラフの各項目の内容は次のとおりです。

- eスタート：
  停車状態からのスタートの評価です。急発進の回数が少ないと、高評価となります。
- 加速：
  加速状態の評価です。急加速の回数が少ないと、高評価となります。
- 減速：
  減速状態の評価です。急減速の回数が少ないと、高評価となります。
- 経済速度：
  一定スピード（経済速度）での走行状態の評価です。経済速度を維持して走行すると、高評価となります。

■ECOレシオを表示する

燃費度合グラフを表示します。

1 ［ECOレシオ］をタッチする



ECOレシオ画面が表示されます。

◀/▶：

グラフ表示を1日分スクロールします。

［ECO判定モード］：

ECO度の判定のモード（ソフト/ノーマル/ハード）を設定します。

ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。（お買い上げ時は［ノーマル］に設定されています）

［ECOデータ消去］：

過去のECOデータを消去します。

確認のメッセージで［はい］をタッチすると、ECOデータが削除されます。

- ECO情報で表示される内容は、あくまで目安です。

ナビゲーションの設定をする

本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする



2 設定する項目をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

● **地図**

項目	設定	説明
地図色/文字サイズ	**地図色：** 1*/2/ダークモード **文字サイズ：** 小/ 中*/ 大 **地図色昼夜切替：** 夜色に固定/昼色に固定/自動*	地図色、文字サイズと地図表示の設定をします。➡「地図表示を設定する」（P. 138）
ランドマーク表示	−	地図に表示するランドマークを設定します。➡「地図に表示するランドマークを設定する」（P. 140）

項目	設定	説明
登録地点表示	−	地図に表示する登録地点を設定します。表示したい登録地点のカテゴリーをタッチします。もう一度タッチすると選択を解除します。［表示オフ］をタッチするとすべて表示しません。
自車マーク	*//	自車マークのデザインを設定します。
走行軌跡の表示	ON*/OFF	走行軌跡を表示するかどうかを設定します。➡「走行軌跡表示を設定する」(P. 139)
走行軌跡を消去	−	記憶されている走行軌跡を消去します。➡「走行軌跡を消去する」(P. 139)
地図の向き	ノースアップ/ヘディングアップ/3Dビュー*	地図の向きを設定します。
地図の向き（小画面）	ノースアップ/ヘディングアップ/3Dビュー*	小画面での地図の向きを設定します。
フライビューマップ表示	ON*/OFF	フライビューマップを表示するかどうかを設定します。
市街地図の表示縮尺	50m以下/100m以下*	市街地図の表示縮尺を設定します。

項目	設定	説明
盗難多発地点表示	ON/OFF*	盗難多発地点を表示するかどうかを設定します。縮尺が200m以下の地図表示のとき、盗難が多発している場所を赤色、橙色、黄色で区分して表示します。
冠水注意地点表示	ON*/OFF	冠水注意地点を表示するかどうかを設定します。 • 縮尺が200m以下の地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示します。 • 冠水注意地点表示は一部地域を除く都道府県で表示対応しています。
ゾーン30エリア表示	ON/OFF*	ゾーン30エリアとは、歩行者や自転車の安全な通行を確保するために、時速30キロの速度規制を実施しているエリア（区域）のことです。設定をONにすると縮尺が300m以下のときに地図上に青紫色で表示されます。ゾーン30エリアは注意喚起する目的で濃い色で表示しているため文字や表示がみづらい場合があります。
3Dポリゴンランドマークの半透過表示	ON*/OFF	3Dビューにて3Dポリゴンランドマークを半透過にするかどうかを設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

・ ゾーン30エリアの表示について



– 気象・災害情報エリアと重なる場合は、気象・災害情報エリアの表示が優先されます。➡「気象・災害情報エリアの表示」 (P. 126)
– ゾーン30エリアは、スクロール地図にも表示されます。
– 地図の縮尺によっては、地図画面全体が青紫色で表示されることがあります。

● 案内

項目	設定	説明
案内中の音量調整	ON*/OFF	［ON］に設定すると音声案内中は音量キーでも案内音声の音量調整ができるようになります。
案内音声の音量	1～25*～40	案内音声の音量を設定します。
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF	車速に応じて、案内音声の音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音を出力するかどうかを設定します。
ルート案内音声の出力	ON*/OFF	ルート案内時またはVICS情報の案内時に、音声を出力するかどうかを設定します。
合流/踏切/車線案内音声の出力	常にOFF/ルート案内時のみON/常にON*	常にOFF：音声を出力しません。 ルート案内時のみON：ルート案内時のみ、音声を出力します。 常にON*：音声を出力します。
ETC音声の出力 [1]	ON*/OFF	ETC2.0車載器 を接続しているときに、ETC音声を出力するかどうかを設定します。
ETC料金の表示 [1]	ON*/OFF	ETC2.0車載器 を接続しているときに、ETC通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報を表示するかどうかを設定します。 ➡「現在地図画面の見かた」 (P. 48)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板を表示するかどうかを設定します。 ➡「現在地図画面の見かた」 (P. 48)
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストを表示するかどうかを設定します。 ➡「高速道分岐イラストの表示」 (P. 72)
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内イラストを表示するかどうかを設定します。 ➡「交差点案内イラストの表示」 (P. 72)
ここです案内表示	ここです案内の表示を設定します。➡「ここです案内表示」 (P. 73) OFF*：表示しません。 一般道のみON：一般道のみ表示します。 ON：表示します。	
ETCレーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときにETCレーン案内を表示するかどうかを設定します。➡「ETCレーン表示」 (P. 73)
AV画面時の案内割り込み	ON*/OFF	AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。

項目	設定	説明
盗難多発地点音声案内	ON/ OFF*	盗難多発地点の音声案内をするかどうかを設定します。➡「盗難多発地点の音声案内」（P. 75）
信号情報案内(TSPS)の表示 [2]	ON*/ OFF	信号情報案内(TSPS)をするかどうかを設定します。➡「信号情報活用運転支援システム(TSPS)による信号情報案内」（P. 181）
逆走注意喚起	ON*/ OFF	高速道路/有料道路入口を走行しているときと、SA/PAで本機の電源をオフにしてオンにしたときに、画面表示と音声で運転者に逆走注意喚起します。➡「逆走注意喚起について」（P. 76）

*：お買い上げ時の設定です。

[1] ETC2.0車載器（ディーラーオプション）が接続されているときに設定できます。

[2] ETC2.0車載器（光ビーコン対応モデル）（ディーラーオプション）が接続されているときに設定できます。

・「交差点案内図の表示」と「ここです案内表示」を両方ONに設定している場合は、案内ポイントの50m手前（高速道路では300m手前）で、ここです案内から交差点案内イラストの表示に切り替わります。

● 探索

項目	設定	説明
優先する探索条件	推奨*、距離、高速、一般、高速/距離	優先する探索条件を設定します。➡「ルートの探索条件を選択して案内を開始する」（P. 68）
マイルートアジャスター	1、2、3	探索の詳細条件を選択し、マイルート1～3に設定することができます。➡「ルート探索の条件を設定する（マイルートアジャスター）」（P. 141）
スマートIC考慮	ON/ OFF*	スマートICを利用する探索を行うかどうかを設定します。
目的地の横付けを考慮した探索	ON*/ OFF	目的地の施設が道路の反対側などに来ないように横付けまで考慮した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/ OFF*	フェリーを利用した探索を行うかどうかを設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

・スマートICでは、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

● 交通情報

項目	説明
VICS情報表示	この設定については、「VICS情報の表示設定をする」（P. 131）をご覧ください。
図形情報の割り込み表示	
文字情報の割り込み表示	
割り込み表示の時間	
ETC2.0優先情報の割り込み表示	
ETC2.0一般情報の割り込み表示	
ETC2.0アップリンク	

● その他

項目	設定	説明
NaviCon 友達マップ	この設定については、「NaviCon 友達マップ機能を使う」（P. 176）をご覧ください。	
車両ナンバー	軽*/5·7/3/1	車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。 ➡「車両ナンバーを設定する」（P. 35）
現在地修正	自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。➡「自車の現在位置を修正する」（P. 139）	

*：お買い上げ時の設定です。

地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

1　【メニュー】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［地図色/文字サイズ］（地図）をタッチする



2　設定したい項目をタッチする



地図色：

地図色を設定します。

文字サイズ：

小、中、大から文字サイズを設定します。

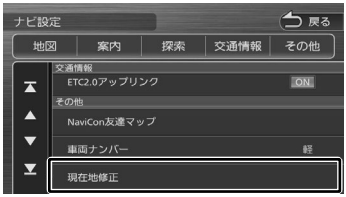
地図色昼夜切替：

- ［自動］：
  - 一部の車両は、周囲が明るいときは昼色、暗いときは夜色の地図色に切り替わります。（ただし、イグニッションキーがACCのときは、ライトスイッチに連動して切り替わります）
  - ライトスイッチ連動車（ライトスイッチに連動してメーター類の照明が減光する車両）は、ライトを消灯させたときは昼色、点灯させたときは夜色の地図色に切り替わります。
- ［昼色に固定］：
  常に昼色の地図を画面に表示します。（昼画面）
- ［夜色に固定］：
  常に夜色の地図を画面に表示します。（夜画面）

自車の現在位置を修正する

地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正します。

1 **【メニュー】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［現在地修正］（その他）をタッチする**



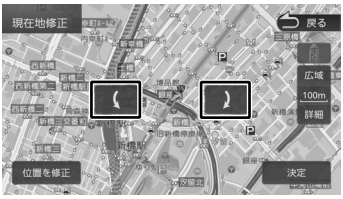
地図が表示されます。

2 **地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせる（位置を修正）**



3 **［向きを修正］をタッチする**

4 **または をタッチして、自車の向きを設定する（向きを修正）**



5 **［決定］をタッチする**

- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。➡「地図の縮尺を変える」（P. 49）
- 手順5で［決定］をタッチする前なら、［位置を修正］または［向きを修正］をタッチして、何度でも自車位置や向きを修正しなおすことができます。

走行軌跡表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

1 **【メニュー】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［走行軌跡の表示］（地図）をタッチする**



［ON］：
走行軌跡を表示します。
［OFF］：
走行軌跡を表示しません。

走行軌跡を消去する

1 **【メニュー】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［走行軌跡を消去］（地図）をタッチする**



2 **［はい］をタッチする**

- 走行軌跡は、現在地より過去1000kmの軌跡が保存されています。1000kmを超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- 「走行軌跡の表示」を［OFF］に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、ガソリンスタンド/コンビニエンスストア/ファミリーレストラン/ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは200m 以下のスケールで表示します。

1 【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［ランドマーク表示］（地図）をタッチする



2 設定するパターンをタッチする



3 表示するランドマークのジャンルの［選択］をタッチする



タッチするとチェックマークが付きます。もう一度タッチすると、選択が解除されます。さらにジャンルの分類を選択する場合は、ジャンル名をタッチすると分類が表示されます。設定したい項目をタッチします。

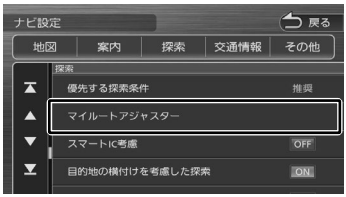
▼

表示させたい［パターン1］、［パターン2］、［パターン3］のいずれかをタッチすると、地図上に選択したパターンのランドマークが表示されます。

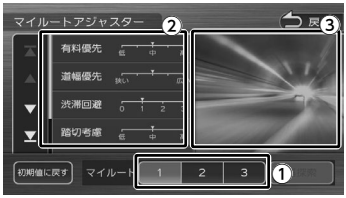
- ［表示オフ］にタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。
- 駐車場、宿泊、トイレは、施設別の選択はできません。

ルート探索の条件を設定する（マイルートアジャスター）

1　【メニュー】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［マイルートアジャスター］（探索）をタッチする



2　探索条件を登録したいマイルート1～3のいずれかをタッチして（①）設定したい項目をタッチして（②）調整する（③）



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
有料優先	低～中*～高（5段階）	有料道路を使った探索をするときに有料道路を優先して使うかどうかを設定します。
道幅優先	狭い～広い（5段階）	狭い道幅を優先するか広い道幅を優先するかを設定します。お買い上げ時の設定は［狭い］と［広い］の中間です。
渋滞回避	0～1*～3（4段階）	0：渋滞回避をしません。 1：渋滞回避を多少優先します。 2：渋滞回避を優先します。 3：渋滞回避を積極的に優先します。
踏切考慮	低～中*～高	踏切の少ないルートを優先するかどうかを設定します。
信号考慮	ON*/OFF	信号の少ないルートを優先するかどうかを設定します。
ルート学習	ON*/OFF	自宅から半径3km以内でナビが案内するルートと違うルートを数回走行していると、実際に走ったルートをナビが学習します。この学習結果をルート探索時に使用するかどうかを設定します。 ［学習の初期化］をタッチするとメッセージが表示されます。［はい］をタッチすると学習したルートの初期化が開始されます。

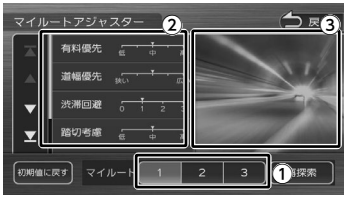
*：お買い上げ時の設定です。

■案内開始画面から［マイルートアジャスター］機能を使う

1 ［マイルートアジャスター］をタッチする



2 探索条件を登録したいマイルート1～3のいずれかをタッチして（①）設定したい項目をタッチして（②）調整する（③）



3 ［再探索］をタッチする



ルートを再探索します。

サウンドの設定をする

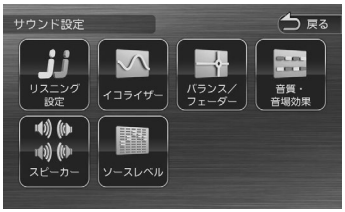
音質、音響効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。

- サウンドの設定はAVソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ（スタンバイ）のときは、サウンドの設定はできません。
- ハンズフリー電話の通話中、発信、着信中は、「バランス/フェーダー」以外のサウンドの設定はできません。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［サウンド］をタッチする



2 設定する項目をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リスニング設定	音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように音響効果を設定します。 ➡「リスニングを設定する」（P. 144）
イコライザー	低音域から高音域までの音質を設定します。➡「プリセットイコライザーを設定する」（P. 147）

項目	説明
バランス/フェーダー	◀または▶をタッチして左右のバランスを、▲または▼をタッチして前後のバランスを調整します。 ［センターに戻す］： 左右/前後ともに中央になります。
音質・音場効果	音響効果を設定します。 ➡「音響効果を設定する」 (P. 148)
スピーカー	スピーカーの構成を設定します。 ➡「スピーカー構成を設定する」 (P. 143)
ソースレベル	各AVソースの音量をそろえます。➡「ソースの音量レベルを設定する」 (P. 149)

車両タイプを設定する

車両タイプを設定すると、簡易的に車両タイプに合わせた音質が設定されます。

1 【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［スピーカー］をタッチする



2 ［車両タイプ］をタッチする



3 車両タイプを選んでタッチする

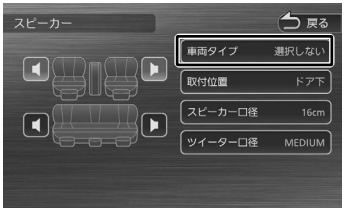
スピーカー構成を設定する

実際に設置されているスピーカーの取付位置、スピーカー口径などを設定します。

1 【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［スピーカー］をタッチする



2 ［車両タイプ］をタッチする



3 車両タイプを選んでタッチする



4 設定するスピーカーをタッチする



Ⓐ:フロントスピーカー
Ⓑ:リアスピーカー

5 各項目をタッチして設定する



[取付位置]：

スピーカーの位置を設定します。

[スピーカー口径]：

スピーカーの口径を設定します。フロントスピーカーの口径を設定するときは“なし”には設定できません。

[ツイーター口径]：

ツイーターの口径を設定します。

リスニングを設定する

リスニング設定は音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように音響効果を設定します。
リスニング設定には２つの設定方法があります。
２つ同時に設定することはできません。

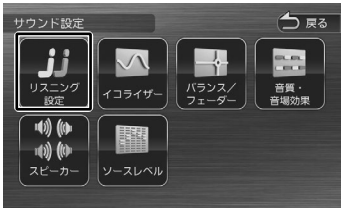
- リスニングポジション：
  設定した座席に近いスピーカーほど音の出るタイミングを遅らせる（ディレイ）ことで、各スピーカーからの音が同時に聞こえてくるように調整します。
- フロントフォーカス：
  仮想の音像イメージを設定した座席の正面に定位させる機能です。フロントフォーカスの「前の両座席」と「全ての座席」のそれぞれについては、音像イメージを右側座席正面に定位させたい場合は「右側優先」を、左側に定位させたい場合は「左側優先」を選んでください。

- リスニング設定はスピーカー構成の設定で車両タイプとスピーカー構成の両方が設定されていないと正しく設定できません。➡「スピーカー構成を設定する」（P. 143）
- スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を［なし］に設定している場合は、リアスピーカー調整ができません。
- フロントフォーカス調整の［ディレイ］設定の［音像左右（主調整）］の［リアを出力しないで調整］は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を［なし］に設定している場合はタッチできません。
- フロントフォーカス調整の［ディレイ］設定の［仮想音場の広さ］と［音像左右（微調整）］は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を［なし］に設定している場合は調整できません。
- フロントフォーカスを調整するときに表示される画面は、［閉じる］をタッチすると画面を閉じることができます。

1 車両タイプを設定してスピーカーを設定する

➡「スピーカー構成を設定する」(P. 143)

2 ［リスニング設定］をタッチする



3 リスニングポジションまたはフロントフォーカスの設定したい座席をタッチする



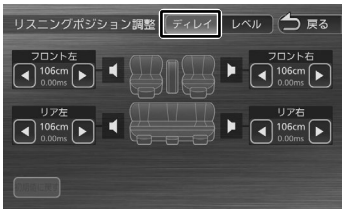
選択した座席に合わせた音場効果が設定されます。設定はさらに微調整することもできます。

リスニングポジションを微調整する

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［リスニング設定］▶［調整］をタッチする

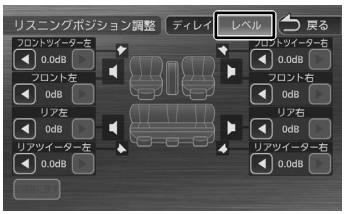


2 ［ディレイ］をタッチして、各スピーカーの◀または▶をタッチして実際に測った距離を設定する



リスニングポジションを［全ての座席］または［前の両座席］に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

3 ［レベル］をタッチして、各スピーカーの◀または▶をタッチして音を聴きながら調整する

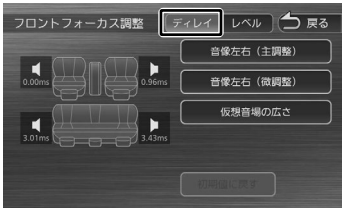


フロントフォーカスの微調整をする

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［リスニング設定］▶［調整］をタッチする



2 ［ディレイ］をタッチして下記の順で各項目を設定する



［音像左右（主調整）］をタッチする

［リアを出力しないで調整］にチェックが付いている状態で、◀または▶をタッチして、音像イメージが座席の正面になるように調整します。

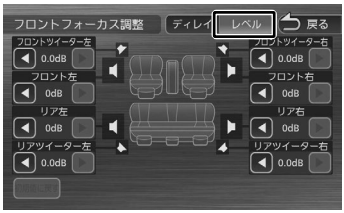
次に［リアを出力しないで調整］をタッチしてチェックが消えている状態で、音像イメージが座席の正面になっているか確認してください。音像の位置がずれた場合は◀または▶をタッチして調整してください。

▼

［仮想音場の広さ］をタッチする

音を聞きながら◀または▶をタッチしてお好みの広さのイメージになるよう調整します。この調整で音像イメージが正面からずれたときは［音像左右（微調整）］で微調整してください。

3 ［レベル］をタッチして、各スピーカーの◀または▶をタッチして音を聴きながら調整する



設定した値を初期設定に戻す

［初期値に戻す］をタッチするとメッセージが表示されます。［はい］をタッチするとディレイとレベルで調整した両方の値を初期設定に戻します。

プリセットイコライザーを設定する

ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーをソースごとに設定します。

- ［はっきり音声］がオンになっているソース（FM、AM、地デジ、または交通情報）を選択中は、イコライザーの設定はできません。

1 設定したいソースを選ぶ

2 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［イコライザー］をタッチする



3 ［プリセット選択］をタッチする



4 設定したいプリセットイコライザー（ジャンル）をタッチする

手順1で選択したソースに設定されます。

ユーザーイコライザーを設定する

ユーザー独自のイコライザーカーブを調整し、ソースごとに設定します。ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーを呼び出してイコライザーカーブを調整することもできます。

1 設定したいソースを選ぶ

2 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［イコライザー］をタッチする



3 画面を指でなぞる



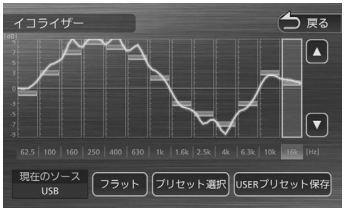
［フラット］：
すべての周波数帯域をフラットにします。

- 調整したい周波数を選んでタッチし、▲または▼をタッチしてレベルを設定することもできます。

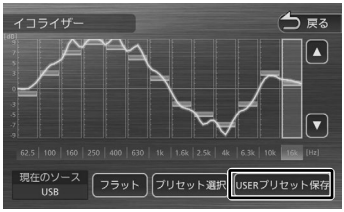
調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自で調整したイコライザーカーブをプリセットイコライザーのUSER1～4に保存できます。

1 イコライザーカーブを調整する



2 ［USERプリセット保存］をタッチする



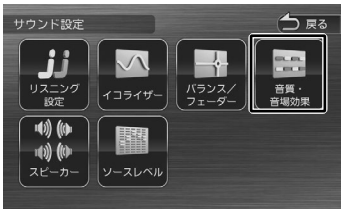
3 保存先をタッチする



音響効果を設定する

各種の音響効果を設定します。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［音質・音場効果］をタッチする



2 各項目を調整する



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
ミュージックバスブースト	OFF/1*/2/3	低音楽器の音を増強するレベルを設定します。
ミュージックラウドネス	OFF*/LOW/HIGH	音量に応じて低域高域のバランスを保ち、小音量時でも自然に聞こえるように低音と高音を補正します。録音レベルが大きい曲の場合はLOW、小さい曲の場合はHIGHが適しています。
Drive Equalizer +	OFF～7*～9	車速とAV 音量に応じて音質を自動で調整します。
サウンド・リアライザー	OFF/1*/2/3	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティのある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。

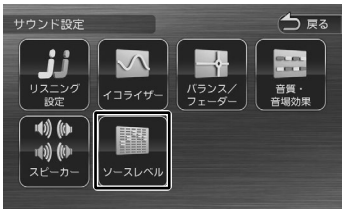
項目	設定	説明
サウンドライザー	OFF*/ LOW/ MIDDLE/ HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置（高さ）を設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

1　【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［ソースレベル］をタッチする



2　各ソースの［−］または［+］をタッチして、音量を調整する



- iPhoneをBluetoothで接続しているときは、iPhoneソースとBluetooth AUDIOソースの音量レベル設定は「Bluetooth AUDIO/iPhone」で調整してください。

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

1 【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



2 設定する項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● AV

項目	設定	説明
案内音声出力時のAV音量	そのまま/下げる*/消音	音声案内時のAVソースの音量を設定します。
スターターボリューム	動作しない*/更新間隔：速/更新間隔：中/更新間隔：遅	電源オン時にAVの音量を一定量下げます。電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。

● 表示

項目	設定	説明
映像画面の時計表示	ON*/OFF	映像画面表示中に時計を表示するかどうかを設定します。映像表示中以外の画面（現在地図画面など）では、この設定を［OFF］にしても、時計表示を消すことはできません。
消灯画面の時計表示	ON*/OFF	画面表示を消しているときに、時計を表示するかどうかを設定します。画面表示を消しているとき以外の画面（現在地図画面など）では、この設定を［OFF］にしても、時計表示を消すことはできません。

● 車両

項目	設定	説明
ステアリングリモコン	車両のステアリングスイッチで本機を操作できるように設定します。➡「ステアリングスイッチの設定について」（P. 36）	
ステアリングリモコン学習	ステアリングスイッチの動作を設定します。➡「独自に機能を割り当てる（ユーザー学習）」（P. 39）	
ステアリング＊スイッチ設定	ステアリング＊スイッチの動作を設定します。➡「＊キーに機能を割り当てる」（P. 37）	
速度超過アラーム	OFF/低速ON/高速ON/低速/高速ON*	速度超過の音声案内をする速度を設定します。➡「速度超過アラーム」（P. 152）
パーキングブレーキアラーム	ON*/OFF	パーキングブレーキをかけたまま発進したときに画面表示と音声で警告案内するかどうかを設定します。➡「パーキングブレーキアラーム」（P. 152）
事故/故障の通知	ON*/OFF	車両の事故や車両のシステム故障などを本機の画面に表示します。➡「事故/故障の通知」（P. 152）

項目	設定	説明
その他の車両状態の通知	ON*/OFF	シートベルト未装着や半ドアなどを本機の画面に表示します。 ➡「その他の車両状態の通知」(P. 153)
標識検知の表示	ON*/OFF	進入禁止、一時停止、速度制限の標識を検知すると本機の画面に表示します。 ➡「標識検知の表示」(P. 154)

● 一般

項目	設定	説明
リフレッシュ通知	ON*/OFF	休憩を促す音声案内をするかどうかを設定します。➡「リフレッシュ通知」(P. 75)
SDカード初期化	SDカードの初期化を行います。SDカード内のデータは、全て消去されます。	
操作音の出力	ON*/OFF	操作音を出力するかしないかを設定します。
ショートカットボタン登録	マイメニューに表示されるショートカットボタンに機能を割り当てます。 ➡「ショートカットキーを割り当てる」(P. 23)	
暗証番号登録	本機の起動のための暗証番号を設定します。➡「暗証番号を設定する」(P. 42)	
暗証番号解除	設定した暗証番号を解除します。 ➡「暗証番号を解除する」(P. 42)	
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。 ➡「暗証番号を変更する」(P. 42)	

項目	設定	説明
セキュリティインジケーター	ON*/OFF	ナビの電源をオフにしたときにセキュリティインジケーターを点滅させるかどうかを設定します。 ➡「セキュリティインジケーターの設定をする」(P. 43)

● 特別

項目	設定	説明
オープンソースライセンス	ライセンスを表示します。	
ユーザー切替	一部の設定を2ユーザー分保持することができます。➡「ユーザーを切り替える」(P. 26)	
システムの初期化	ユーザーが登録したデータ（登録地点、検索履歴など）を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。 ➡「システムを初期化する」(P. 154)	

*：お買い上げ時の設定です。

車両情報の案内を設定する

車両からの信号をもとに、速度超過や車両の事故/故障などを本機から案内することができます。

- 事故/故障・車両状態によっては、案内されない場合があります。
- 「事故/故障の通知」(P. 152)、「その他の車両状態の通知」(P. 153)、「標識検知の表示」(P. 154) は対応していない車両や機能があります。

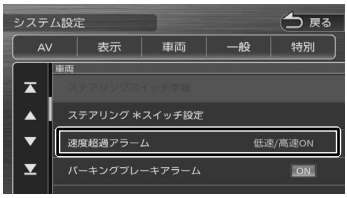
速度超過アラーム

速度（約60km/h、約100km/h、または両方）超過を案内する音声をいつ出力するかを設定します。

1 【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



2 ［速度超過アラーム］（車両）をタッチする



3 速度超過アラームを鳴らすタイミングを設定する



[OFF] ：

警告案内しません。

[低速ON] ：

約60km/hになったときに音声で警告案内します。

[高速ON] ：

約100km/hになったときに音声で警告案内します。

[低速/高速ON] ：

約60km/hと約100km/hになったときにそれぞれ音声で警告案内します。

■音声案内

音声
速度にご注意ください

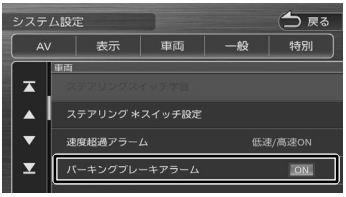
パーキングブレーキアラーム

パーキングブレーキをかけたまま発進したときに画面表示と音声で警告案内するかどうかを設定します。

1 【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



2 ［パーキングブレーキアラーム］（車両）をタッチする



■音声案内

音声
パーキングブレーキをご確認ください

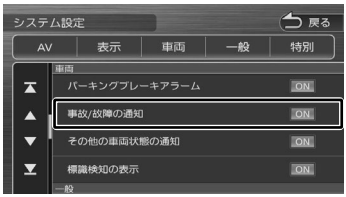
事故/故障の通知

車両の事故や車両のシステム故障などを本機の画面に表示するかどうかを設定します。

1 【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



2 ［事故/ 故障の通知］（車両）をタッチする



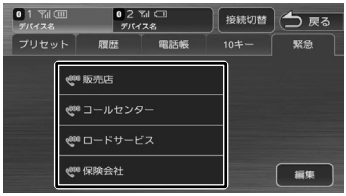
■画面表示

例：ブレーキ液量低下検知



［電話をかける］：

Bluetoothハンズフリー接続しているときに、電話メニューの緊急連絡先画面を表示します。マイメニューの「お問い合わせ情報」に入力されている車両の販売店、コールセンター、ロードサービス、保険会社に電話をかけることができます。



［編集］：

お問い合わせ情報画面の連絡先の情報を編集することができます。

編集方法については「お問い合わせ情報を表示/編集する」（P. 24）をご覧ください。

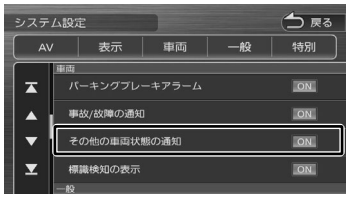
その他の車両状態の通知

シートベルト未装着時や半ドアなどを検知した場合に、通知を本機の画面に表示するかどうかを設定します。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



2 ［その他の車両状態の通知］（車両）をタッチする



■画面表示

例：シートベルト未装着時警告



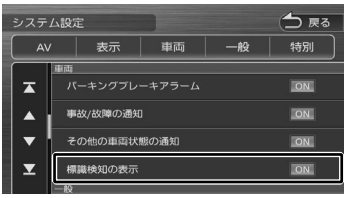
標識検知の表示

一時停止、進入禁止、速度標識などの標識を車両が検知した場合に本機の画面に表示するかどうかを設定します。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする



2 ［標識検知の表示］（車両）をタッチする



■画面表示

例：速度標識検知



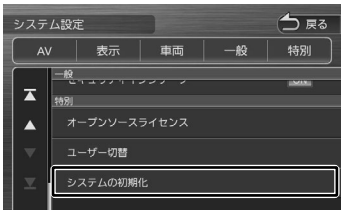
・ 一部の車両のみ設定できます。

システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。次の項目は、設定を初期化しても削除されません。

- 暗証番号
- SDカードに録音した曲

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［システム］▶［システムの初期化］（特別）をタッチする



メッセージが表示されます。

2 ［はい］をタッチする

外部機器の設定をする

本機に外部機器を接続するときに必要な設定を行います。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする



2 設定する項目をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

● Bluetooth
Bluetoothの設定については「Bluetoothの設定をする」（P. 160）をご覧ください。

● カメラ

項目	設定	説明
バックモニター機能	ON/OFF	バックモニター（ディーラーオプション）、3モードカメラ（ディーラーオプション）、またはパノラミックビューモニター（メーカー装着オプション）を接続しているときはONに設定します。 ➡「バックモニターの接続を設定する」（P. 184） ➡「3モードカメラの接続を設定する」（P. 188） ➡「パノラミックビューモニターの接続を設定する」（P. 191）
バックモニター設定	−	バックモニター（ディーラーオプション）または3モードカメラ（ディーラーオプション）のガイド線の設定を行います。 ➡「ガイド線を設定する」（P. 186） ➡「ガイド線を設定する」（P. 189）

項目	設定	説明
コーナーセンサー表示	ON*/OFF	コーナーセンサー装備車両の場合（車両により対応していない場合があります）、バックモニター（ディーラーオプション）、3モードカメラ（ディーラーオプション）、またはパノラミックビューモニター（メーカー装着オプション）の映像にコーナーセンサー表示をするかどうかを設定します。 ➡「障害物検知表示（一部の車両にのみ装着）」（P. 187） ➡「障害物検知表示（一部の車両にのみ装着）」（P. 190） ➡「障害物検知表示（一部の車両にのみ装着）」（P. 192）

● その他

項目	設定	説明
ドライブレコーダー（連動モデル）	未装着/装着	ドライブレコーダー（連動モデル）（ディーラーオプション）を接続しているときは装着に設定します。 ➡「ドライブレコーダーの接続設定をする」（P. 195）

*：お買い上げ時の設定です。

・「ドライブレコーダー（連動モデル）」は、次回起動時から有効となります。設定後は、本機の電源をオフにしてオンにしてください。

バージョンを確認する

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータのバージョンを確認します。

1　【メニュー】を押して［情報・設定］▶［バージョン］をタッチする



バージョン情報が表示されます。

地図更新について

本機の地図は更新することができます。
本製品は「無償地図更新」の特典を、期間限定でご利用いただけます。
地図更新は、以下の方法から選択して申し込むことができます。

- パソコンを使ってWebページからダウンロード
- SDカードの送付（QRコード読み取りによるWebページ申し込み）
- SDカードの送付（はがき申し込み）

詳細はhttps://www.kenwood.com/jp/car/oem/dop/subaru/から、お使いのカーナビのモデル名を選んでご確認ください。

個人情報の利用目的と使用範囲

無償地図更新申込みハガキにご記入頂いた個人情報は、無償地図更新申込みの目的以外には使用しません。また、お客様からご提供頂いた個人情報は第三者には開示しません。
ただし、無償地図更新業務および関連業務を必要に応じて委託する業務委託先には、必要最小限の範囲で開示します。その場合、業務委託先に開示された個人情報の管理と目的外使用の禁止を徹底させます。

無償地図更新に関するお問い合わせはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

電話：0120-977-846

受付時間 月曜～金曜 9:30 ～ 18:00
（祝日・年末年始など当社休日は除く）

■開通した道路情報の更新

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を毎年6月と11月の２回更新することができます。
詳細は当社サイトhttps://www.kenwood.com/jp/car/oem/dop/subaru/から、お使いのカーナビのモデル名を選んでご確認ください。

Bluetooth®機器の登録と設定

本機は、Bluetooth対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話やBluetoothオーディオの再生ができます。



Bluetooth接続中アイコン

- Bluetooth機器は10台まで登録できます。11台目を登録しようとすると接続頻度の低い機器を削除して登録します。
- 60日以上接続がなかったBluetooth機器は、そのデバイス情報が削除されます。
- Bluetoothの対応プロファイルについては、「Bluetoothについて」（P. 230）をご覧ください。

本機にBluetooth機器を登録する

本機でBluetooth機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［機器登録］（Bluetooth）をタッチする





メッセージが表示され、Bluetooth機器の登録が可能な状態になります。
［閉じる］を押さずに手順2以降の操作をします。

2 登録するBluetooth機器のBluetooth機能をオンにする

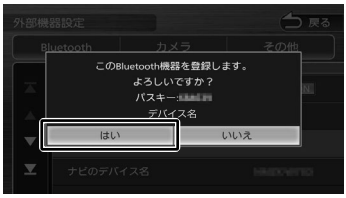
3 Bluetooth機器側で接続するモデル名を選ぶ

以下のモデル名を選びます。
- NMZK-W75DE

4 デバイス名とパスキーを確認する



5 ［はい］をタッチする



Bluetooth機器の登録が１台目の場合は、ここで登録（ペアリング）操作は終了です。

ハンズフリーはハンズフリー１に接続されています。

PBAP対応機器は電話帳を登録することができます。➡「Bluetoothについて」（P. 230）

１台目の電話機の電話帳を登録したい場合は「PBAP対応機器の電話帳を登録する」（P. 169）をご覧ください。

２台目以降の登録の場合は、続けて手順6以降の操作を行ってください。

6 ハンズフリーの接続番号を選ぶ



［ハンズフリー1］/［ハンズフリー2］：

ハンズフリー登録する番号を選びます。

［接続しない］：

機器の登録のみで発信や着信はできません。

7 Bluetoothオーディオ機器/アプリケーション連携として接続するか選択する

A2DPに対応している機器の場合は、「このBluetooth機器とBluetooth AUDIO/アプリケーション連携接続しますか？」と表示されます。

［はい］：

ハンズフリー接続、Bluetooth AUDIO再生、本機対応のスマホアプリケーションをBluetooth接続で使用します。

［いいえ］：

ハンズフリー接続のみとなります。

8 電話帳を登録するか選択する

PBAPに対応している機器の場合は「このBluetooth機器の電話帳を登録しますか？」と表示されます。

［はい］：

電話帳の登録が始まります。機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

［いいえ］：

電話帳の登録はしません。

▼

Bluetooth機器の登録が始まります。

登録と接続が完了すると、本機の画面にBluetooth接続中アイコンが表示されます。

- 電話帳登録中に[終了]をタッチすると登録を中断します。
- 電話帳の登録はここで［いいえ］をタッチしても後から登録できます。
- 電話帳は最大1000 件分（1件あたり最大5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。電話帳登録中は、カーナビ連携スマホアプリケーションとは一時的に連携できません。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

オートペアリング機能で登録する

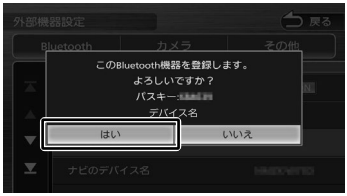
iPhoneを本機にUSB接続すると、オートペアリングの機能がはたらき、簡単にiPhoneを登録できます。オートペアリング機能は、Bluetooth設定でオフにすることもできます。➡「Bluetoothの設定をする」（P. 160）

- iOS のバージョンによっては登録できないことがあります。
- 登録ができない場合は「本機にBluetooth機器を登録する」（P. 158）の登録方法で登録してください。

1 iPhoneのBluetooth設定をオンにする

2 iPhoneをUSB接続する

3 デバイス名とパスキーを確認して、［はい］をタッチする



Bluetooth機器の登録が始まります。
登録と接続が完了すると、本機の画面にBluetooth接続中アイコンが表示されます。
Bluetooth機器の登録が１台目の場合は、ここで登録（ペアリング）操作は終了です。
PBAP対応機器は電話帳を登録することができます。➡「Bluetoothについて」（P. 230）
電話帳を登録したい場合は 「PBAP対応機器の電話帳を登録する」（P. 169）をご覧ください。
ハンズフリーはハンズフリー１に接続されています。
２台目の登録の場合は、「本機にBluetooth機器を登録する」（P. 158）の手順6以降の操作を行ってください。

- iPhoneをUSB接続するには、USBアダプター（ディーラーオプション）と、Apple製のLightning-USB ケーブルまたはUSB-C - USB-A 準拠ケーブルが必要です。➡「iPhoneを接続する」（P. 93）

Bluetoothの設定をする

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする



2 設定するBluetoothの項目をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
Bluetooth	ON*/OFF	Bluetooth 接続するかどうかを設定します。
機器登録	本機にBluetooth機器を登録（ペアリング）することができます。➡「本機にBluetooth機器を登録する」（P. 158）	
デバイス接続	本機にBluetooth機器を接続します。➡「Bluetooth機器の使用する機能を変更する」（P. 162）	
ナビのデバイス名	現在の本機のデバイス名が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。➡「本機のデバイス名を変更する」（P. 163）	
ナビのデバイスアドレス	本機のデバイスアドレスが表示されます。	
オートペアリング	ON*/OFF	オートペアリング機能を設定します。
着信の自動応答	OFF*/1秒/5秒/10秒/15秒/30秒	着信時に、自動的に通話可能になるまでの時間を設定します。

項目	設定	説明
着信音量	0～15*～40	着信音量を調整します。
受話音量	0～15*～40	受話音量を調整します。
通話中の音量調整	ON*/OFF	ハンズフリー通話中の音量を音量キーで調整するかどうかを設定します。
音質調整	－	通話時の音質を調整します。➡「音質を調整する」（P. 161）

*：お買い上げ時の設定です。

- 割り込みの通話が可能な契約をしている携帯電話を接続し、［着信の自動応答］を［OFF］以外に設定した場合、割り込み通話を着信すると割り込みの通話先に自動的に切り替わります。ただし、契約している通信会社や携帯電話によっては、［OFF］以外に設定していても割り込み通話先に切り替わらない場合があります。

■音質を調整する

1　【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［音質調整］（Bluetooth）をタッチする



2　各項目を調整する



［エコーキャンセル］（－5～0*～+5）：
エコーキャンセルの値を調整します。

［ノイズリダクション］（－5～0*～+5）：
ノイズリダクションの値を調整します。

［マイクゲイン］（－10～0*～+10）：
マイクゲインの値を調整します。

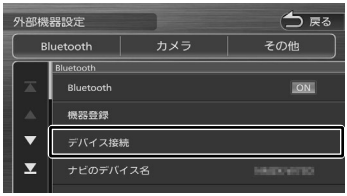
［ミュート］：
通話中にタッチしてチェックを付けると送話を消音します。
もう一度タッチしてチェックを外すと消音を解除します。

*:お買い上げ時の設定です。

3　［閉じる］をタッチする

Bluetooth機器の使用する機能を変更する

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［デバイス接続］（Bluetooth）をタッチする



2 機能を変更したいBluetooth機器をタッチする



3 チェックボックスをタッチして使用する機能にチェックを付けて、［閉じる］をタッチする



［ハンズフリー1］/［ハンズフリー2］：
ハンズフリー登録する番号を選びます。

［Bluetooth AUDIO/アプリケーション連携］：
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションをBluetooth接続で使用します。

■機能アイコンについて

：ハンズフリー
：オーディオ/アプリケーション連携

Bluetooth機器の接続を解除する

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［デバイス接続］（Bluetooth）をタッチする



2 解除したいBluetooth機器をタッチする



3 接続を解除する接続方法をタッチして［閉じる］をタッチする



登録した機器を削除する

本機に登録したBluetooth機器を削除します。

1 **【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［デバイス接続］（Bluetooth）をタッチする**



2 **［削除］をタッチする**



3 **削除するBluetooth機器を選んでタッチする**

複数選択することもできます。



［全て選択］：

リスト内のすべての機器を選択します。

［全て解除］：

リスト内のすべての機器の選択を解除します。

4 **［削除］をタッチする**

メッセージが表示されます。

5 **［はい］をタッチする**

本機のデバイス名を変更する

本機にBluetooth機器を登録（ペアリング）するときに選択するデバイス名を変更することができます。

1 **【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［ナビのデバイス名］（Bluetooth）をタッチする**



2 **デバイス名を入力して［決定］をタッチする**



デバイス名が変更されます。

- デバイス名は20文字まで入力できます。アルファベット（大文字、小文字）、数字、記号、スペースが使用できます。
- 文字入力については「文字入力のしかた」（P. 31）をご覧ください。

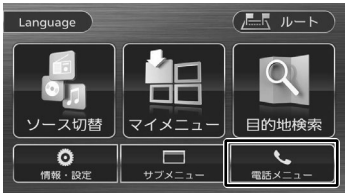
ハンズフリーを使う

本機に登録（ペアリング）したBluetooth対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

- 本機のハンズフリー機能は、スマートフォンで使用する場合、電話回線を使った電話アプリケーションに対応しています。ただし、アプリケーションによっては表示や操作が行えない場合があります。

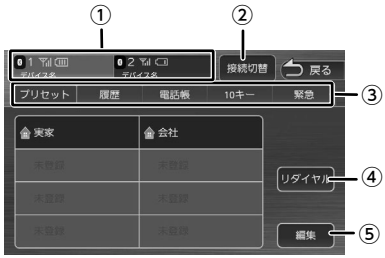
電話メニュー画面を表示する

1 **【メニュー】 を押して［電話メニュー］をタッチする**



電話メニュー画面が表示されます。

電話メニュー画面の見かたと操作



① ハンズフリー1/ハンズフリー2

2台登録している場合は、2台とも待ち受け状態になります。電話をかける場合は1または2をタッチして接続機器を選択してください。

- プリセット、履歴、電話帳などは選択されている機器の内容を表示しています。
- 接続したBluetooth機器の電波受信状態、機器のバッテリー残量、デバイス名が表示されます。

② ［接続切替］

Bluetoothデバイス接続画面を表示します。➡「Bluetooth機器の使用する機能を変更する」（P. 162）

③ ［プリセット］

プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。➡「プリセットダイヤルから電話をかける」（P. 166）

［履歴］

PBAP対応機器の場合は発信、着信、不在着信履歴を表示します。➡「履歴から電話をかける」（P. 168）

［電話帳］

電話帳を表示します。➡「電話帳から電話をかける」（P. 168）

［10キー］

電話番号を入力します。➡「ダイヤルして電話をかける」（P. 170）

［緊急］

登録されている販売店やコールセンター、ロードサービスなどに電話をかけることができます。➡「緊急連絡先に電話をかける」（P. 171）

④ **［リダイヤル］**

前回発信した電話番号に発信します。

⑤ **［編集］**

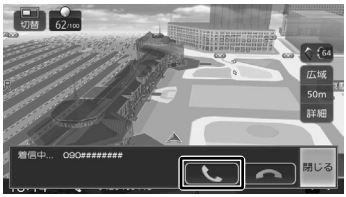
プリセットダイヤルに電話番号を登録します。➡「プリセットダイヤルに電話番号を登録する」（P. 167）

- Bluetooth機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際のBluetooth機器の表示と一致しない場合があります。
- プリセット、履歴、電話帳などは現在接続している機器が対象です。

ハンズフリーで電話を受ける/切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

1 **をタッチする**



（通話終了）：
着信を拒否します。



［はっきり］：

タッチしてチェックを付けるとはっきり音声機能がオンになり、音声が聞き取りやすくなります。➡「はっきり音声機能を使う」（P. 46）

［通話切替］（割り込みの通話が発生中に表示）：

通話先を切り替えます。

接続している機器が割り込み通話の契約をしていないと現在の通話が切れる場合があります。

［音質調整］：

音質を調整します。➡「音質を調整する」（P. 161）

［トーン］：

トーンダイヤルをするための10キーが表示されます。

：

プライベート通話（携帯電話）とハンズフリー通話を切り替えます。

［閉じる］：
表示を消します。
［電話］をタッチすると再度表示します。



- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、AVの音量とそれぞれ独立して調整できます。➡「各部の名称とはたらき」（P. 18）
- ハンズフリー電話の受話音声は、フロントスピーカーからのみ出力されます。
- ハンズフリー1と2に登録している機器がある場合、1台が発信または着信状態になったときは、もう1台の機器との接続が切断されます。通話が終わると切断した機器を再度接続します。

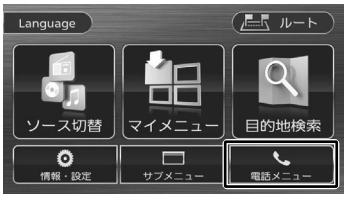
2 通話が終わったら、をタッチする

プリセットダイヤルを使う

プリセットダイヤルから電話をかける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発信します。
あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。➡「プリセットダイヤルに電話番号を登録する」（P. 167）

1 【メニュー】を押して［電話メニュー］をタッチする



2 発信するダイヤルをタッチする





選択した電話番号に発信されます。

プリセットダイヤルに電話番号を登録する

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

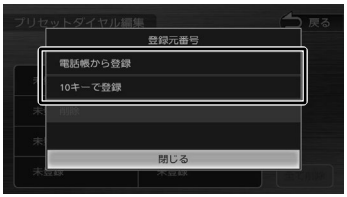
1 【メニュー】 を押して［電話メニュー］▶［編集］をタッチする



2 登録するプリセットをタッチする



3 登録方法をタッチし、電話番号を登録する



［電話帳から登録］：

登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。

［10キーで登録］：

電話番号を入力し、［登録］をタッチします。

プリセットダイヤルの登録を削除する

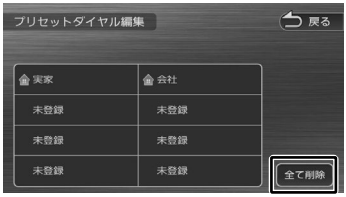
プリセットダイヤルに登録されている電話番号を削除します。

1 【メニュー】 を押して［電話メニュー］▶［編集］をタッチする



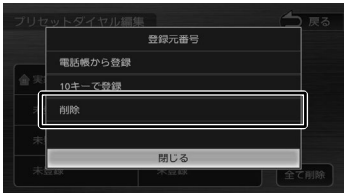
2 削除する

- **全て削除する場合**
  ［全て削除］をタッチする
  メッセージが表示されます。



- **選んで削除する場合**
  削除したいプリセットダイヤルをタッチして［削除］をタッチする
  メッセージが表示されます。





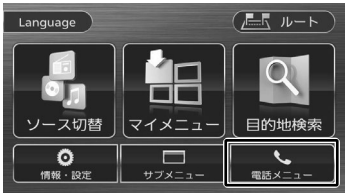
3 ［はい］をタッチする

プリセットダイヤルが削除されます。

履歴から電話をかける

PBAP対応機器の場合は不在着信、着信、発信履歴から発信することができます。PBAPに対応していない機器は使用できません。➡「Bluetoothについて」（P. 230）

1 【メニュー】を押して［電話メニュー］をタッチする



2 ［履歴］をタッチする



機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと履歴データの取得が始まります。

3 発信する履歴をタッチする



メッセージが表示されます。

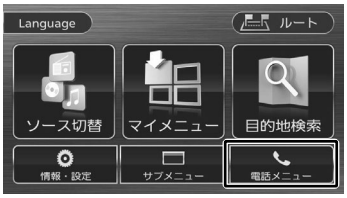
4 ［はい］をタッチする

選択した電話番号に発信されます。

電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

1 【メニュー】を押して［電話メニュー］をタッチする



2 ［電話帳］をタッチする



3 発信する相手をタッチする



4 発信する電話番号をタッチする



メッセージが表示されます。

5 ［はい］をタッチする

選択した電話番号に発信されます。

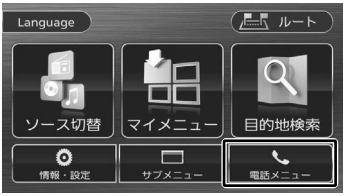
- 電話帳の登録方法については「PBAP対応機器の電話帳を登録する」（P. 169）をご覧ください。

PBAP対応機器の電話帳を登録する

最大1000件分（1件あたり最大5番号まで）のPBAP対応機器の電話番号を本機に登録することができます。➡「Bluetoothについて」（P. 230）

- 電話帳登録中は、カーナビ連携スマホアプリケーションとは一時的に連携できません。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

1 【メニュー】を押して［電話メニュー］をタッチする



2 ［電話帳］をタッチする



3 ［登録］をタッチする



- PBAP対応機器の場合は電話帳の登録が始まります。機器によっては携帯電話（スマートフォン）でアクセスを許可する操作が必要な場合があります。
  アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。
- 電話帳登録中に［終了］をタッチすると登録を中断します。

電話帳を削除する

1 【メニュー】を押して［電話メニュー］をタッチする



2 ［電話帳］をタッチする



3 ［削除］をタッチする



4 削除する登録名をタッチして、［削除］をタッチする



複数選択することもできます。
メッセージが表示されます。

［全て選択］：
リスト内のすべてを選択します。

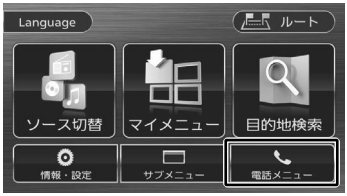
［全て解除］：
リスト内のすべての選択を解除します。

5 ［はい］をタッチする

選択した登録が削除されます。

ダイヤルして電話をかける

1 【メニュー】 を押して［電話メニュー］をタッチする



2 ［10キー］をタッチする



3 電話番号を入力して、 をタッチする



メッセージが表示されます。

4 ［はい］をタッチする

入力した電話番号に発信されます。

地点情報から電話をかける

地点検索した場所に電話を発信します。

ここまでの手順

地点の詳細情報画面を表示する
➡「マップクリップを利用する」 (P. 54)

1 をタッチする



メッセージが表示されます。

2 ［はい］をタッチする

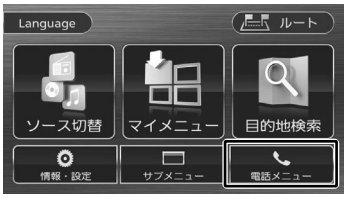
電話が発信されます。

- 地点情報に電話番号が表示されていない場合は、発信できません。

リダイヤルで電話をかける

前回発信した電話番号に発信します。

1 【メニュー】を押して［電話メニュー］をタッチする



2 ［リダイヤル］をタッチする



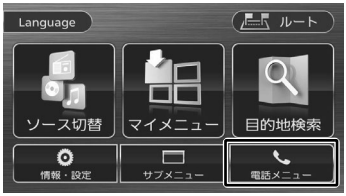
3 ［はい］をタッチする

前回の電話番号に発信されます。

緊急連絡先に電話をかける

マイメニューの「お問い合わせ情報」に入力されている車両の販売店、コールセンター、ロードサービス、保険会社の電話番号が電話メニューの緊急連絡先に登録されています。

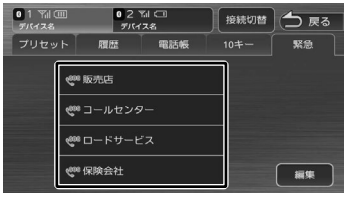
1 【メニュー】を押して［電話メニュー］をタッチする



2 ［緊急］をタッチする



3 発信したい連絡先をタッチする



電話が発信されます。

［編集］：

お問い合わせ情報画面の連絡先の情報を編集することができます。

編集方法については「お問い合わせ情報を表示/編集する」（P. 24）をご覧ください。

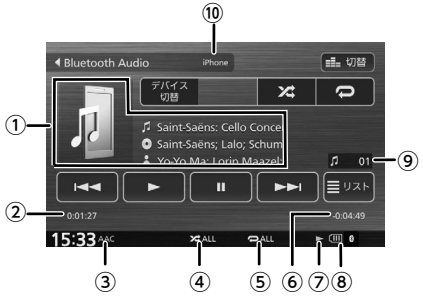
Bluetoothオーディオ機器を再生する

本機に登録（ペアリング）したBluetooth対応オーディオプレーヤーを本機で再生することができます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースをBluetooth AUDIOに切り替える
➡「ソースを切り替える」（P. 90）



① 曲名
　アルバム名
　アーティスト名
② 再生経過時間
③ 音声形式
④ ランダム再生モード
⑤ リピート再生モード
⑥ 再生残り時間
⑦ 再生状態
⑧ バッテリー残量
⑨ 曲番号
⑩ デバイス名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[切替]	画面のデザイン（ボタンの位置や背景など）が切り替わります。
[デバイス切替]	Bluetoothデバイス接続画面を表示します。 ➡「Bluetooth機器の使用する機能を変更する」（P. 162）
[🔀]	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。
[🔁]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
[▶]	再生します。
[⏸]	一時停止（ポーズ）します。
[⏮] / [⏭]	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生中のファイルの再生リストを表示します。 • [トップ]： 一番上の階層のフォルダに移動します。 • [一つ上]： 1つ上の階層のフォルダに移動します。

- Bluetooth対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法(スキップ操作やランダム再生モード切替など)を操作できない場合があります。
- バッテリー残量は、実際のBluetooth対応機器の表示と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、Bluetooth対応機器をハンズフリー接続したときに表示されます。
- 他のBluetooth機器と通信中は音が途切れる場合があります。
- 音飛びが発生する際には、ご利用の機器の再生品質の設定を変更すると改善される場合があります。

- 再生する音楽アプリを変えたい場合は、使用中のBluetoothオーディオ機器にて音楽アプリを切り替えてください。

NaviConで探す

「NaviCon」では、地点や店舗を検索して登録しておくことができます。登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することもできます。
ほかにも、NaviConには次の機能があります。

- NaviConは、他のスマートフォンアプリと連携することができ、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報をNaviConに取り込むことができます。連携できるアプリの種類やNaviConの操作については下記のホームページをご覧ください。
  https://navicon.com/user/support/
- スマートフォンの連絡先等に登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、地点情報をNaviConで目的地に設定できます。
- 他のNaviConユーザーに、地点情報をメールまたはSMSで送信することができます。
- 他のNaviConユーザーからの地点情報を受信することができます。
- 友達マップ機能に対応しています。

- 「NaviCon」アプリのバージョンによっては一部機能が動作しない（友達マップが表示できないなど）場合があります。「NaviCon」アプリは最新のバージョンでご使用ください。

NaviConを使うための準備

1 App Store または Google Play から「NaviCon」をスマートフォンにインストールする

2 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

● iPhoneを接続する場合

USBまたはBluetoothで接続します。
USB接続する場合は、iPhoneと本機をUSBアダプター（ディーラーオプション）で接続します。
Bluetooth接続する場合は、iPhoneと本機をBluetooth接続します。

● Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機をBluetooth接続します。

- 本機とBluetooth接続するときは登録が必要です。➡「Bluetooth機器を登録する」 (P. 44)
- iPhone を接続するUSB ケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。

NaviConからナビの地図表示を操作する

NaviConの画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。
また、NaviCon側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。さらに、地図を拡大/縮小すると、本機の地図も拡大/縮小されます。
なお、本機からNaviConの地図表示を変えることはできません。

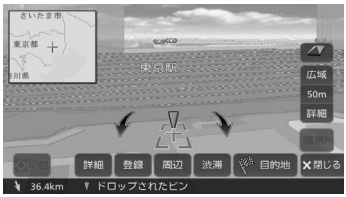
目的地を設定する

NaviConで検索した地点の情報を本機に送信して、行き先として設定することができます。

1 「NaviCon」を起動する

2 「NaviCon」から本機に地点情報を送信する

送信された場所が本機に表示されます。



送信方法については「NaviCon」のアプリの説明をご覧ください。

案内の開始方法については、「目的地に設定してルートを探索する」（P. 67）をご覧ください。

NaviCon友達マップ機能を使う

友達マップ機能を使うと、本機の地図画面に友達の位置が表示されます。
また、表示された友達の位置を目的地に設定することができます。

■ナビの友達マップ機能をONにする

1 本機にスマートフォンを接続する

2 スマートフォンの「NaviCon」を起動する

3 スマートフォンの「NaviCon」の友達マップ機能をオンにする

4 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする



5 ［NaviCon友達マップ］（その他）をタッチする



6 ［NaviCon友達マップ表示］をタッチしてONにする



現在地図画面を表示すると友達アイコンが表示されます。

- ナビの友達マップ機能をオンに設定しても他のデバイスを接続したときは、設定がオフになります。設定をオンにしたときと違う機器を使用する場合は設定をオンにし直してください。

■友達マップ機能のアイコンについて

友達マップ機能のアイコンが本機の画面に表示されます。

友達アイコン

緑色：友達のNaviCon と通信できています。
灰色： 友達のNaviCon が通信できません。
最後に通信できた場所を表示しています。



本機との接続状態表示アイコン

緑色：

友達マップ機能が［ON］になっている

黄色：

友達マップ機能は［ON］になっているが通信エラーが発生している

灰色：

友達マップ機能は［ON］になっているが通信できない状態になっている

表示なし：

友達マップ機能が［OFF］になっている

- 友達アイコンにはNaviConに登録しているニックネームを全角3文字まで表示します。
- 友達アイコンは2.5km以下のスケールで表示されます。

■友達の位置を全体表示する

友達の位置が自車位置から遠い場合や複数の友達と接続している場合など、地図画面に友達の位置が表示できないときに全体画面で位置を表示することができます。

1 NaviCon友達マップ画面を表示して［NaviCon友達マップ全体表示］をタッチする



全体表示画面が表示されます。

■友達の位置を目的地に設定する

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［NaviCon友達マップ］（その他）▶［NaviCon友達マップ全体表示］をタッチする



全体表示画面が表示されます。

複数の友達の位置情報を取得している場合は、［◀］、［▶］、［リスト］をタッチして友達を選ぶことができます。

2 ［この友達を選択］をタッチする



3 ［目的地］をタッチする



ルートの探索が始まります。

ETC2.0車載器を使う

本機はETC2.0車載器（ディーラーオプション）を接続することができます。

- 本機はサービスエリアや道の駅でのITSスポットによるインターネットサービス(情報配信サービス)には対応していません。
- 本機は決済サービスには対応していません。

ETC情報について

ETC（Electronic Toll Collection System）は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。

- ETC機能についての音声案内(料金案内、カード挿入/排出、カード有効期限、エラーコード)は、本機から出力されます。
- 有効期限は、期限から1ヶ月以内になったときに出力されます。
- 本機の電源をオフしたときにETCカードを入れたままにしたときの警告は本機からは出力されません。

ETC2.0情報について

ETC2.0車載器（ディーラーオプション） を接続すると、ETC機能とITSスポットから送られてくるVICS情報の提供を受けることができます。

- 本機はサービスエリアや道の駅でのITSスポットによるインターネットサービス(情報配信サービス)には対応していません。
- 本機は決済サービスには対応しておりません。

ITSスポットとは

高速道路を中心に設置された路側無線装置で、ETC2.0車載器 との5.8GHz帯を利用した双方向通信により、前方状況、合流支援、前方障害物情報などをリアルタイムにお知らせする安全運転支援情報を提供します。利用エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

国土交通省　国土技術政策総合研究所

http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html

道路管理者からのお知らせとお願い（プローブ情報の利用及び取り扱いについて）

http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/oshirase.html

*：ITSスポットの案内内容は、変更される場合があります。

ETC予告アンテナについて

ETC料金所の手前やSA・PAからの合流後にETC予告アンテナが設定されている場所を通過するときに、ETCカードの挿し忘れや挿し込み不良、ETCカードの有効期限切れなどの場合に、音声案内と表示で「ETCがご利用できません」または「ETCカードを確認してください」と通知されます。その場合は「一般」または「ETC／一般」と表示されたレーンをご利用ください。

- 運転中のETCカードの挿入操作は危険ですのでおやめください。
- ETCカードが入っている場合、予告アンテナ通過時に約1秒間ピーと音が鳴ることがありますが故障ではありません。

アップリンクとは

アップリンクとはプローブ情報（走行位置の履歴などの情報）をITS スポットに送信する機能です。送信したデータはより精度の高い道路交通情報の生成に活用されます。
走行開始、終了地点など、個人情報に関わる情報は送信しません。
アップリンクしないように設定することができます。➡「ETC2.0アップリンク」 (P. 132)
アップリンクについてはETC2.0車載器 の取扱書もご覧ください。

VICS機能を利用する

ITSスポットからVICS情報を受信することにより、次の機能を利用できます。

- 地図画面上に、VICS情報が表示されます。➡「地図に表示されるVICS情報」 (P. 126)
- 案内情報を受信すると、割り込み表示されます。音声情報がある場合は、音声案内が出力されます。
  対応している情報の種類は、次のとおりです。
  - 優先情報
    安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
  - 一般情報
    電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報
- 規制を考慮したルートが探索されます。➡「規制考慮探索」 (P. 69)
- 渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。➡「渋滞考慮探索(最適時間考慮探索)」 (P. 69)

ETCに関する設定をする

ETCの案内音声出力を設定する

1 【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする



2 ［ETC音声の出力］（案内）をタッチする



［ON］：
ETCの音声案内をします。
［OFF］：
ETCの音声案内をしません。

ETCの料金表示を設定する

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする



2 ［ETC料金の表示］（案内）をタッチする



［ON］：
ETC料金を表示します。

［OFF］：
ETC料金を表示しません。

ETC 履歴/車載器情報を見る

本機で使用したETCの利用履歴や登録情報を確認できます。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［ETC］をタッチする



ETC履歴情報が表示されます。



［車載器情報］：
車載器の情報を表示します。



- ETCの利用履歴は、100件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETCカードの挿入時のみ表示されます。
- ETC履歴表示中はETCカードを抜かないでください。

信号情報活用運転支援システム(TSPS)による信号情報案内

本機にETC2.0車載器（光ビーコン対応モデル）（ディーラーオプション） を接続すると、高度化光ビーコン（以降、光ビーコン）から送信される信号情報活用運転支援システム(TSPS)の情報を受信することができます。
本機は、受信した情報によって、以下の信号情報案内に対応しています。

- 赤信号減速支援案内
- 発進遅れ防止支援案内

⚠

- 本機の信号情報案内は、あくまで補助的な機能です。
  - あらゆる状況において作動するものではありません。
  - 実際の信号機の点灯状況と異なる場合は、信号機の表示に従ってください。
- 車両を運転する際は、信号情報案内を過信せず、常に道路標識、前方の信号表示、周囲の道路状況に注意し、交通ルールに基づいて安全な運転を心がけてください。

信号情報案内利用上のご注意

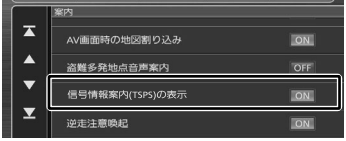
- 光ビーコンは主に一般道に設置されていますが、すべての光ビーコンで信号情報活用運転支援システム(TSPS)の情報を提供しているわけではありません。詳しくは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ（http://www.vics.or.jp/）をご覧ください。
  - 情報を提供している道路であっても、工事や情報配信元の事情により、終日または時間帯によって、情報が提供されない場合があります。
  - 押しボタン式信号、感応式信号など、情報提供区間であっても、情報が提供されない交差点があります。
- 信号情報活用運転支援システム(TSPS)の情報は、光ビーコンを通過した時点でのものです。このため、その後の状況の変化により、信号情報案内と実際の信号機の点灯内容が異なる場合があります。
  - 案内する交差点の手前に押しボタン式信号、感応式信号がある場合、表示するタイミングがずれることがあります。
  - 渋滞など、道路の通行状況が変化した場合、表示するタイミングがずれることがあります。
- 信号情報活用運転支援システム(TSPS)の情報には有効期限があります。このため情報を受信してから一定時間が経過すると、有効期限を過ぎてしまい、次に情報を受信するまで信号情報案内ができなくなります。
- 信号情報活用運転支援システム(TSPS)の概念や整備計画については、VICSセンターにお問い合わせください。
- 本機から光ビーコンへ、走行軌跡の情報がアップリンクされます。この情報は、交通状況を把握するためのもので、個人の情報を特定するものではありません。信号情報案内の表示をOFFに設定するとアップリンクされなくなります。
- 以下の場合は光ビーコンからの信号の受信が困難になることがあります。
  - 通信エリア外
  - 雨や雪の影響がある
  - 大型車両の並走などでビーコン発信器の光が遮られた
  - ビーコンアンテナ付近に光ビーコンを遮るものがある
  - アンテナ受光面が汚れている
  - 直射日光がアンテナ受光面に当たっている

信号情報案内の設定をする

1 【メニュー】 を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする



2 ［信号情報案内（TSPS）の表示］（案内）をタッチする



［ON］：
信号情報案内を行います。
［OFF］：
信号情報案内を行いません。

地図に表示される信号情報案内

本機の現在地図画面で、前方の交差点を直進方向に進行すると想定して、信号情報案内を行います。

- ルート案内中で、右左折を案内する交差点については信号情報案内を行いません。
- 矢印信号については、信号機の点灯状況と異なる案内をする、または案内が動作しない場合があります。
- 信号情報案内が可能になったときに、対象となる交差点までの距離が近い場合は、案内を行わない場合があります。

交差点を通過すると、信号情報案内を終了します。引き続き信号情報案内が可能な交差点がある場合は、案内を続けます。

■支援状態の表示

信号情報活用運転支援システムの情報を光ビーコンから受信すると、画面に「支援エリア」と表示されます。



信号情報案内可能な交差点に近づくと、表示が「支援中」に切り替わります。



信号情報案内する情報が無くなった場合は、「支援中」または「支援エリア」の表示が消えます。

■赤信号減速支援

現在の速度のまま交差点に近づいたときの前方の交差点の信号状態を予測して表示します。

赤信号になるとき

赤信号減速支援案内を表示し、「この先、赤信号です」と音声案内します。
交差点に接近する、または減速すると、表示が消えます。



- 表示を開始するのは、交差点のおよそ200m手前ですが、その間に信号があるときは表示されないことがあります。
- 高速走行時、低速走行時は案内を行わない場合があります。

■発進遅れ防止支援

交差点を赤信号で停車したとき、おおよその信号待ち時間を表示します。



信号待ち時間が5秒以下になると、表示が切り替わり「まもなく青信号です」と音声案内します。交差点が青信号になると、表示が消えます。



- 以下の場合は、発進遅れ防止支援の案内を行いません。
  - 交差点より一定距離以上離れている場合
  - 一度も交差点の前で停車していない場合
  - 停車時点で赤信号の待ち時間が少ない場合
  - 信号機に矢印信号が点灯している場合
  - 信号機の制御方式等により、光ビーコンから送信される信号情報が不確定な場合

バックモニターを使う

使用上のご注意

- バックモニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。
- バックモニター機能は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質またはガイド線を設定するときは、必ず安全で迷惑のかからない場所に停車してから操作してください。
- ガイド線の横幅を駐車線に合わせて設定した場合は、実際に表示されるガイド線は自車の幅ではありません。駐車場のスペースは場所によって異なります。駐車するときは実際の大きさをよくご確認ください。
- 本機で対応しているバックモニター（ディーラーオプション）は、一部の車両にのみ装着されています。
- 説明に使用しているカメラ画面はイメージです。

バックモニターの接続を設定する

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［バックモニター機能］（カメラ）をタッチする



2 ［ON］をタッチする



バックモニターを接続していないときは「OFF」にしておいてください。

バックモニターの映像を表示する

本機に接続したバックモニターの映像を表示します。
カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

バックモニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

- バックモニターは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

注意

- **警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を上に切り替えてください。**

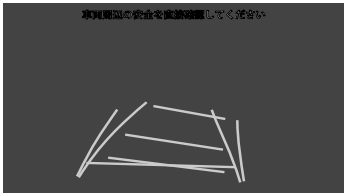
1 シフトレバーを“R”（リバース）にする

▼

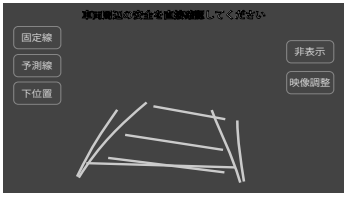
バックモニターの映像が表示されます。
表示されるガイド線の表示は車両によって異なります。

■ステアリング連動に対応している場合

ステアリング連動に対応しているバックモニターの場合は以下の画面が表示されます。



映像をタッチすると、操作ボタンが表示されます。



［固定線］：

固定のガイド線（緑の線）を表示したり消したりします。

［予測線］：

予測（赤と黄の線）のガイド線を表示したり消したりします。

［下位置］/［上位置］：

警告文の位置を変更します。

［映像調整］：

バックモニター映像の画質を調整します。

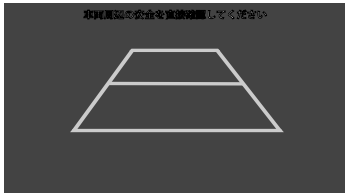
➡「画質を調整する」（P. 91）

［非表示］：

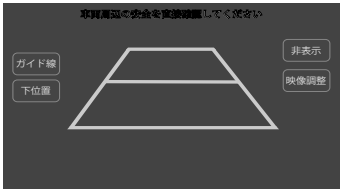
操作ボタンを消します。

■ステアリング連動に対応していない場合

ステアリング連動に対応していないバックモニターの場合は以下の画面が表示されます。



映像をタッチすると、操作ボタンが表示されます。



［非表示］：

操作ボタンを消します。

［ガイド線］：

ガイド線を表示したり消したりします。

［映像調整］：

バックモニター映像の画質を調整します。

➡「画質を調整する」（P. 91）

［上位置］/［下位置］：

警告文の位置表示を変更します。

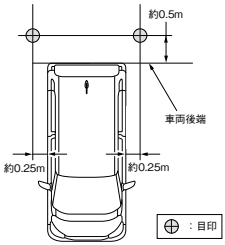
ガイド線を設定する

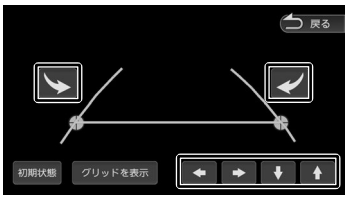
■ステアリング連動に対応している場合

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［バックモニター設定］（カメラ）をタッチする



2 左右車幅最大のフェンダー位置プラス両側0.25mと車両後端から0.5mが交差する2点を目印に◀/▶/▼/▲をタッチしてガイド線を調整し、↘/↙をタッチしてガイド線を回す



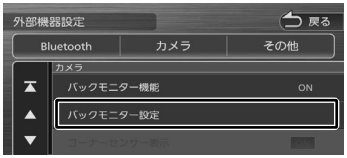


［初期状態］：
ガイド線の位置を初期状態に戻します。

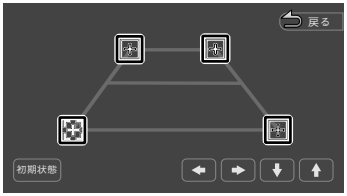
［グリッドを表示］：
画面にグリッド（格子状の線）を表示したり消したりします。

■ステアリング連動に対応していない場合

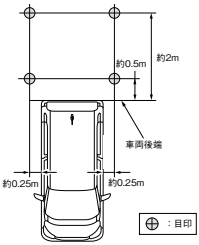
1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［バックモニター設定］（カメラ）をタッチする

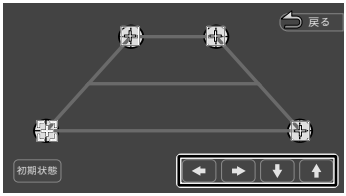


2 調整するカーソル（⊕）をタッチする



3 左右車幅最大のフェンダー位置プラス両側0.25mと車両後端から0.5m、2mが交差する4点を目印に◀/▶/▼/▲をタッチしてカーソルを合わせる





［初期状態］：
ガイド線の位置を初期状態に戻します。

・ 走行中は、ガイド線調整はできません。

障害物検知表示（一部の車両にのみ装着）

車両を後退させるときに、進行方向の約６０cm以内に車両のコーナーセンサーが障害物を検知すると、本機の画面に、障害物の方向と距離をイラストと色で表示します。また車両からはブザー音でお知らせします。

障害物までの距離	アイコンの色	車両からのブザー音
約60～45cm	緑	ピッピッピッ・・・・
約45～30cm	黄	ピピピピピピ・・・・
約30cm未満	赤	ピーーーーーーーー

- コーナーセンサーのアイコンは、表示しないように設定することができます。➡「コーナーセンサー表示」(P. 156)

3モードカメラを使う

使用上のご注意

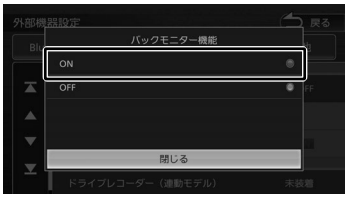
- 3モードカメラ画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。
- 3モードカメラ機能は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質またはガイド線を設定するときは、必ず安全で迷惑のかからない場所に停車してから操作してください。
- ガイド線の横幅を駐車線に合わせて設定した場合は、実際に表示されるガイド線は自車の幅ではありません。駐車場のスペースは場所によって異なります。駐車するときは実際の大きさをよくご確認ください。
- 本機で対応している3モードカメラ（ディーラーオプション）は、一部の車両にのみ装着されています。
- 説明に使用しているカメラ画面はイメージです。

3モードカメラの接続を設定する

1　【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［バックモニター機能］（カメラ）をタッチする



2　［ON］をタッチする



3モードカメラを接続していないときは「OFF」にしておいてください。

3モードカメラの映像を表示する

本機に接続した3モードカメラの映像を表示します。
カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

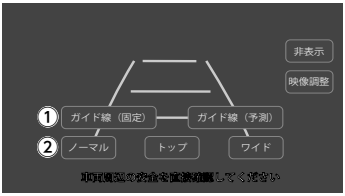
3モードカメラ画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

- 3モードカメラは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

1　シフトレバーを“R”（リバース）にする



3モードカメラの映像が表示されます。
映像をタッチすると、操作ボタンが表示されます。



［非表示］：
操作ボタンを消します。

［映像調整］：

3モードカメラ映像の画質を調整します。

➡「画質を調整する」（P. 91）

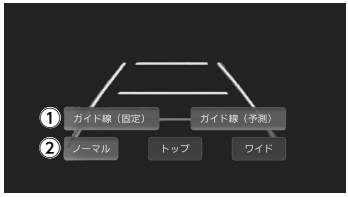
①、②については「ガイド線を設定する」（P. 189）をご覧ください。

ガイド線を設定する

1　【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［バックモニター設定］（カメラ）をタッチする



2　表示方法を設定する



①ガイド線の表示/非表示を設定する

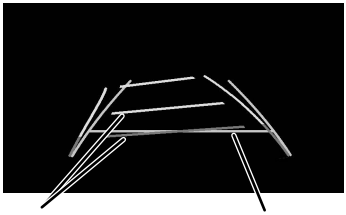
［ガイド線（固定）］：

ガイド線(固定)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

［ガイド線（予測）］：

ガイド線(予測)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

ガイド線（予測）は、ハンドル操作に連動した車の進行軌跡を示します。



ガイド線(予測) 赤/黄　ガイド線(固定) 緑

②表示方法（ビュー）を設定する

［ノーマル］［トップ］［ワイド］：

画面の表示方法を切り替えます。

［戻る］：

設定を終了して、外部機器設定メニューに戻ります。

・ 走行中は、ガイド線調整はできません。

障害物検知表示（一部の車両にのみ装着）

車両を後退させるときに、進行方向の約６０cm以内に車両のコーナーセンサーが障害物を検知すると、本機の画面に、障害物の方向と距離をイラストと色で表示します。また車両からはブザー音でお知らせします。

障害物までの距離	アイコンの色	車両からのブザー音
約60～45cm	緑	ピッピッピッ・・・・
約45～30cm	黄	ピピピピピピ・・・・
約30cm未満	赤	ピーーーーーーーー

- コーナーセンサーのアイコンは、表示しないように設定することができます。➡「コーナーセンサー表示」（P. 156）

パノラミックビューモニターを使う

使用上のご注意

- パノラミックビューモニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。
- パノラミックビューモニター機能は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質またはガイド線を設定するときは、必ず安全で迷惑のかからない場所に停車してから操作してください。
- ガイド線の横幅を駐車線に合わせて設定した場合は、実際に表示されるガイド線は自車の幅ではありません。駐車場のスペースは場所によって異なります。駐車するときは実際の大きさをよくご確認ください。
- 本機で対応しているパノラミックビューモニター（メーカー装着オプション）は、一部の車両にのみ装着されています。
- 説明に使用しているカメラ画面はイメージです。

パノラミックビューモニターの接続を設定する

1 【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［バックモニター機能］（カメラ）をタッチする



2 ［ON］をタッチする



パノラミックビューモニターを接続していないときは「OFF」にしておいてください。

パノラミックビューモニターの映像を表示する

本機に接続したパノラミックビューモニターの映像を表示します。
カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

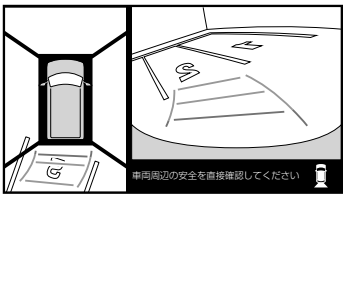
パノラミックビューモニターの種類によっては操作が異なります。その場合は車両の取扱書をご覧ください。

パノラミックビューモニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

- パノラミックビューモニターは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

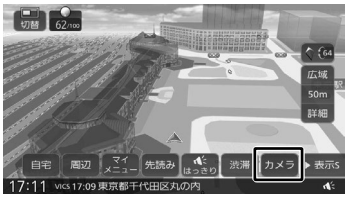
■後方の映像を表示する

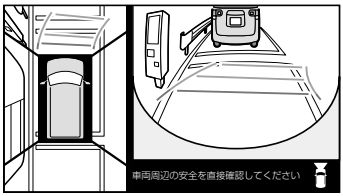
1 シフトレバーを“R”（リバース）にする



■前方の映像を表示する

1　約10km/h以下に減速して、現在地図画面の[カメラ]をタッチする





- 車のシフトレバーを“R”（リバース）にしないと、後方の映像は表示されません。
- 後方の映像を表示中にシフトレバーを“R”（リバース）以外に切り替えると、後方の映像に切り替える前の画面に戻ります。
- 前方の映像（全周囲、ワイド）を表示中に約10km/h以上で走行すると、現在地図に戻ります。
- 前方の映像を表示中に【メニュー】、または【▲/AV】を押すと、メニュー画面または現在地図画面に切り替わります。
- 前方の映像を表示させたまま約3分間何も操作をしないと、切り替える前の画面に戻ります。
- 約10km/h以上で走行中に[カメラ]をタッチすると、サイドの映像に切り替わります。

障害物検知表示（一部の車両にのみ装着）

車両を後退させるときに、進行方向の約６０cm以内に車両のコーナーセンサーが障害物を検知すると、本機の画面に、障害物の方向と距離をイラストと色で表示します。また車両からはブザー音でお知らせします。

障害物までの距離	アイコンの色	車両からのブザー音
約60～45cm	緑	ピッピッピッ・・・・
約45～30cm	黄	ピピピピピピ・・・・
約30cm未満	赤	ピーーーーーーーー

- コーナーセンサーのアイコンは、表示しないように設定することができます。➡「コーナーセンサー表示」(P. 156)

ドライブレコーダーを使う

本機能は別売のナビ対応のドライブレコーダー（連動モデル）（ディーラーオプション）を接続した場合に表示・操作できます。
（車両により対応していない場合があります）

- バックモニター、パノラミックビューモニター、後方録画用HDカメラをドライブレコーダーの後方用カメラとして使用している場合は、後方の映像も録画/撮影されます。
- 車内カメラを使用している場合は、車内の映像も録画/撮影されます。[1]

[1] 接続する機器により使用できる機能です。

ドライブレコーダーの上下の角度や前後の位置を調整するときは、必ず販売店にご依頼ください。不用意に角度を変更すると、破損したり、ブザーが鳴り続ける場合があります。

- 本機のデモ走行機能を使用している間は、録画ファイルに位置情報は保存されません。このため、デモ走行中の録画ファイルを再生した場合は、地図は表示されません。

ドライブレコーダー使用時のお願い

ドライブレコーダーについて

- 必ずドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードを挿入してご使用ください。
  - ドライブレコーダーに付属のmicroSDHCメモリーカード、またはドライブレコーダーで使用できるmicroSDメモリーカードをご使用ください。➡「ドライブレコーダーで使用できるmicroSDメモリーカード」（P. 194）
  - microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機の「ドライブレコーダー設定」の「SD カード初期化」で初期化してください。➡「SDカード初期化」（P. 200）
- 車のエンジンをかけた直後、EVシステムを起動した直後、またはACC ON直後や、エンジンを切った直後、EVシステムを停止した直後、またはACC OFF直後は、ドライブレコーダーが動作しない場合がありますが、しばらく経つと動作を開始します。
- 推奨動作温度（−10℃～+60℃）の範囲外で使用すると、映像が黄色く表示されるなど、正常に動作しなかったり、録画を停止する場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- LED式信号機などを録画すると、点滅して表示されたり、色の識別ができない場合があります。
- 全ての状況において映像の品質や記録を保証するものではありません。
- 録画した映像は、事故などの証拠としての効力を保証するものではありません。
- microSDメモリーカードを挿入した状態で、ドライブレコーダーを譲渡または処分するときは、プライバシー保護のため記録データを消去してください。➡「SDカード初期化」（P. 200）

電源について

- 「駐車録画」（P. 199）が「ON」に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを切った状態/EVシステムを停止した状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。
  また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で使用する以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- ドライブレコーダーを利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様がドライブレコーダーを利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- ドライブレコーダーの使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化/消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドライブレコーダーの駐車録画機能を使用したことによる、車のバッテリー上がりについては、補償できません。
- 次の場合、補償はできません。
  - 誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことによりドライブレコーダーが正常に動作しなくなった場合
  - 誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどにmicroSDメモリーカードに記録されていたデータが変化・消失した場合

ドライブレコーダーで使用できるmicroSDメモリーカード

- microSDXCメモリーカード（Class10以上・128GB以下）[1] [2]
- microSDHCメモリーカード（Class10以上・8GB～32GB以下）[1] [3]

[1] SD規格準拠カードのみ使用できます。

[2] 容量が256GB以上のmicroSDXCメモリーカードは使用できません。

[3] 容量が4GB以下のmicroSDメモリーカードは使用できません。

ドライブレコーダーに付属またはmicroSDメモリーカード（ディーラーオプション）を使用することをおすすめします。

- microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機の「ドライブレコーダー設定」の「SD カード初期化」で初期化してください。➡「SDカード初期化」（P. 200）
- 「SDカード初期化」（P. 200）以外の方法で初期化（フォーマット）しないでください。
- ドライブレコーダーで使用しているmicroSDメモリーカードをパソコンなどで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。
- 規格に準拠したmicroSDメモリーカードでも、ドライブレコーダーでは使用できない場合があります。

microSDメモリーカードの取り扱いについて

- データの読み書き（録画や再生、初期化など）をしているときに、microSDメモリーカードをドライブレコーダーから取り出さないでください。
- microSDメモリーカードの初期化中に車のエンジンを切る/EVシステムを停止しないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、microSDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 市販のmicroSDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- microSDメモリーカードの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- microSDメモリーカードにシールやラベルを貼り付けないでください。
- microSDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。特にドライブレコーダーでの使用は、不良セクタ[1]などが発生しやすく、平均寿命より短くなる場合があります。本機の起動時などに、microSDメモリーカードの初期化や交換を促すメッセージが表示されたら、メッセージに従って初期化またはmicroSDメモリーカード（ディーラーオプション）に交換することをおすすめします。

[1] 長期間の使用でメモリーが損傷し、データを保存できなくなった領域

記録データが保存される階層について

ドライブレコーダーで録画された動画および撮影された静止画は、microSDメモリーカードに下記の階層で保存されます。

- microSDメモリーカード（ルートフォルダ）　フォルダ
  - DCIM　常時録画/監視録画[1]
  - MANUAL　手動録画
  - USERSAVE　保存
  - PHOTO　静止画
  - GEVENT　急加速/急減速/駐車録画/後方検知録画[1]

[1] 接続する機器により使用できる機能です。

- microSDメモリーカード内のフォルダ、ファイルの名称は、変更しないでください。

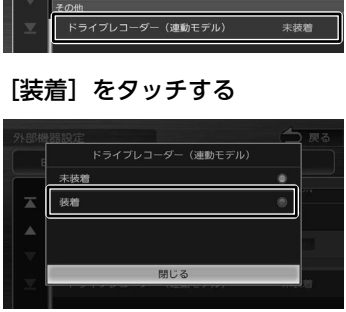
ドライブレコーダーの接続設定をする

通常は、この操作は必要ありません。販売店が行う確認です。

1　【メニュー】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［ドライブレコーダー（連動モデル）］（その他）をタッチする



2　［装着］をタッチする



メッセージが表示されます。

3　本機の電源をオフにして10 秒経過後に電源をオンにする

設定が変更されます。

カメラの映像を確認する

通常は、この操作は必要ありません。販売店が行う確認です。

1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする



2 映像が正しく映し出されていることを確認する



映像が正しく表示されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

バックモニター、パノラミックビューモニター、後方録画用HDカメラ、車内カメラ [1] をドライブレコーダーのカメラとして使用している場合は、［切替］をタッチするたびに、前方/後方/車内 [1] のカメラ映像に切り替わります。

フロントカメラ



リアカメラ ↓



車内カメラ [1] ↓



[1] 接続する機器により使用できる機能です。

ドライブレコーダー映像画面の操作

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。



［切替］：

タッチするたびに、前方（フロントカメラ）/後方（リアカメラ）[1] /車内[1] [2] に切り替わります。

［設定］：

ドライブレコーダー設定画面を表示します。➡「ドライブレコーダーの設定をする」（P. 199）

［リスト］：

録画ファイルリストを表示します。➡「動画・静止画を再生する」（P. 203）

［録画］/［停止］：

手動録画を開始/停止します。➡「手動で動画を録画する」（P. 202）

［静止画］：

静止画を撮影します。➡「手動で静止画を撮影する」（P. 203）

［映像調整］：

ドライブレコーダー映像の画質を調整します。➡「画質を調整する」（P. 91）

［非表示］：

操作ボタンを消します。

［戻る］：

メニュー画面に戻ります。

- ［切替］をタッチできないときは、「リアカメラ録画」または「車内カメラ録画」[2] の設定を確認してください。➡「リアカメラ録画」（P. 200）
- お買い上げ時のドライブレコーダー映像調整の設定は以下のとおりです。
  コントラスト：0
  ブライトネス：＋4
  色の濃さ：－4
  色合い：＋1

[1] 後方（リアカメラ）または車内カメラが接続されている場合に表示されます。

[2] 接続する機器により使用できる機能です。

加速度センサーを最適化する

走行中、急加速/急減速をお知らせするブザーが頻繁に鳴ったり、ブザーが鳴り続ける（ピピピ…短く8回）場合は、加速度センサーの最適化を正しく行ってください。
最適化されないまま使用すると、加速度センサーが正しく動作せず、急加速/急減速の録画や駐車録画が正しく行われないおそれがあります。
※必ずドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードが入っている状態で行ってください。

1 平坦な場所に停車する

2 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする



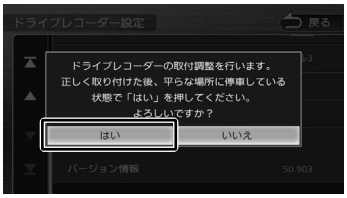
3 ［設定］をタッチする



4 ［取付調整］をタッチする

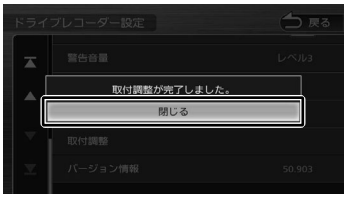


5 ［はい］をタッチする



最適化を開始します。
最適化を完了して、メッセージが表示されるまで、車のエンジンを切らない、EVシステムを停止しない、またはACC OFFにしないでください。

6 ［閉じる］をタッチする



7 ドライブレコーダーの画面を表示させ、ドライブレコーダーが録画中であるマークが表示されていることを確認する



ドライブレコーダーの設定をする

1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする



2 ［設定］をタッチする



3 各項目を設定する



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
録画画質	高画質*/標準	録画するファイルの画質を設定します。
音声録音	ON*/OFF	録画中、音声を録音するかどうかを設定します。
急加速/急減速の感度	レベル 1/2/3*/4/5	急加速/急減速の測定感度を調整します。 1（低感度）～3～5（高感度）
急加速/急減速の感知音	ON*/OFF	急加速/急減速が記録された際に、感知音を出力するかどうかを設定します。
駐車録画	ON/OFF*	駐車中に振動を検知すると、自動で録画するかどうかを設定します。
駐車録画のお知らせ	ON/OFF*	ACC ON後に駐車中に録画があったことを、メッセージ表示でお知らせするかどうかを設定します。
駐車録画の感度	レベル 1/2/3*/4/5	振動を検知する感度を調整します。 1（低感度）～3～5（高感度）
駐車録画の時間	10秒/30秒*/1分	駐車録画の記録時間を設定します。
駐車録画の無効時間	1分*/3分/5分	ACC OFF 後、駐車録画モードになるまでの時間を設定します。 • 駐車録画モードになるまでは、振動を検知しても録画は開始されません。
起動音	ON*/OFF	ドライブレコーダーの電源が入った際に起動音を出力するかどうかを設定します。
警告音量	レベル 1/2/3*/4/5	ドライブレコーダーの音量を設定します。

項目	設定	説明
SDカード初期化	ドライブレコーダーで使用しているmicroSDメモリーカードを初期化し、おおよその寿命などの管理ができる状態にします。(microSDメモリーカード内のすべてのファイルが削除されます。) • microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときや、microSDメモリーカードを交換したときなどに行ってください。 • ドライブレコーダーに付属のmicroSDメモリーカードを初期化すると、収録されているパソコンアプリ「PCビューアー」のインストーラーも削除されます。	
設定初期化 [1]	ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻します。(録画・撮影された記録ファイルは削除されません。)	
取付調整	ドライブレコーダーの加速度センサーを最適化します。➡「加速度センサーを最適化する」(P. 198)	
リアカメラ録画	通常は、この操作は必要ありません。 販売店が行います。 リアカメラが接続されている場合は[ON]に設定されています。	
車内カメラ録画 [2]	通常は、この操作は必要ありません。 販売店が行います。 車内カメラが接続されている場合は[ON]に設定されています。	
監視録画 [2]	ON/OFF*	ACC OFF後設定した時間、録画を行うかどうかを設定します。
監視録画時間 [2]	30分/60分*/90分	ACC OFF後、監視録画を行う時間を設定します。
後方検知 [2]	ON/OFF*	後方車両の接近を検知するかどうかを設定します。
後方検知のお知らせ [2]	ON/OFF*	後方車両の接近を検知したときにメッセージを表示するかどうかを設定します。
後方検知速度 [2]	40km/h 60km/h* 80km/h	後方車両の接近を検知する速度を設定します。
後方検知距離 [2]	レベル 1/2/3*/ 4/5	後方車両の接近を検知する接近距離を設定します。 1(近い)～3～5(遠い)
バージョン情報	ソフトウェアのバージョンを表示します。	

*：お買い上げ時の設定です。

[1] 「設定初期化」を行うと、本機の電源をオフにして、10秒後に本機の電源をオンにする必要があります。電源オフオンを行わないと、本機の操作ができません。安全な場所に停車してから操作してください。

[2] 接続する機器により使用できる機能です。



• 本機の設定を初期化すると、「リアカメラ録画」と「車内カメラ録画」の設定は[OFF]になります。リアカメラがある場合は「リアカメラ録画」を[ON]に、また車内カメラがある場合は「車内カメラ録画」を[ON]に設定しなおしてください。

常時録画（動画）

ドライブレコーダーの電源が入ると、自動的に録画を開始し、1分ごとに記録ファイルをmicroSDメモリーカードへ保存します。
常時録画を開始すると、ドライブレコーダーのLEDランプが緑色に点灯します。
microSDメモリーカードの容量がなくなると、常時録画ファイルが古い順に自動削除され、繰り返し保存し続けます。

- 手動録画した記録ファイル、保存フォルダに移動した記録ファイルは、自動削除されません。
  ➡「手動で動画を録画する」（P. 202）
  ➡「ファイルを保存フォルダへ移動する」（P. 206）
- 常時録画で記録された、急加速/急減速/駐車録画/後方検知 [1] 情報のあるファイルは、通常は自動削除されません。ただし、microSDメモリーカードの空き容量がない状態で、新たに急加速/急減速/駐車録画/後方検知 [1] 情報のある動画を記録した場合は、古い情報のあるファイルが自動削除される場合があります。
- 残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。➡「ファイルを保存フォルダへ移動する」（P. 206）

[1] 接続する機器により使用できる機能です。

・ 常時録画中または手動録画中は、本機の画面に以下のマークが表示されます。録画停止中は、マークは表示されません。



監視録画（動画）

ACC OFF後、監視録画 [1] を開始します。
microSDメモリーカードの容量がなくなるとファイルが古い順に自動削除され、繰り返し保存し続けます。

- 「監視録画」を[ON]に設定してください。
  ➡「監視録画」（P. 200）
- 「監視録画時間」は設定することができます。
  ➡「監視録画時間」（P. 200）
- 残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。➡「ファイルを保存フォルダへ移動する」（P. 206）

[1] 接続する機器により使用できる機能です。

駐車録画（動画）

駐車中（ACC OFF中）に車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を検知すると、自動で録画を開始します。

- 「駐車録画」を「ON」に設定してください。
  ➡「駐車録画」（P. 199）
- 駐車録画は、バックモニター、パノラミックビューモニターをドライブレコーダーの後方用カメラとして使用している場合でも、後方の映像は録画されません。

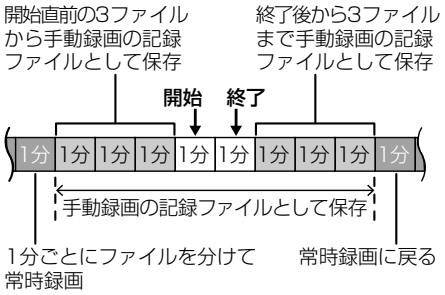
■駐車中に駐車録画があったときは

「駐車録画のお知らせ」（P. 199）が「ON」に設定されている場合は、車のエンジンをかける、EVシステムを起動する、またはACC ONにすると、「駐車中にドライブレコーダーの録画を行いました。録画映像を確認してください。」と表示されます。

- 「駐車録画の無効時間」（P. 199）が短い場合、車のエンジンを切ってから、EVシステムを停止してから、またはACC OFFしてから降車、荷物の出し入れなどを行うと、振動を検知して録画が開始される場合があります。そのときは、「駐車録画の無効時間」を長めに設定してください。（「駐車録画の無効時間」の間は、振動を検知しても録画を開始しません。）
- 「駐車録画」（P. 199）が「ON」に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを切る/EVシステムを停止した状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。
  また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。

手動で動画を録画する

手動で動画を録画すると、常時録画で保存されている記録ファイルが手動録画の記録ファイルに置き替わります。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。



1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする



2 ［録画］をタッチする



動画の録画を開始します。
2分後に手動録画を停止します。

■手動で録画を終了させるには

1 ［停止］をタッチする



動画の録画を終了します。

手動で静止画を撮影する

1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする



2 ［静止画］をタッチする



タッチした瞬間の静止画が撮影されます。

動画・静止画を再生する

走行中は再生できません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする



2 ［リスト］をタッチする



3 再生したいフォルダをタッチする



4 再生したいファイルをタッチする



：急加速/急減速録画ファイル
：手動録画ファイル
：駐車録画ファイル
：後方検知ファイル [1]
：監視録画ファイル [1]

選んだファイルの再生を開始します。

[1] 接続する機器により使用できる機能です。

動画再生画面の見かたと操作

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。



①録画したカメラの種類（フロントカメラ/リアカメラ/車内カメラ [1]）

②録画日時

③録画位置情報

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[切替]	タッチするたびに、フロントカメラ、リアカメラ、車内カメラ [1] の録画ファイルを切り替えます。 フロントカメラ  リアカメラ [2] ↓  車内カメラ [1][3] ↓ 
[地図表示]	地図表示モードで再生します。➡「地図表示モードで再生する」（P. 206）
▶/II	再生または一時停止します。
I◀◀/▶▶I	前のファイルを再生/次のファイルを再生します。タッチし続けると、早戻し/早送りします。
[削除]	再生中のファイルを削除します。➡「ファイルを削除する」（P. 207）
[映像調整]	映像の画質を調整します。➡「画質を調整する」（P. 91）
[非表示]	操作ボタンや表示を消します。
[戻る]	録画ファイルリスト画面に戻ります。

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。
画面右上の［非表示］でも消すことができます。

[1] 接続する機器により使用できる機能です。

[2] リアカメラが接続されている場合に切り替えることができます。

[3] 車内カメラが接続されている場合に切り替えることができます。

静止画表示画面の見かたと操作

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

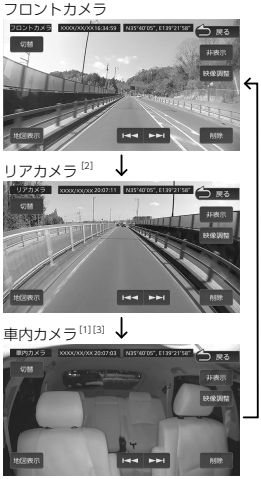


① 記録したカメラの種類（フロントカメラ/リアカメラ/車内カメラ [1]）

② 記録日時

③ 記録位置情報

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[切替]	タッチするたびに、フロントカメラ、リアカメラ、車内カメラ [1] の静止画ファイルを切り替えます。 フロントカメラ  リアカメラ [2] ↓ 車内カメラ [1][3] ↓
[地図表示]	地図表示モードで再生します。➡「地図表示モードで再生する」（P. 206）
[◀◀]/[▶▶]	前のファイルを表示/次のファイルを表示します。
[削除]	表示中のファイルを削除します。➡「ファイルを削除する」（P. 207）
[映像調整]	映像の画質を調整します。➡「画質を調整する」（P. 91）
[非表示]	操作ボタンや表示を消します。
[戻る]	録画ファイルリスト画面に戻ります。

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。
画面右上の［非表示］でも消すことができます。

[1] 接続する機器により使用できる機能です。

[2] リアカメラが接続されている場合に切り替えることができます。

[3] 車内カメラが接続されている場合に切り替えることができます。

地図表示モードで再生する

再生中の録画ファイルの位置を地図で表示し、小画面で録画ファイルを再生します。
静止画も撮影した位置を地図で表示し、小画面に静止画を表示します。

1 ［地図表示］をタッチする



地図表示モードに切り替わります。



- 地図表示モードでは、地図の向きの変更、スクロール、映像調整はできません。
- 位置情報がないファイルを再生すると、［地図表示］はタッチできず、地図表示モードに切り替わりません。

■録画ファイル再生画面に戻す

1 ドライブレコーダー映像表示部分をタッチする



録画ファイル再生画面に戻ります。

ファイルを保存フォルダへ移動する

保存フォルダに移動されたファイルは、自動削除されません。
残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。

1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする



2 ［リスト］をタッチする



3 ［動画フォルダ］をタッチする



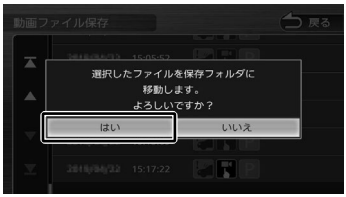
4 ［保存］をタッチする



5 移動させたいファイルをタッチする



6 [はい]をタッチする



選んだファイルが保存フォルダへ移動されます。

➡「記録データが保存される階層について」(P. 195)

ファイルを削除する

- ファイルを削除すると、選択したファイルのフロント、リア、および車内 [1] の動画または静止画が全て削除されます。フロント、リア、または車内 [1] のファイルを選んで削除することはできません。

[1] 接続する機器により使用できる機能です。

■再生中/表示中のファイルを削除する

1 録画ファイルリストから削除したいファイルをタッチする

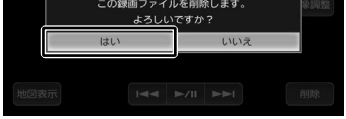
➡「動画・静止画を再生する」(P. 203)



2 [削除] をタッチする



3 [はい] をタッチする



選んだファイルが削除されます。

■フォルダ内のファイルを全て削除する

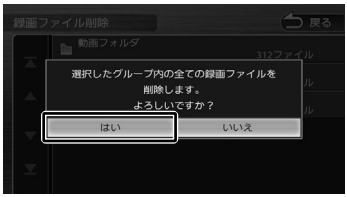
1 録画ファイルリストを表示させ、［削除］をタッチする
➡「動画・静止画を再生する」(P. 203)



2 削除したいフォルダをタッチする



3 ［はい］をタッチする



選んだフォルダ内の全てのファイルが削除されます。

後方検知を設定する

走行中の後方車両の接近をドライブレコーダーのリアカメラで検知します。後方車両の接近を検知した場合は、後方検知情報のあるファイルとして保存されます。また、接近をお知らせするメッセージを表示することもできます。➡「後方検知」(P. 200)

- 接続する機器により使用できる機能です。
- 後方検知情報のあるファイルは、通常は自動削除されません。ただし、microSDメモリーカードの空き容量がない状態で、新たに後方検知情報のある動画を記録した場合は、古い後方検知情報のあるファイルが自動削除される場合があります。
- 逆光、雨天、車の色が識別困難なときなど、条件によっては正しく動作しない場合があります。

1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする



2 ［設定］をタッチする



3 ［後方検知］をタッチして［ON］にする

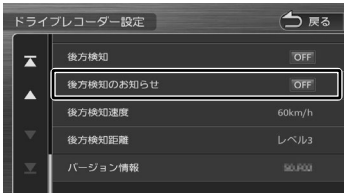


[ON] ：
後方車両の接近を検知します
[OFF] ：
後方車両の接近を検知しません。

後方検知のお知らせを設定する

後方車両の接近を検知したときにメッセージを表示するかしないかを設定します。

1 ［後方検知のお知らせ］をタッチする

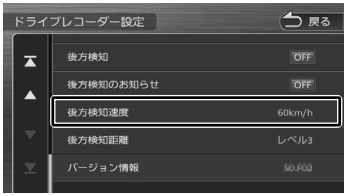


[ON] ：
メッセージを表示します。
[OFF] ：
メッセージを表示しません。

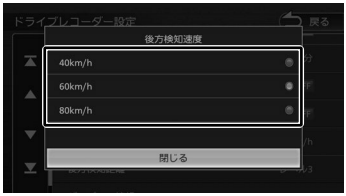
後方検知速度を設定する

後方検知を開始する速度を設定します。お買い上げ時は60km/hに設定されています。

1 ［後方検知速度］をタッチする



2 設定する速度をタッチする



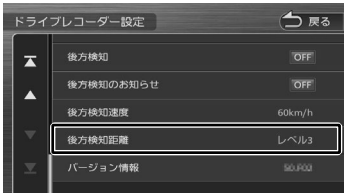
[40km/h] ：
40km以上で走行時に、後方検知をします。
[60km/h] ：
60km以上で走行時に、後方検知をします。
[80km/h] ：
80km以上で走行時に、後方検知をします。

・ 設定した速度はあくまで目安です。

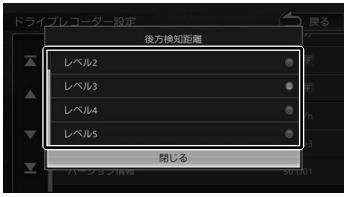
後方検知距離を設定する

後方検知が動作する距離を設定します。お買い上げ時は［レベル3］に設定されています。

1 ［後方検知距離］をタッチする



2 後方検知を開始する距離を設定する



［レベル1］（近い）、［レベル2］（やや近い）、［レベル3］（標準）、［レベル4］（やや遠い）、［レベル5］（遠い）のいずれかに設定します。

後席モニターを使う

本機に別売の後席モニター（ディーラーオプション） を接続すると、本機の映像を後席モニター に表示することができます。（一部の車両にのみ装着）

後席モニターに表示できる映像について

ソース
DISC：DVD-Video/DVD-VR
USB：ビデオファイル
SD：ビデオファイル
地デジ

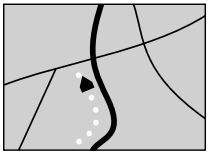
- 本機で再生できるビデオファイルについては、 「本機で再生できるオーディオ/ビデオ フォーマット」 (P. 225) をご覧ください。
- 映像ソースを切替えた瞬間、後席モニター の映像が乱れることがありますが、故障ではありません。

MEMO

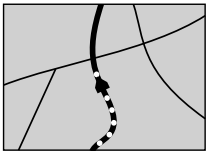
自車位置の測位精度について

■マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。
GPSや自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチング
していない場合



マップマッチング
している場合

本機は、GPSと自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

■準天頂衛星「みちびき」について

本機は準天頂衛星「みちびき」の受信に対応しています。
従来のGPS衛星からの信号に加え、「みちびき」からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。

■内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

■自律航法とは

車速パルスと内蔵の6軸センサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向を6軸センサーで検出して、GPSで測位できない状況でも現在地を割り出します。

■6軸センサーについて

本機には6軸センサー(3軸ジャイロセンサー+3軸加速度センサー)を内蔵しています。
上下/左右/回転方向のセンサーが独立しているため、互いの影響を受けずに精度の高い角速度/加速度の測定が可能です。

■高測3Dジャイロについて

内蔵の6軸センサーによって、自車の傾斜や高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。
高さ情報があるのは、高速道路/国道/県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

■誤差について

本機は、GPSと自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしています。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

GPS測位不能によって生じる誤差について

1. 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。
   - トンネルの中やビル内の駐車場
   - 2層構造の高速道路の下
   - 高層ビルなどの間
   - 密集した樹木の間
2. GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなるため、GPSによる測位ができないことがあります。
3. 3基以下のGPS衛星の電波しか受信できない場合は、GPSによる測位はできません。

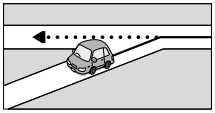
GPS衛星自体の原因により生じる誤差について

1. 電波を受信しているGPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
2. GPS衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

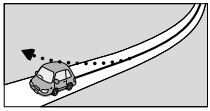
■その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

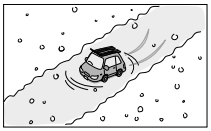
角度の小さいY字路を走行した場合



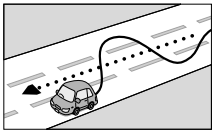
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



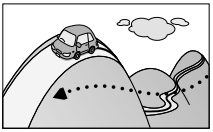
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



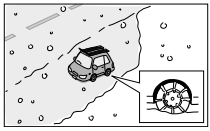
蛇行運転をした場合



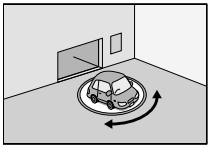
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



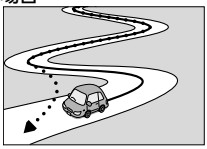
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



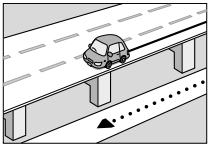
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



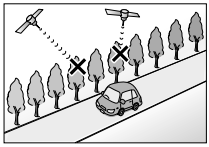
ヘアピンカーブが続いた場合



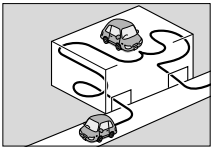
高速道路と側道などが隣接している場合



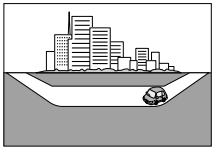
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



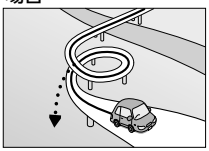
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合



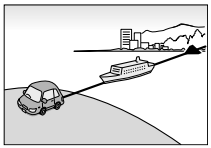
ループ橋などを走行した場合



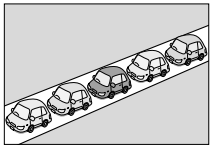
地図データにはない、新設道路を走行した場合



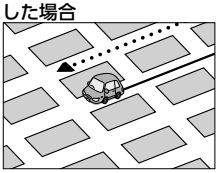
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



碁盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかける/EVシステムを起動してすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

■低速時の測位精度について

車種によっては、時速数km程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

■地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		料金所		図書館		裁判所
	都道府県庁舎		マリーナ		テーマパーク		灯台
	市特別区庁舎		史跡名勝		城・天守閣		ホール
	町村指定都市区庁舎		城跡		温泉		スマートIC
	官庁公共施設		神社		山頂		その他の目的物
	警察		寺院		自衛隊		NTT
	消防		教会		墓地		サーキット
	学校		海水浴場		ボウリング場		テニスコート
	郵便局		ゴルフ場		サッカー		ディスカウントストア
	病院		スキー		競馬場ウィンズ		ビルアパート名称
	デパート/ スーパー		キャンプ		大学		道の駅
	カー用品店		遊園地		短大		ヘリポート
	IC		動物園		高専		乗馬
	SA		公園		高校		体育館
	PA		ホテル		中学校		牧場
	パーキング		スポーツ施設		小学校		自動車学校
	工場		植物園		養護・盲・ろう学校		トンネル
	飛行場		美術館		保健所		船着場（観光船等）
	フェリー		博物館		税務署		野球場
	港		水族館		発電所		展望台

・ 表示される記号またはマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

● サービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）などハイウェイモードのときに表示されるマークです。

記号	名称
IC	IC
スマートIC	スマートIC
SA	SA
PA	PA
JCT	JCT
IC JCT	IC/JCT（併設）
IC SA	IC/SA（併設）
IC PA	IC/PA（併設）
SA JCT	SA/JCT（併設）
PA JCT	PA/JCT（併設）
¥	料金所

● サービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）の設備は、以下のマークになります。

記号	名称
スマートIC	スマートIC
	ガソリンスタンド
	レストラン
	スナック
	ショッピング
オアシス	ハイウェイオアシス
	インフォメーション
	休憩所
	ハイウェイ情報ターミナル
	ベビーコーナー
	ドッグラン
WC	障害者用トイレ
¥	ATM
	トイレ

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。

地図データベースについて

本製品の地図の作成にあたって使用しているデータベースの詳細については、https://www.kenwood.com/jp/car/oem/dop/subaru/から、お使いのカーナビのモデル名を選んでご確認ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社JVCケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。
使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第1条（総則）
ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第３条第１項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第2条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否とに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。

4. 使用者は、許諾ソフトウェアをスタートガイド、取扱書、またはヘルプファイル等に記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定PCへのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第3条（許諾条件）
1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）
1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）
ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
（1）本契約に定める条項に違反したとき
（2）差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）
1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）
1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法(アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます)に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

■ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社JVCケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社JVCケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public LicenseまたはLesser General Public License （以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。
当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧頂くようお願い致します。
ホームページアドレス
https://www.kenwood.com/gpl/j.html

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社JVCケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示または黙示であるかを問わず一切ありません。
適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社JVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。
掲載場所は［情報・設定］−[システム]−［特別］の［オープンソースライセンス］です。

VICSについて

■VICSサービスの問い合わせ

VICSサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関することはお買い上げの販売会社へお問い合わせください。
- VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。（ただし、地図表示の表示内容は除く）
  <問い合わせ先>
  VICS センター
  - 電話番号
    0570-00-8831
    *：全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
    *：PHS、IP電話等からはご利用できません。
  - 電話受付時間
    9:30 ～ 17:45
    （但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
  - FAX受付時間　24時間
  - FAX番号（全国）03-3562-1719
- VICSの最新情報について
  VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。
  インターネットURL http://www.vics.or.jp/

■VICSリンクの更新について

VICSセンターでは、レベル3の情報の収集と提供に、VICSリンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICSリンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。
この結果、新しいVICSリンクによる情報の提供が行われると、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

- VICSリンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

■VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）

第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1)　VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2)　VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3)　加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4)　VICSデスクランブラー
ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）

第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

(1)　文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2)　簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3)　地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

（契約の単位）

第6条　当センターは、 VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第8条　VICSサービスは、VICS対応ＦＭ受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）

第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応ＦＭ受信機を購入することにより、 第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1)　加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2)　加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条　1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、 VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、 本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2. 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、 当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

（料金の支払い義務）

第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、 契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

（当センターの保守管理責任）

第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条　1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、 VICSサービスの利用を中止することがあります。

2. 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、 あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条　1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が 不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、 VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2. VICSサービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、 本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、 本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］
視聴料金 330円（税込み）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)の技術が用いられています。

メディアおよびファイルについて

■ご使用上の注意事項

- USB機器やSDカードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。
- 本機で再生するオーディオ/ビデオ ファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

■本機で再生できるディスクメディア

- ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVDビデオ	○	−
	DVDオーディオ	×	−
	DVD-R	○	VRモード対応（DVD-R/RWのみ） CPRM対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL（2層）	○	
	DVD-R DL（2層）	○	
	DVD-RAM	×	−
CD	音楽CD	○	
	CD-ROM	○	−
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	−
	ビデオCD、スーパービデオCD	×	−
	フォトCD	×	−
	HDCD	△	通常の音楽CDの音質
	CCCD	×	−
その他	8cmディスク	×	−
	デュアルディスク	×	−
	スーパーオーディオCD	△	CD層のみ再生可能

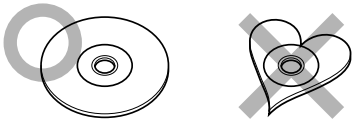
○：再生できます
△：一部のみ再生できます
×：再生できません

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/Joliet/UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。



- 記録面（レーベル面の反対側）に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因となります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWおよびDVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因となることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障したりすることがあります。
- 8cmディスク、8cmディスクアダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となります。

■ディスク使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因となったりします。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。

DVDのリージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。
DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

- DVDディスクのマーク

記号	内容
ALL	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
8	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
32	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
9	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
16:9 LB	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。


禁止マーク

■本機で再生できるSDカード

規格	SD/SDHC/SDXC [1]
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT [2]

[1] MMC(MultimediaCard)には対応していません。

[2] この他のファイルシステム(NTFS等)には対応していません。

- SDスピードクラスはClass10まで対応しています。

■SDカード使用上のご注意

- miniSDカード、microSDカードはSDカードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ずSDカードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用できない場合は、ファイルシステムがFAT16、FAT32、またはexFATであることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機はSD-Audio規格には対応していません。
- すべてのSDカードに対して、動作を保証するものではありません。
- SDカードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。SDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。 保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

■本機で再生できるUSB機器

規格	USB 1.1/USB 2.0 [1]
デバイスクラス	マスストレージクラス (MSC device) [2]
最大消費電流	2.1A以下
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT [3]

[1] USB3.0には対応していません。

[2] 使用するUSBデバイスがUSBマスストレージクラスに対応しているかは、USBデバイスの販売メーカーにお問い合わせください。

[3] この他のファイルシステムには対応していません。

■USB機器使用上のご注意

- 接続したUSBデバイスは運転の支障とならないように設置してください。
- すべてのUSBデバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- セキュリティ機能付きのUSBデバイスは使用できません。
- USB規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USBデバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- 本機で使用できない場合は、ファイルシステムがFAT16、FAT32、NTFS、またはexFATであることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- USBデバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

■本機で再生できるオーディオ/ビデオ フォーマット

コーデック		メディア			
		CD	DVD	USB	SD
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○
	WMV	×	×	○	○
オーディオファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	○	○	○	○
	Vorbis	○	○	○	○

○：再生できます ×：再生できません

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC、HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format(Linear PCMのみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit/ 24bit [1]	16bit	16bit/ 24bit [1]
ビットレート	8k～320kbps,VBR	8k～320kbps	8k～320kbps, VBR	-	-	-
サンプリング周波数	16k～48kHz	16k～48kHz	16k～48kHz	16k～192kHz [2]	16k～48kHz	16k～192kHz [2]
タグ	ID3タグ ver 1.0/1.1/2.2/2,3/2,4（ID3v2の非同期化は非対応）	WMAタグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Commentタグ	Vorbis Commentタグ	RIFF LISTタグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/ Professional /Lossless/ Voiceは非対応	iTunesで作成したAACファイルのみ再生可能 DRM/マルチチャンネルは非対応	圧縮レベル: 0～8 マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応

[1] 16bit相当で再生します。

[2] CDメディアは48kHzまで対応しています。48kHz以上のファイルは、48kHz相当で再生します。

※ タグの文字数は全角80文字まで対応しています。それ以上の文字数では、文字列の後ろ部分が表示されない場合があります。

※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生/表示できない場合があります。

※ 本機で表示できるアルバムアートワーク画像は、画像データのサイズが650KB以下のファイルです。

ビデオファイル

	MPEG-4 Video			H.264/MPEG-4 AVC				WMV	
対応形式	ISO MPEG4			H.264/MPEG-4 AVC				Windows Media Video Ver.9(VC-1)	
ファイルコンテナ	AVI	MP4	MKV	AVI	MP4	FLV	MKV	ASF	MKV
拡張子	.avi	.mp4	.mkv	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.mkv	.wmv	.mkv
プロファイル	アドバンスドシンプルプロファイル			ベースラインプロファイル、メインプロファイル				メインプロファイル	
対応音声コーデック	MP3, AAC		MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	MP3, AAC		MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC		WMA	MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC
最大ピクチャサイズ	1920×1080			1920×1080				1920×1080	
最大フレームレート	30fps			30fps				30fps	
最大ビットレート	8Mbps			8Mbps				8Mbps	

※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生/表示できない場合があります。
※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び/音切れをする可能性があります。

(1) ファイル名とフォルダ名

本機で表示できる文字：

半角英数文字、半角カタカナ、全角文字

文字数制限：

ファイル名　全角80 文字(拡張子は除く)
フォルダ名　全角80 文字
※ ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、文字数が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

使用できない文字：

¥、\、/、:、*、?、"、<、>、|
ファイルには正しく拡張子を付けてください。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

(2) ファイル数とフォルダ数の制限

ディスク：

1フォルダ内の最大ファイル数：999
ディスク内の最大ファイル数：5000

- ディスク内の総フォルダ数が500以上の場合は、ディスク内の一部のファイルを認識できない場合があります。
- フォルダ階層数は ルートを含めて最大8階層となります。

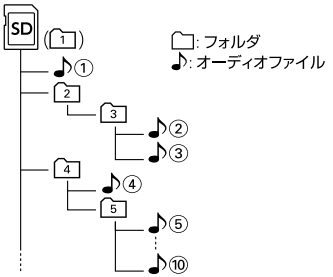
USB機器およびSDカード：

1フォルダ内の最大ファイル数：999
1フォルダ内の最大フォルダ数：9999

- フォルダ階層数は ルートを含めて最大8階層となります。 ただし、制限内でもフォルダ名/ファイル名が最大文字数を超える場合は認識できません。
- デバイス内の最大フォルダ数/最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

(3) 再生する順番について

ファイル名の昇順
ファイル名の頭に“01”～“99”など再生する順番を入力してからSDカードなどに書き込むことで再生する順番を設定できることがあります。
下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



(4) ご使用上の注意事項

ディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。再生するディスクに多くのフォルダ、オーディオ/ビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで時間がかかることがあります。また、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

Bluetoothについて

■Bluetooth対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP（ハンズフリープロファイル）
  ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP（フォンブックアクセスプロファイル）
  電話帳のデータをvCard形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP [1]（高度オーディオ配信プロファイル）
  オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。

[1] SCMS-T対応（SCMS-TとはA2DPに対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。）

- AVRCP（オーディオ/ビデオリモート制御プロファイル）
  オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP（シリアルポートプロファイル）
  Bluetooth機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth標準規格Ver.5.2準拠

- 動作を確認した携帯電話機については下記Webページから、お使いのカーナビのモデル名を選んでご確認ください。
  https://www.kenwood.com/jp/car/oem/dop/subaru/
- Bluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

■対応コーデック

SBC/AAC

iPhoneについて

■本機でコントロールできるiPhoneについて

本機からコントロールできるiPhoneは以下のとおりです。

Made for

- iPhone 15 Pro Max
- iPhone 15 Pro
- iPhone 15 Plus
- iPhone 15
- iPhone 14 Pro Max
- iPhone 14 Pro
- iPhone 14 Plus
- iPhone 14
- iPhone SE (3rd generation)
- iPhone 13 Pro Max
- iPhone 13 Pro
- iPhone 13
- iPhone 13 mini
- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE (2nd generation)
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR

- 音楽再生のみに対応します。
- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	車両のヒューズが切れている。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	電源コードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
画面の中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	画面の温度が低い。	液晶パネルの特性上、画面の温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。 電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。 ➡「画質を調整する」 (P. 91)
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、画面の明るさ、視野角を調整してください。 ➡「画質を調整する」 (P. 91) ➡「サブメニューを使う」 (P. 25) ➡「視野角を調整する」 (P. 32)
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。 ➡「画質を調整する」 (P. 91)
バックモニター 、3モードカメラ 、パノラミックビューモニター に切り替わらない。	バックモニター機能の設定が“OFF”になっている。	バックモニター機能の設定を“ON”にしてください。 ➡「バックモニターの接続を設定する」 (P. 184) ➡「3モードカメラの接続を設定する」 (P. 188) ➡「パノラミックビューモニターの接続を設定する」 (P. 191)
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。➡「サウンドの設定をする」 (P. 142)

症状	考えられる原因	対処方法
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	お買い上げの販売店にご相談ください。
SDカードが認識されない。	SDカードの端子部分が汚れている。	SDカードの端子部分を柔らかい布などできれいに拭いてください。問題が解決しない場合は、他の本機対応SDカードを使用してください。

● ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは500m以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに300か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください。 ➡「登録地点を削除する」（P. 86）
経由地を設定できない。	すでに５か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。 ➡「目的地・経由地を削除する」（P. 79）
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の50か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、 50か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	ルートの距離が長い。	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください。 ➡「接続状態を確認する」（P. 33） 初期化してしばらくは自車位置がずれることがありますが、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。

症状	考えられる原因	対処方法
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
マイルートアジャスターの渋滞回避を設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。	マイルートアジャスターの渋滞回避は、渋滞道路を必ず回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	現在提供されているVICS情報が少なく、別のルートが探索できない。	—
VICSの地図表示情報（レベル3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICSの地図表示情報（レベル 3）を表示できるのは、 10m～1km（一般道は10m～500m、一般道の駐車場情報は10m～200m）のスケールです。
	—	VICSの受信状態が悪い場合は、表示できません。
	VICS局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。 ➡「VICS局の選局方法を切り替える」 (P. 130)
VICS情報が割り込み表示されない。	割り込み表示が［OFF］に設定されている。	ナビ設定画面で、割り込み表示を［ON］に設定してください。 ➡「図形情報の割り込み表示」 (P. 131)
夜の地図色が表示されない。	地図色昼夜切替が［昼色に固定］に設定されている。	「自動」に設定してください。 ➡「地図表示を設定する」 (P. 138)
音声案内されない。	ルート案内音声の出力が［OFF］に設定されている。	ルート案内音声の出力を［ON］に設定してください。 ➡「ルート案内音声の出力」 (P. 136)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	【⏏/AV】 を押して現在地図画面に切り替えてください。➡「現在地図画面の見かた」 (P. 48)
	画面の表示が消されている。	【⏏/AV】 を押すか、画面をタッチしてください。 ➡「画面表示を消す」 (P. 26)
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。

症状	考えられる原因	対処方法
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	案内音声の音量を大きくしてください。 ➡「案内音声の音量」（P. 136）
ルートメニューが表示できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に表示できます。
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

● AV機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	接続が間違っている。	お買い上げの販売店で、接続を確認してください。
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。

● ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	【⏏】を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	【⏏】を押してディスクを取り出し、しばらく放置（約1時間）してから使用してください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	【⏏】を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。 ➡「ディスクを取り出せないときは」（P. 108）
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。

症状	考えられる原因	対処方法
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVDの禁止マーク“⃠”が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。 ➡「本機で再生できるオーディオ/ビデオ フォーマット」 (P. 225)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。 ➡「本機で再生できるオーディオ/ビデオ フォーマット」 (P. 225)
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—
	ビデオファイルのサイズが大きい。	本機ではファイルサイズが4GB以下のビデオファイルが再生できます。

● 地デジ

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしなおしてください。➡「放送局を登録（プリセット）する」 (P. 122)
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更（リパック）が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください。➡「放送局を登録（プリセット）する」 (P. 122)
	「ホーム」または「お出かけ」に登録されている放送局が現在地周辺の放送局と合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。➡「放送局を登録（プリセット）する」 (P. 122)

症状	考えられる原因	対処方法
映像が乱れる。映像が止まる。音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	• 見通しのいい場所に移動してください。 • ワンセグに切り替えてください。 ➡「［受信モード切替］」(P. 115)
	ワンセグ/地デジを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。

● iPhone

症状	考えられる原因	対処方法
iPhoneが認識されない。	iPhone接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPhoneが正しく動作していない。	iPhone接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでもiPhoneが認識されない場合は、iPhoneをリセットしてください。
iPhoneをコントロールできない。	iPhoneにヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPhoneを本機から取り外し、iPhoneからすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPhoneが異常状態になっている。	• iPhoneメニューに表示されるリセットではなく、iPhone本体のリセットを行ってください。 • iPhoneを本機から取り外し、iPhoneの電源を入れなおしてください。
iPhoneの曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	しっかりと接続してください。
音がひずむ。	iPhoneのEQ機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPhoneの再生を停止することをお勧めします。
iPhoneの充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。

● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB機器を認識しない。	USBコネクタが正しく接続されていない。	USB機器のコネクタを確実に接続してください。
	USB延長ケーブルが長いため、データの品質が悪くなっている。	USB延長ケーブルを使用しない接続をしてください。

症状	考えられる原因	対処方法
USB機器やSDカード内のオーディオ/ビデオファイルが再生できない。	オーディオ/ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。 ➡「本機で再生できるオーディオ/ビデオ フォーマット」（P. 225）
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、"、<、>、| ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が81文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名：全角80文字 ファイル名：全角80文字（拡張子は除く） 全角80文字以内に変更してください。

● REC Audio

症状	考えられる原因	対処方法
録音したSDカードが再生できない。	録音データ(audio.rec フォルダのデータ)を編集または変更した。	録音データ(audio.recフォルダのデータ) を編集または変更すると、本機では再生できなくなります。編集や変更はしないでください。
	SDソースが選択されている。	REC Audioソースを選択してください。
音楽CDをSDカードに録音できない。	SCMSによるコピー制限がかかっている音楽CDを録音しようとした。	コピー制限がかかっていない音楽CDを使用してください。
CDを再生しても自動で録音されない。	［録音管理］が［手動録音］に設定されている。	［録音管理］を［自動録音］に設定してください。➡「録音設定をする」（P. 101）
	録音しようとしている音楽CDの曲を一曲以上録音したことがある。	一曲でも録音したことがある音楽CDの場合は、自動録音されません。［録音管理］を［手動録音］に設定して録音をしてください。 ➡「録音設定をする」（P. 101） ➡「録音する」（P. 102）

● Bluetooth オーディオ / ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetoothオーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機とBluetooth対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎる。	Bluetooth対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他のBluetooth機器が通信を妨げている。	他のBluetooth機器の電源をオフにしてください。または、他のBluetooth機器を遠ざけてください。
	他のBluetooth機器と通信中です。 または、他のプロファイルで通信中です。	たとえば、電話帳の登録中などには、音声が途切れる場合があります。
ハンズフリー通話の受話が小さい。	音量調整が小さくなっている。	通話中に調整してください。
スマートフォンのBluetooth設定をオフにしてオンにすると本機と接続できない。	スマートフォンのBluetooth設定をオフにした場合、再度オンにしても本機からは認識できないことがある。	スマートフォンのBluetooth接続機器から本機を選び直してください。

● ドライブレコーダー

症状	考えられる原因	対処方法
ドライブレコーダー映像の操作画面に[切替]が表示されない。	リアカメラまたは車内カメラの接続設定ができていない。	ドライブレコーダー設定の「リアカメラ録画」または「車内カメラ録画」の設定を確認してください。 ➡「リアカメラ録画」 (P. 200)

■メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
暗証番号が違います。 もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。
スピーカー配線に異常があります。 販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。 販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
GPS信号を受信できません。 接続情報画面で接続状態を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
車速パルスが検出できません。 接続情報画面で接続状態を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。

メッセージ	対処
ステアリングスイッチキーの学習ができませんでした。	もう一度学習し直してください。
SDカードのフォーマットができませんでした。	SDカードが正しく入っているかを確認してください。 他のSDカードを使用してください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	• ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 • 探索条件を「一般」以外にしてください。

● 登録地点を保存/読み込み

メッセージ	対処
パスワードが違います。 パスワードをお忘れの場合は、販売店にお問い合わせください。	正しいパスワードを入力してください。パスワードが分からない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
パスワードが違います。	正しいパスワードを入力してください。
SDカードがありません。	• SDカードが正しく挿入されているか確認してください。 • 他のSDカードを使用してください。
SDカードが書き込みロックされています。 SDカードを確認してください。	SDカードの書き込み禁止スイッチを解除してください。
登録地点がありません。	操作をしているナビゲーションには登録地点がありません。 登録地点があるか確認してください。
パスワードが設定されていません。	パスワードを設定してください。 ➡「本機にパスワードを設定する」 (P. 87)
登録地点を書き込めませんでした。	• SDカードが正しく挿入されているか確認してください。 • 他のSDカードを使用してください。
SDカードの空き容量が不足しています。	空き容量のあるSDカードを使用してください。
読み込み可能な登録地点がありません。	SDカードに登録地点が保存されていません。移行元のナビゲーションで登録地点をSDカードに保存してから再度読み込みをしてください。 ➡「登録地点をSDカードに保存する」 (P. 87)
登録地点を読み込めませんでした。	SDカードが正しく挿入されているか確認してください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、VICS情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。またはVICS放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETCに異常が発生しました。 販売店にお問い合わせください。 (04)	お買い上げの販売店にご相談ください。

メッセージ	対処
ETC車載器との接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても、問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCカードが挿入されていません。 ETCカードが挿入されていません。（01）	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETCカードが読めません。ETCカードをご確認ください。 ETCカードが読めません。ETCカードをご確認ください。（02）、（03）、（05）、（11）	• 差し込まれたカードがETCカードかどうか確認してください。 • カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 • カードの金属端子面をきれいに拭いてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCがセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCをご利用できません。 ETCをご利用できません。（06）、（07）	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETC2.0車載器と通信ができません。 接続情報画面で接続状態を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
接続されているETC2.0車載器が初期化できませんでした。 販売店にお問い合わせください。 この画面を閉じてください。その後、システムが再起動します。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCカードが読めません。 ETCカードをご確認ください。	ETCカードを差し込みなおしてください。 または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

● バックモニター 、3モードカメラ 、パノラミックビューモニター

メッセージ	対処
専用カメラと通信できません。	接続を確認してください。 お買い上げの販売店にご相談ください。
走行中は調整できません。	バックモニター設定は、安全なところに停車した状態で行ってください。

● ドライブレコーダー

メッセージ	対処
ドライブレコーダーにSDカードが挿入されていません。 SDカードを挿入してください。	ドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。

メッセージ	対処
ドライブレコーダーの録画ができません。 ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。	ドライブレコーダーのmicroSDメモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。microSDメモリーカードに問題が無いことを確認してもメッセージが表示される場合は、必要なファイルをパソコンなどにバックアップした後、microSDメモリーカードを初期化してください。microSDメモリーカードの初期化はドライブレコーダー設定で行ってください。 ➡「SDカード初期化」 (P. 200)
ドライブレコーダーとの接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーが高温のため動作できません。温度が下がると動作を再開します。	ドライブレコーダーの温度が異常に高温になったため、動作を停止しています。通常の温度に戻ると自動で録画を再開します。
ドライブレコーダーで記録可能な領域が少ないためこれ以上、手動での録画ができません。 ドライブレコーダーのSDカードの内容を確認し手動録画や保存フォルダ内の不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	手動録画フォルダ、保存フォルダのファイルをパソコンなどにバックアップした後、不要となった手動録画フォルダ、保存フォルダのファイルを削除してください。
ドライブレコーダーのSDカードのパフォーマンスが低下しています。 大切な映像をパソコンに移動したあと、SDカードの初期化をしてください。	必要なデータをパソコンなどにバックアップした後、ドライブレコーダーのmicroSDメモリーカードを初期化してください。microSDメモリーカードの初期化はドライブレコーダー設定で行ってください。 ➡「SDカード初期化」 (P. 200)
ドライブレコーダーのSDカードの交換時期になりました。新しいSDカードへの交換をお勧めします。	ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDメモリーカードの寿命が近くなるとお知らせします。挿入しているmicroSDメモリーカードに録画できなくなる前に、新しいmicroSDメモリーカード（ディーラーオプション） に交換してください。
調整できませんでした。 平らな場所に停車し、やり直してください。	取付調整を正常に実施できませんでした。平坦な場所に停車して再度取付調整を行ってください。 ➡「加速度センサーを最適化する」 (P. 198)
SDカードの初期化ができませんでした。 ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。	ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDメモリーカードの初期化が正常に実施できませんでした。microSDメモリーカードが正しく挿入されているか確認して再度初期化を行ってください。 初期化が繰り返し失敗する場合は、新しいmicroSDメモリーカードmicroSDメモリーカード（ディーラーオプション） に交換してください。
保存フォルダへ移動できません。ドライブレコーダーのSDカードの内容を確認し保存フォルダ内の不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	保存フォルダのファイルをパソコンなどにバックアップした後、不要となった保存フォルダのファイルを削除してください。

メッセージ	対処
ドライブレコーダーで記録可能な領域が不足しているためこれ以上、常時録画ができません。 ドライブレコーダーのSDカードの内容を確認し不要な映像やファイルを削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDメモリーカードの必要なファイルをパソコンなどにバックアップした後、不要となったファイルを削除してください。
映像の一覧が読み込めませんでした。	録画ファイルリストの表示ができませんでした。ドライブレコーダーのmicroSDメモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。
映像を削除できませんでした。	ファイルの削除ができませんでした。ドライブレコーダーのmicroSDメモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。
このファイルはドライブレコーダーで録画されたファイルではないため再生できません。	ファイルの再生ができませんでした。再生しようとしたファイルが、ドライブレコーダーの録画ファイルではない可能性があります。他のファイルを再生してください。
ドライブレコーダーが動作できません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーの取付調整を実施してください。	取付調整が実施されていません。平坦な場所に停車して取付調整を行ってください。 ➡「加速度センサーを最適化する」 (P. 198)

● AV（共通）

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ/ビデオファイルかどうかを確認してください。➡「本機で再生できるオーディオ/ビデオ フォーマット」 (P. 225)
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声が再生できません。	音声が再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

● AV（DISC）

メッセージ	対処
ディスクが読めません。ディスクに傷や汚れがないか確認してください。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。ディスクに傷や汚れがないか、また本機で再生できるディスクかどうかご確認ください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」（または2を含むもの）と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。ディスクをイジェクトし再度挿入してください。	ディスクをイジェクトまたは強制イジェクトで取り出して、再度挿入してみてください。 ➡「ディスクを取り出す」 (P. 108)
ディスクがイジェクトできません。 【⏏】を押し続けて強制イジェクトを行ってください。	強制イジェクトでディスクを取り出し、再度挿入してみてください。 ➡「ディスクを取り出せないときは」 (P. 108)

● AV（地デジ）

メッセージ	対処
ご覧のチャンネルのサービス構成が変更されました。 再度初期スキャンを実施してください。	［閉じる］をタッチした後、初期スキャンを再度行ってください。

● USB

メッセージ	対処
使用できないUSBデバイスが接続されました。 他のUSBデバイスを使用してください。	本機で再生できないデバイスが接続されました。➡「本機で再生できるUSB機器」（P. 224）

特許権/著作権/商標など

「タウンページ」は、NTT東日本およびNTT西日本の登録商標です。

Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Manufactured under license from Dolby Laboratories.
Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

DVD VIDEO is a trademark of DVD Format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S., Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, iPhone, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc.,registered in the U.S. and other countries and regions. The trademark“iPhone”is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

SDXCロゴはSD-3C LLCの商標です。

MapFan はジオテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社JVCケンウッドは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

VICSおよびVICS WIDEは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

「マップコード」および「MAPCODE」は(株)デンソーの登録商標です。

QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

NaviConは、株式会社ミックウェアの登録商標です。

「マップクリップ」はジオテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

Google、Android、Google Play は Google LLC の商標です。

本製品には、株式会社ユビキタスAIの高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスAIの商標です。
Copyright© 2025 Ubiquitous AI Corporation. All rights reserved.

Ubiquitous AI

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。

FontAvenue

本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立ソリューションズ・テクノロジーの登録商標です。

Ruby Talk®

with

Hitachi Speech Synthesizer

「ETC」、「ETC2.0」は一般社団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。

ITSスポットは国土交通省の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア(株) の compact Wnn を使用しています。
compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2017 All Rights Reserved.

USB Type-C および USB-C はUSB Implementers Forumの商標です。

libFLAC
Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson
Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i)ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii)DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis
Copyright (c) 2002-2015 Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

主な仕様

● ナビゲーション部

測位衛星システム 受信衛星	GPS、QZSS(準天頂衛星)、SBAS
測位衛星システム 測位形式	3D/DGPS
受信周波数	1575.42MHz
VICS	FM多重（内蔵）、VICS-WIDE対応、ITSスポット対応（別売）、高度化光ビーコン対応（別売）

● モニター部

画面サイズ（幅x高さx対角）	7.0V型ワイド 156.6（幅）×81.6（高さ）×176.6（対角）mm
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源（照明方式）	カスタムLEDバックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W×4
スピーカーインピーダンス	4～8Ω
ビデオ出力	端子：RCA×1
	映像出力レベル：1Vp-p/75Ω

● 地上デジタルチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式（日本）（ワンセグ対応）
受信チャンネル	UHF13～52ch

● ラジオチューナー部

FM受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0MHz～99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲（周波数ステップ）	522kHz～1629kHz (9kHz)

● USB I/F部

対応USB	USB1.1/2.0（High Speed）
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT
最大供給電流	DC5V⎓ 2.1A

● SDカード部

対応SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● DVD/CD部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD±R/±RW/±R DL CD-DA, CD-R/-RW SACD（CD LAYER ONLY）
リージョン番号	2
サンプリング周波数	44.1/48/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit（直線）

● 対応メディア

DVD-Video		DVD-R,DVD-RWはVRモードも対応 8cmディスク非対応
CD-DA		8cmディスク非対応
CD/DVD	**音声**	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
USB/SD	**音声**	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
	映像	MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

● Bluetooth部

対応プロファイル	HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

● 電源/寸法/質量

電源電圧	14.4V (10.5V～16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10～+60℃
本体	外形寸法（W×H×D） 206mm×104mm×176mm
	埋込寸法（W×H×D） 178mm×100mm×160mm
	質量（重さ）2,390 g

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

MEMO

索引

数字
3モードカメラ 187

B
Bluetoothオーディオ機器の再生 172

D
DVD再生 110

E
ECO情報 133
ETC2.0車載器 178

G
GPS 34

I
iPhoneを再生する 93

N
NaviCon（スマートフォンアプリ） 174

Q
QRコード 54

U
USB機器/SDカードのファイルを再生する 95

V
VICS情報 55, 125

あ
アスペクト（画面表示サイズ） 92
案内音声の音量 136

え
エラーメッセージ 238

お
オートペアリング 160
オートリルート 82
音楽CD再生 109

か
画質の調整 91

け
経由地 77
経由地の削除 79
経由地の順番変更 78
現在位置の修正 139
現在地図画面 48
検索履歴の削除 65

こ
交差点案内イラストの表示 72
高速道路でのルート案内 70
交通情報（ラジオ） 122
コンパスボタン 48, 50

さ
再生できるディスク 222
サウンド設定 142

し
自車マーク（地図） 48
システム設定 150
自宅に帰る 58
自宅の登録 43, 58
シミュレーション 81
視野角 32
車速パルス 34
ジャンル検索 61, 62
住所検索 65
障害物検知表示 187, 190, 192

す
ステアリングスイッチ 36
スピーカー構成 143

せ
セキュリティインジケーター 18
センサー学習 34

そ
走行軌跡の表示 48, 135, 139
操作音の出力 151
ソース切替画面 90
ソースレベル 149

ち
地図記号 214
地図更新 157
地図の傾き角度 50
地図の縮尺 49
地点登録 83
チャンネルスキャン（地デジ） 116

て
ディスク挿入口 18
ディスクの出し入れ 107
ディスクメニュー 112
デモ走行 81
電源オン/オフ 19
電話帳 168, 169
電話の着信 165
電話番号検索 66
電話をかける 166, 168, 170, 171

と
到着予想時刻/距離 70
登録機器の削除（Bluetooth） 163
登録地点検索 64
登録地点の編集 84, 85, 86
登録地点の保存/読み込み 87
時計 48
ドライブレコーダー 193

な
ナビ設定 134

の
ノースアップ 50

は
パーキングブレーキ信号 34
バージョン情報 156, 157
ハイウェイモード画面 70
パノラミックビューモニター 191
ハンズフリー通話 164

ふ
フェリーを利用した探索 137
フライビューマップ表示 135

ほ
方面看板 48, 136
ボタンの操作音 151

ま
マイメニュー 22
マップクリップ 54

め
メッセージ 238

も
目的地 67
目的地の削除 79
目的地付近の地図表示 81
文字の入力 31

ゆ
ユーザーイコライザー 147, 148

ら
ランドマーク情報の表示 54

り
リスニングポジション 144
リバース信号 34
履歴検索 64

る
ルート案内の開始 67
ルート案内の終了 82
ルート全体 81
ルート探索方法の設定 68
ルートの再探索 77

れ
レーン情報 48

株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12